

「新たなる飛翔」 ~Boys&Girls~



2008
総明会会報

明治大学付属
明治高等学校・中学校 同窓会

明治中學校校歌

校歌

一章

帝都の真中駿河臺、

遙かに望む富士のねの

高き理想の影追ひて

集る健兒勇ましや

三章

忠と孝の大糸を

色どる正義、愛、誠

我等が胸をかざるべき

大和錦の美ならずや

二章

學びの高嶺文の海、

嶮しく荒き行末を

懼れず笑みて進みゆく

我等が意氣は天を吞む

四章

世界に王たる日の本の

國民の基と身をなして

我等が校の名を掲げむ

我等が國の威を掲げむ

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が

撞くや時代の暁の鐘

文化の潮みちびきて

遂げし維新の栄になふ

明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり

いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり

独立自治の旗幟し

高き理想の道を行く

我等が健兒の意氣をば知るや

我等が健兒の意氣をば知るや

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕筈

校歌

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕筈

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が

撞くや時代の暁の鐘

文化の潮みちびきて

遂げし維新の栄になふ

明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

二

二、權利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり

独立自治の旗幟し

高き理想の道を行く

我等が健兒の意氣をば知るや

我等が健兒の意氣をば知るや

総 明 会

昭和59年開催の第20回総会において命名された。
初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

- 2 総会・懇親会のご案内
- 4 会長挨拶
- 5 校長挨拶
- 6 2007 年度活動報告
- 7 平成 19 年度会計報告ほか
- 8 校地移転記念碑レリーフ「男坂」の想い
- 10 卯木さんを偲んで
- 12 チャリティーゴルフ大会
- 14 評議委員会名簿
- 19 「新たなる飛翔」～ Boys & Girls ～
- 53 Welcome to Chofu
- 65 同期会・クラブOB会報告
- 111 学校報告
- 124 寄付一覧
- 126 幹事学年挨拶 (前年度・次年度・今年度)
- 130 編集後記
- 135 総明会 会則
- 140 創立100周年寄付のお願い
- 142 創立100周年御寄付者一覧

小林 正三郎

(昭和三十三年卒)

明治高校・中学校校長

納 谷 廣 美

(学) 明治大学 学長

長 堀 守 弘

(学) 明治大学 理事長

第44回総明会総会・懇親会

『新たなる飛翔』～Boys & Girls～

白雲なびく駿河台、毎日上り下りした「男坂」を後に、我が明治大学付属明治高等学校・中学校は今年度より新たなるスタートを切るべく調布の大地へと移り、男女共学の道を歩み始めました。

改めまして、卒業生の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

早いもので今年も総明会の季節がやって参りました。今回は、我が母校の調布新校舎で総明会を下記スケジュールにて開催させていただき、後輩達の新しい学び舎をゆつくりと見学して頂ければと思っております。

皆様におかれましては大変ご多用の事とは存じますが、万障お繰り合わせの上、一人でも多くの方のご出席を賜りたくお願い申し上げます。

我々、今年度幹事学年「明翔会」(昭和56年卒)一同心よりお迎え申し上げます。

記

場 所 明治大学付属明治高等学校・中学校
調布新校舎

日 時 平成 20 年 11 月 15 日(土) 15:30～

＜当日スケジュール＞

総会	15:30～16:00	3階多目的ホールにて
校内見学	16:00～17:00	
懇親会	17:00～19:00	1階エントランスホールにて

第四十四回 総明会総会式次第(案)	一、開会の辞	二、議長挨拶	三、議長選出	四、書記選出	五、議事進行	第一号議案 会務報告	第二号議案 会計報告	第三号議案 監査報告	六、その他	六、閉会の辞	尚、式次第については、再度総明会ホームページにてご確認ください。
----------------------	--------	--------	--------	--------	--------	---------------	---------------	---------------	-------	--------	----------------------------------

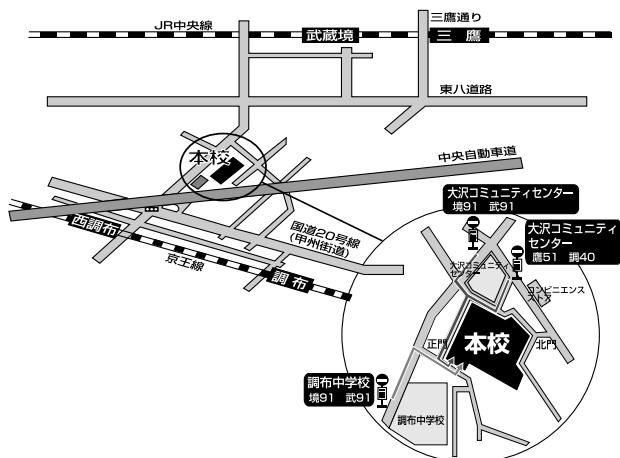
会費

一般会員	10,000円
シニア会員 (昭和41年卒以前)	8,000円
ヤング会員 (平成13年～16年卒)	5,000円
現役学生	1,000円
ご同伴者	5,000円

ご出席をご予定頂ける方はお手数ですが人数確認のため同封の返信はがきに楷書にてご記入の上、ご投函下さい。なお、はがきで申し込みをされてなかった場合でも、当日のご参加を歓迎いたします。是非お誘い合わせの上、ご参加下さい。

以上

調布新校舎アクセス案内図



鉄道会社	発着駅	バス会社	系統番号	運賃	所要時間	乗り場
京王線	調布駅 北口	京王	(武91)	200円	11分	⑫ 北口改札を出て、右手手前の停留所
		小田急	(境91)	210円	11分	⑪ 北口改札を出て、右手住友銀行そばの停留所
			(鷹51,調40)	210円	8分	⑪ 北口改札を出て、右手住友銀行そばの停留所
中央線	武蔵境駅 南口	小田急	(境91)	210円	21分	③ 南口改札を出て、すぐそばの停留所
	三鷹駅 南口	小田急	(鷹51)	210円	28分	② 南口改札を出て、みずほ信託すぐ右手の停留所
	武蔵小金井駅 北口	京王	(武91)	250円	30分	② 北口改札を出て、左手2番目の停留所
小田急線	狛江駅 北口	小田急	(境91)	210円	28分	② 北口改札を出て、左手ロータリー奥の停留所 ※通勤・通学時間帯は大幅に遅れる場合あり。

※京王線飛田給駅北口ターミナルより、送迎用スクールバスが運行されます。

14：30より20：00まで15～20分毎に巡回しております。改札口及びバス乗り場に係りがおりますので詳細はお尋ね下さい。

※飛田給駅へは、調布で降りたホーム2番線にて各駅停車に乗り換えです。同ホームの1番線側は橋本方面へ行ってしまう、飛田給には行きません。くれぐれもお間違いの無いようお願い致します。

※当日の交通案内については、明治高校ホームページにも掲載されておりますのでご参照下さい。

※お車でのご来校は、ご遠慮下さい。

※当日は、この会報がバス乗車券及び校内安全管理上、入校証となります。必ずご持参下さい。

総明会会長挨拶

明治大学付属明治高等学校・
中学校同窓会

総明会会長 佐久間 洋一



昨年秋の総会で再選され、3期目の会長職を仰せ付かり、早くも8ヶ月を経過しようとしております。会員が参加したくなる魅力ある総明会とするべく、さらに気を引き締めて精進しますが、会員各位の叱咤激励も期待するところです。

さて、母校は、97年の校地取得から10年余を経て本年4月とうとう調布の地に移転し、新たなスタートを切ったわけです。当初危惧された入学志望者や生徒の減少、明大附属校・系列校同士の競合、調布飛行場の離発着の騒音の影響など、今となっては杞憂に過ぎなかったとさえ思われます。そのような思いを抱いてしまふのは、調布校舎の素晴らしさかも知れません。そこで、この新校舎を紹介します。

グラウンドは、陸上競技、サッカーのできる人工芝の校庭のほか、5面のテニスコートがあります。校舎は3階建て、1階の玄関前のエントランスホールは、長さ約100メートル、幅約10メートルもあり、ちよっとしたイベントを催せるスペースがあります。このホールの突き当りには、平面で1500人も収容できる大きなホールがあります。

このホールの壁には、当会員各位の寄付によって製作されたリーフレット（縦・約15メートル、横・約5メートル）が設置されています。詳細は総明会ホームページを閲覧してください。また、体育館が2つ、1階に食堂とカフェテリア、多目的教室、2・3階の吹き抜けとなっている図書室、1階から3階までそれぞれ2学年を収容する教室となっています。

このように施設の数や規模を説明しても、実際の素晴らしさを形容しきれぬものではありません。是非、特に用事がなくても訪ねて実感していただきたいものです。

また、新校舎の充実ぶりもさることながら、感じ入ったのは女子生徒の存在が全く違和感なく、自然な光景として我が目に映ったことです。入学式で「白雲なびく駿河台」の校歌を一所懸命歌っている新入女子生徒の姿を見て、改めて時代の流れと必然の感慨を覚えました。学校改革の柱である調布移転と男女共学への移行は成功しつつあり、母校は着実に新しい歴史を刻みつつあるということです。駿河台での約100年と調布での今後がうまい具合にミックスすれば、より一層発展が期待できる母校になると確信している次第です。

第44回「総明会総会懇親会」

を祝して

明治高等学校・中学校

校長 小林 正三郎



本年4月、調布新校舎が開校し、男女共学制とともに、明治中学校・高校第二の新たな幕開けを迎えました。今年の総明会の総会・懇親会が新装なった本校で開催されることを心から歓迎し、祝意を表したいと思います。大勢の先輩方が来校され、新しい調布校舎に触れ、御寄贈頂いた立派なレリーフを是非見て頂きたいと思います。広々とした人工芝の校庭で、生徒たちが嬉々として飛び跳ねる様子が元氣付けられ、移転の意義を改めて感じております。

恵まれた教育環境が整い、これを機に教育内容の充実・教育体制の強化を併せて推進し、総合的に学校力の向上を目指し、私学の雄として教職員一丸となってさらなる発展を期したいと決意しております。

一方、わが国の学校教育の現状は大きな変革期を迎えています。

文部科学省の進める教育基本法の改正をはじめ、指導要領の大幅改訂等めまぐるしい教育改革の中にあつて、私学の経営は学

校間の競争激化と相まってますます厳しさを増しているのが実状であります。

神田で95年間にわたり培ってきた伝統と歴史を大きな財産として、建学の精神理念である「質実剛健」・「独立自治」を教育の原点として、継承し堅持していくことがわが校の存続にかかわる根幹であり、永続的発展の礎となるものと確信しております。

4年後には創立100周年という歴史的な節目を迎えます。早急に総明会にも加わって頂いて「創立100周年記念事業委員会」を立ち上げ、計画・準備に入る予定でありますので、ご協力をお願いいたします。

調布新校地における地域との共生、協調をはかり良好な関係を築いていくことも重要な課題であります。早期に地域から支持される学校づくりを進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、OB諸先輩の一層のご理解、ご支援をお願いするとともに、総明会のますますの御隆盛をお祈り申し上げます。

2007年度 活動報告

専務理事 関谷 芳久

総明会は、本年度44回目の総会を迎えます。

調布の新校舎で行う初めての総会となります。母校との協力関係、賛助活動を維持・推進する事を目的として、各委員会が組織的に活発に活動し、大先輩の方々、若い会員の皆様の益々の参加を強く希望し、すばらしい同窓会を創り上げていきたいと思っております。

本年度、新入会員は2008年3月の卒業式で新たに218名の同窓生を迎えました。ちなみに卒業生総数は、17877名となるそうです。さて、昨年11月17日(土)に明治大学アカデミーコモンで開催された第43回総会以降本年10月までの活動報告を申し上げます。

★総会は43回を迎え、昭和55年卒同期会「紫魂会」の担当で、

明治中・高が御茶ノ水で迎える最後の総会となりました。総会では、今年で3期目を迎える佐久間体制が満場一致で承認され、後2年間会長を引き続きお願いする事になりました。また昨年の会報でお知らせした、明治高校の「調布校舎移転」並びに「創立百周年」記念事業への寄付金が、現在700万円程度集まり壱千萬元まであとひといきになり、皆様の引き続きのご協力を宜しくお願い申し上げます。さて懇親会では、「さらば男子校」更なる飛躍へ」をテーマにアカデミーコモンで280名の参加を得て開催されました。男坂での各同期写真撮影や青春を謳歌した駿河台での想い出多いすばらしい企画で楽しませて頂きました。「紫魂会」の皆様有難うございました。

★評議会は、第1回目を2月16日(土)、第2回目を3月15日(土)と明治高校の教室で行われた最後の評議会となりました。

そして3回目は、班・クラブOB会を兼ねて御茶ノ水の「ホテル聚楽」で総勢73名という今までに無い人数で行われ、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

また3月には長年、総明会の副会長、そして明高野球部監督として活躍されご逝去された卯木敏夫大先輩の「お別れ会」を評議員会も全面的に協力して「明治大学アカデミーコモン」で行われました。

★理事会は、選考委員会で選ばれた佐久間会長のもと、三名の新理事と1名の新幹事をむかえ、年間5回行われました。

★学校行事参加では、例年の卒業式、入学式、球技大会、紫紺祭オリエンテーションにおける総明会の学校説明会。そして今年から総明会の学校担当に山田伸夫先生が就任されました。

また1月に調布新校舎の植樹祭に総明会として「百日紅」サルスベリを植樹してまいりました。

た。そして六月には明治高校の開校式にも出席してまいりました。

★武陵会(明大中野同窓会)の総会出席と、2月にお互いの理事同志の新春賀詞交換会に出席してまいりました。

★白駿会(明高父母の会OB会)は6月14日(土)に総会があり、調布校舎に近い吉祥寺の東急インで、第41回目を祝う事が出来ました。

★第14回総明会チャリティゴルフ大会は、6月1日(日)栃木県イトーピア栃木ゴルフ倶楽部において、近年にない113名の参加を得てにぎやかに行う事が出来ました。今年は各学年、あらかじめ3名の選手を選び学年対抗を実施しました。優勝は、昭和44年卒「男坂倶楽部」が獲得しました。

以上活動報告とさせていただきます。

総明会 平成19年度 一般会計報告

(自) 平成19年4月1日～(至) 平成20年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,760,494 円	会議費	990,390 円
新入会員入会金	2,180,000 円	交流費(学校、他)	1,149,911 円
新入会員永年会費	2,180,000 円	通信費	0 円
学年会費	550,000 円	事務費	8,400 円
雑入(会議費、他)	636,640 円	各委員会活動費	1,476,339 円
雑入(各委員会余剰金)	106,296 円	雑費	24,110 円
寄付金	0 円	基金へ組入れ	2,500,000 円
貯金利息	11,004 円	次年度繰越金	8,275,284 円
合 計	14,424,434 円	合 計	14,424,434 円

総明会 平成19年度 基金会計報告

(自) 平成19年4月1日～(至) 平成20年3月31日

基金区分	平成18年度末残金	平成19年度増減額	適用	平成19年度末残金
事業遂行基金	11,399,451円	2,542,136円	一般会計から繰入及び利息	
		-8,770,700円	調布校舎移転記念品費用	
小計		-6,228,564円		5,170,887円
財政基盤基金	8,005,194円	0円		8,005,194円
校舎移転・100周年記念事業特別基金	2,542,000円	4,280,000円	寄付金募集	
				6,822,000円

上記のとおり報告いたします。

平成20年3月31日 会 長 佐久間洋一 会 計 中村 正容

監査の結果相違ありません。

平成20年5月20日 監 査 佐藤 仁 監 査 阿部 正行

総明会 平成20年度 一般会計予算(案)

(自) 平成20年4月1日～(至) 平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,275,284 円	会議費	900,000 円
新入会員入会金	2,230,000 円	交流費(学校、他)	900,000 円
新入会員永年会費	2,230,000 円	事務費	100,000 円
学年・クラブ会費	550,000 円	各委員会活動費	2,025,000 円
雑入(会議費、他)	650,000 円	雑費	100,000 円
雑入(各委員会余剰金)	100,000 円	基金へ組入れ	1,800,000 円
雑入	64,716 円	次年度繰越金	8,275,000 円
合 計	14,100,000 円	合 計	14,100,000 円

総明会 平成20年度 基金会計予算(案)

(自) 平成20年4月1日～(至) 平成21年3月31日

基金区分	平成19年度末残金	平成20年度増減額	適用	平成20年度末残金
事業遂行基金小計	5,170,887円	1,800,000円	一般会計から繰入及び利息	6,970,887円
財政基盤基金	8,005,194円	0円		8,005,194円
校舎移転・100周年記念事業特別基金	6,822,000円	600,000円	寄付金募集	7,422,000円

第43回 総明会 特別会計報告

(自) 平成19年4月1日～(至) 平成20年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,853,000 円	総会関係費	4,169,158 円
総明会より助成金	749,162 円	会報関係費	2,280,675 円
寄付・広告	4,447,497 円	運営関係費	1,599,826 円
合 計	8,049,659 円	合 計	8,049,659 円

第44回 総明会 特別会計予算(案)

(自) 平成20年4月1日～(至) 平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	3,000,000 円	総会関係費	3,600,000 円
総明会より助成金	1,000,000 円	会報関係費	2,800,000 円
寄付・広告	3,500,000 円	運営関係費	1,100,000 円
合 計	7,500,000 円	合 計	7,500,000 円

校地移転記念碑レリーフ

「男坂」の思い

昭和52年卒 男子校振性組 小嶋 眞作

校地移転記念事業に携わり
新校舎に記念碑レリーフを無
事嫁入り出来たことはとても
嬉しく思います。また作家岡
島延峰先生をはじめ大勢の先
輩後輩及び母校の担当各位の
皆様に絶大なる御協力をいた
だきましたことに深く感謝し
ます。

今年から母校は大学のお膝
元の猿楽町という都心の町か
らローカルな調布に移転しま
した。また女子生徒が加わる
ことは、真新しい校舎で男子
生徒だけのモノクロな時代か
ら彩りに溢れた学生生活にな

り新たな息吹が生まれると思
います。OBとしてとても羨
ましく思うのは私だけでしょ
うか(笑)。

45歳の年に総明会幹事学年
を担当したのがキッカケで母
校を振り返り多くの先輩後輩
と語り呑み交すことが出来ま
した。社会に出ても解らなかつ
た明治の蛮カラの真髓に触れ
「明治の蛮カラは質実剛健を
柱とした生き方の美学」―
『白雲なびく』の校歌が蛮カ
ラの象徴―だと諭され、以前
にも増して母校明治を誇りに
思います。

猿楽町校舎を卒業したOB
の現役時代の苦楽を、暖かく
も厳しく見守って励ましてく
れた男坂は「人として何が大



フ(寸法 高さ1.5m×幅5m)

「切か」を教えてください。軽・薄・短・小のデジタル化が今の世の中のトレンドですが、若い後輩の心眼に「気楽・安易・簡単・便利」に映っているかもしれないと危惧します。要領良く小手先で立ち回り小じんまり纏めては血にも肉にもなりません。やはり明治には今流行のトレンドよりもトラッドが似合います。「重・厚・長・大」は時代遅れのアナログと言われるかもしれませんが、私は軽口を叩かず黙々と汗をかき、こつこつと努力を重ね、打たれても負けないスタミナに溢れ、些事に拘らない懐の大きな個性豊かな人に魅力を感じます。更に明治の「質実剛健」とは、

華美軟弱に染まらず、向上心に燃えて切磋琢磨し、諦めず創意工夫し、正義感に篤く逆境に遭っても負けないしぶとい気概にあると思います（世の中に出て一番役に立ちました）。

そんな思いをこれからの後輩たちに伝えるべく、朽ち果てることの無い記念碑レリーフ「男坂」として、総明会から母校に贈呈しました。

最後に夢と希望と情熱に満ち溢れた後輩たちが、先輩たちの思いを僅かでも受け止め逞しく生きて幸せになってくれることを祈念して結びとさせていただきます。



校地移転記念寄贈レリーフ

【卯木さんを偲んで】

昭和50年卒明紫会 桑崎 安弘

去る平成20年1月10日に永眠されました、故卯木敏夫様のご紹介と思い出話を書きたいと思います。卯木さんは、昭和7年5月に、明治の聖地神田駿河台から程近い神田司町でご誕生されました。歌の文句じゃありませんが、小さな頃から悪がきで、近所のお母さん方は、自分の子供を卯木さんと遊ばせないように避けていたという幼少時でした。神田小学校を経て、旧制明治中学に入学されました。中学時代もその存在（不良）は抜きん出ていて、野木信一郎先

生に出会わなければとくに首になっていたと良く話されていました。

その後高校に進学されて、ここで運命の人「島岡御大」と出会われました。卯木さんは体は小さかったですが、闘志むき出しのキャッチャーで高校Ⅱ年生の時に、後に阪神タイガースで通算65勝を上げられた大崎氏とバッテリーを組み、昭和25年春の選抜大会に出場を決められました。

しかし卯木さんは甲子園に行く前に、男坂の上で東洋商業の生徒と50対1の大乱闘事件を起こし、学校は停学になり野球部も辞められたそうです。それから、不良一筋で、

「頭はリーゼント、ズボンはギャバジンを履いて、コンビのラバーソールの靴で学校に通っていたそうです。

その後も明治高校野球部の快進撃は続き、昭和25年の国体の出場を決め、いよいよ明日から名古屋遠征と言う時に、卯木さんは、島岡御大から「明日頭を坊主にして学生服で東京駅に来い」と言われ、御大から言われちゃしょうがないと言うことで、東京駅から名古屋遠征に行かれ、当然野球部は退部していますので、選手としては出場できませんが、試合前のメンバー表を見て卯木さんは、びっくりされたそうです、そこには「監督・

島岡吉郎」「助監督・卯木敏夫」と書いてあったそうです。このときに、卯木さんは、俺の親分はこの人しかいないと心に決められ、一生涯公私ともに、「親父さん」と言うお付き合いをされて来ました。

その後の卯木さんは、明治の為昭和40年に明治高校野球部OB会「明球会」の会長を島岡御大から引き継がれ、昭和48年に、明治高校硬式野球部監督に就任され、昭和50年にPTAの会「白駿会」の副会長になり、昭和51年に「総明会」の現在のホスト学年制度の基盤を作られました。まさに卯木さんは、明治を愛し、明治と共に生き抜いてこられ

ました。ミスター明治という存在です。

私達は、卯木さんが昭和48年に野球部の監督に就任された時に高校Ⅱ年生でした。卯木さんの第一印象は、いつも豪快に笑うやさしそうな監督さんでしたが、全くの早とちりで、怒り出すと、唇が震えて「そうなるとうとうどうなるかは神のみぞ知る」といった具合でした。

卯木さんからは、もちろん明治の野球「島岡野球」を教えて頂きましたが、野球というスポーツを通じて、男の生き方という「卯木精神」をたくさん教えて頂きました。高校野球が終わり、私達の大学

進学 of 志望学部を学校側と交渉して頂き、大学卒業になると、就職の世話と同時に社会人の夜の遊び方や、男のファッション哲学（靴と時計は良い物を身に着けろ！）など教えて頂きました。また、結婚する時は、仲人を引き受けて頂き、子供が生まれたらお祝いの人形を頂き、その子供の進路まで相談に乗って頂くといったように、まさに卯木さんには私達の人生の節目という節目の全てにお世話になりました。私達に取りまして、卯木さんは野球部時代の監督さんでしたが、人生の監督さんでもありました。

たくさんのお卯木語録はあり

ますが、私が一番印象に残っておりますのが、「男の価値は死んだ時にしか分からない。義理の花輪の数より、いかにたくさんの人が集まってくれるかが大事なんだ。だけどその時には、自分は空中から見ているしかないんだ！」と良く笑いながら話されていました。

卯木さんの1月13、14日の告別式や、3月20日のお別れ会には、たくさんの方が集まって、「さすが卯木さん。有言実行だな」と改めて感動しました。

私達も「卯木精神」を継承し、微力ながら明治中学・高校に恩返しが出来ますように、

総明会の活動には積極的に参加させて頂きますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



お別れの会

第14回

総明会チャリティーゴルフ大会
昭和56年 明翔会 鈴木 望文

梅雨入り直前この上の無い好天の下、第14回総明会チャリティーゴルフ大会が6月1日、イトーピアゴルフ倶楽部にて開催されました。昭和34年卒の大先輩から平成10年卒の若手まで、40の年を隔てた中、実に24学年、総勢113名の腕自慢・理論はプロ並みの強豪が参加されました。

学校側からは、大田原事務長にお越しいただき、また総明会役員の方々のご協力、各方面からのご寄付・ご協賛を賜り大会が大いに盛り上がりしました。

今回の開催コースは距離が短いわりにタイトでうねったフェアウェイ、そして大きな

グリーンと多少ストレスの溜まる簡単にはスコアをまとめさせてくれない戦略性の高いコースレイアウトでした。

暫くぶりの学年対抗戦を行い各学年腕利きの代表選手を3名選出し「我等がNo.1の学年」と他学年にライバル心を燃やし、静かで熱い戦いが繰り広げられました。

結果は個人・学年対抗とも気合い十分で大挙して参加された44年度卒「男坂倶楽部」旋風が吹き上位を占めました。他学年の次年度以降のリベンジに期待のしかるところです。

チャリティーも沢山集まり、布施ゴルフ委員長の提案により「総明会活動の一環として社会にさらに貢献しよう」との趣旨の下、今回のチャリティーの一部を世界の恵まれない子供たちに日本赤十字社を通して

て寄付をすることになりました。

こうしてゴルフを通して、学年を超え旧知を暖めた楽しい一日の締めくくりとして、最後は声高らかにクラブハウス全体に響き渡る力強い校歌を合唱し、参加者全員、固い絆の母校愛を確認し高揚を覚えました。

ある調査機関によると、日本人のゴルフ人口は1160万人で成人男性の4人に一人はゴルフをたしなむそうです。この数字を基にすれば総明会としてゴルフ場貸切(200名以上)は夢では無い数字であり、いつの日か華やかな女子卒業生と共に緑の絨毯の上を揃いの帽子で紫紺一色に埋め尽くす日も遠くない将来と確信しました。



表彰式

第14回 総明会チャリティーゴルフ大会成績表

		氏名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
個人戦	優勝	栗田 茂	S. 44	42	40	82	10.8	71.2
	準優勝	岩渕善美	S. 44	38	37	75	3.6	71.4
	3位	国井孝重	S. 43	40	46	86	14.4	71.6

		卒業年	代表選手	NET
団体戦	優勝	昭和44年	栗田 茂	215.2
			岩渕善美	
			秋山勝光	
	準優勝	昭和60年	平林康稔	222.2
			山口達明	
			宮島 賢	
	3位	昭和43年	斉藤公義	223.6
			塙 直樹	
			佐藤俊治	

※16学年の代表戦による
※4位以下の方は紙面の
関係上省略させていただきました

寄付報告

金一封 尾島育四郎様 金壺万円也
 関谷芳久様 金壺万円也
 吉田耕太郎様 金壺万円也
 白駿会様 金貳万円也

協賛品 中村正容様 バスタオル参加者全員
 囲碁・将棋セット五組
 卯の木会様 アフタヌーンティーギフトセット各種
 イトーピア栃木ゴルフ倶楽部様 キャディーバッグ2個・パター2本
 アゼリアヒルズCC箱田支配人様 キャディーバッグ1個・ボール2ダース

※ご寄付を賜りコンペが盛り上がりました。有難うございました。

チャリティー報告 合計¥100,000-

学校へ寄付 ¥50,000-

日本赤十字社へ¥50,000- 6月19日納付済み

※皆様方のご協力に感謝申し上げます。

祝 第44回総明会総会

イトーピア栃木ゴルフ倶楽部

〒328-0101

栃木県下都賀郡都賀町大柿2464

代表TEL 0282-92-0016

予約TEL 0282-92-0489

FAX 0282-92-0026



ITOPIA
TOCHIGI GOLF CLUB

総明会評議委員会名簿

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和 8年	昭 八 会	市 川 康 夫	
昭和10年		森 田 仁七郎	
昭和11年		板 垣 忠 吉	
昭和12年		中 富 光 国	
昭和13年	22 会	館 野 春 男	
昭和15年	明 中 26 会	三 笠 光 人	
昭和17年	一 七 会	安 藤 賢 司	
昭和18年		落 合 博 英	
昭和19年		鈴 木 昌 二	
昭和20年		小 林 久 也	
昭和21年	午 巳 の 会	齊 藤 田 夫	
昭和22年	午 巳 の 会	菅 田 敏 二	
昭和24年		大 西 新 玉	
昭和25年	明 二 会	小 田 川 武 二	高 橋 信 雄
昭和26年	明 二 会	寺 村 武 二	熊 井 山 耕 実
昭和27年	明 高 会	渡 邊 幹 夫	米 山 耕 実
昭和28年	明 窓 会	戸 田 一 郎	
昭和29年	29 会	矢 島 偉 行	
昭和30年		石 田 彰 健	宇 田 川 雄 弘
昭和31年	明 楽 会	佐 藤 健 一	大 出 育 男
昭和32年	明 治 会	小 林 正 三 郎	
昭和33年	三 三 会	鈴 木 寿 雄	藤 田 義 茂
昭和34年	旧 雨 会	加 倉 佳 一	
昭和35年	珊 瑚 の 会	倉 林 貞 夫	天 野 洋 一
昭和36年	明 駿 会	加 藤 眞 義	天 谷 正 哲
昭和37年	37 会	戸 谷 誠 樹	中 村 橋 正 健
昭和38年	二 年 に 一 会	三 浦 藤 生	高 塚 仁 一
昭和39年	一 一 七 会	佐 藤 仁 行	
昭和40年	明 優 会	阿 部 正 秀	菊 本 哲 也
昭和41年	41 明 友 会	小 川 康 郎	新 村 秀 男
昭和42年	M 41 会	結 城 村 夫	小 田 島 保 男
昭和43年	紫 讃 会	志 村 康 夫	中 河 孝 樹
昭和44年	男 坂 俱 楽 部	寺 田 英 明	比 留 間 子 敏
昭和45年	獅 子 の 会	木 村 茂 士	金 内 田 倉 前 実
昭和46年	明 潮 会	廣 野 宏 一	名 倉 前 武 田 眞
昭和47年	四七四七同志酔会	海 老 根 一 郎	大 吉 山 石 黒 越 上 辺 間 村 橋 川
昭和48年	波 の 会	山 崎 森 田 稲 一 朗	
昭和49年	明 紫 会	三 前 田 静 士 郎	
昭和50年	明 々 会	大 西 幸 洋	
昭和51年	男 子 校 根 性 組	大 井 志 和 孝 男	
昭和52年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和53年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和54年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和55年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和56年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和57年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和58年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和59年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和60年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	
昭和61年	紫 友 会	明 誠 大 齊 木 義 達 実 雄	

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和63年		光岡孝之	米持貴史
平成 2年		鈴木弘之和	森正樹
平成 3年		山口一郎	斎藤直宏
平成 4年		小畑啓	福田浩茂
平成 5年		安藤高利	長野吉克
平成 5年		田中誠一	
平成 6年		河村健一	新村哲也
平成 7年		石田頼央	金子敦史
平成 8年		青木大樹	三村具永
平成 9年		小谷健志	香川満洋
平成10年	紫 98 俱	秋山光億	平田健
平成11年	明 哲 会	石川一仁	戸邊寛
平成12年	明 瀑 会	玉木万理夫	保科大輔
平成13年	明 治 21	岡庭朋威	大橋弘頌
平成14年		下田良征	上原康仁
平成15年		大川康介	武雄一郎
平成16年		杉田将平	徳正憲史
平成17年		室井純	荒川佳二
平成18年		大倉歩	横田上淳
平成19年		横倉光輝	大竹惇
平成20年		渡邊圭	早川慎吾

班部OB会

名 称	氏 名
生徒会本部	長谷川裕
応援指導班	開発武志
新聞班	西山光彦
吹奏楽班	竹越利彦
図書班	平田幸彦
放送班	吉田雅弘
剣道部（見心会）	鈴木幸男
硬式野球部（明球会）	世古俊之
サッカー部	大室智一
柔道部	小川洋一
水泳部（明水会）	石川守也
スキー部（明雪会）	吉口市郎
卓球部（明卓OB会）	高橋正侑
庭球部	林伸光
バレー部	樋田哲次
フェンシング部	伊藤秀文
陸上競技部	櫻井勝也
バスケットボール部	年田善政
アイスホッケー愛好会（明氷会）	武藤仁
囲碁部	田島弘資
化学部	森八一
JRC	横谷昌明
物理部	磯部進
マンドリン部	赤岩大輔
歴史研究部	山形英明

中村 正容

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳 2-1-23

昭和40年卒

明優会

会長 大関清人

事務局

坪田達夫 TEL 03-3947-2431

昭和36年卒

総明会
名誉会長

明治大学教授

向殿政男

TEL 03-3701-1691

祝 第44回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

祝 第44回総明会総会

昭和46年卒

明潮会

昭和四一年卒

尾島育四郎

三徳印刷株式会社

中央区京橋二一三四
電話三二八一—三〇一六(代)

祝 第44回総明会総会

波 の 会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富 永 栄之進

副代表 板 橋 純三郎

評議員 海老根 一 介

尾 崎 幸 平

名 倉 豊

祝 第44回総明会総会

49年卒 翼 明 会

翼明会役員一同

祝 第44回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/dankongumi/>

祝 第44回総明会 総会・懇親会

昭和53年卒一同

紫 友 会



「新たなる飛翔」

～Boys&Girls～



新校舎の突撃取材

昭和56年卒 明翔会 蓬田 裕一

今日は待望の新校舎の取材の日。晴天にも恵まれ素晴らしい作品（取材）が出来る予感がしている。

一まずは最寄り調布駅

私ごとで恐縮であるが、遡ること今から24年前、社会人となって初めて過ごした場所が会社の独身寮のあった「調布」まさにこの地であった。その頃の記憶を辿ると駅前には大きな建物も無く、まさに「地元の駅前商店街」そのものといった趣きであった。ところが久し振りに訪れた調布駅前はその頃の記憶が完全に裏切られ、駅前には近代的なショッピングセンターや飲食店の入った高層ビルが立ち並



調布駅前

んでいた。なるほどこの駅であれば明中・高生を新校舎へ送り出す駅としては何の問題も無く、りっぱな存在感をイメージすることが出来る。正直よかったと安堵した。実は出身母校が調布に移転することを知ったときには、昔の調布のイメージを想像していたので、「駿河台の時とはだい

ぶ環境や雰囲気、それに伴って校風や気質が変わってしまったのかなあ」と多少とも心配していたのだが、今日久しぶりに調布に降り立ってみて、その不安は解消され、逆に好印象と共に「新生明治中学高校」の絵姿が浮かんできた。これから訪れる新校舎を想像し期待で胸が躍った。

二校舎までの行程で

調布駅から新校舎まで車で約10分程度。生徒は原則、調布駅又は飛田給駅からスクールバスでの通学となる。新校舎までの取材途中で、なった、なんと偶然にも噂のスクールバスを目撃してしまった。その衝撃は筆舌に尽くしがたい。写真をご覧いただいても今一つ分かりにくいのが、車体の色は鮮やかな紫紺。その下地に明治のトレードマークのM



スクールバス

（気概）の逞しさ、つまり、恥ずかしさを超越した宣伝効果への飽くなき追求！といったものを感じたのは自分だけで

と「明治大学付属明治高等学校・中学校」の文字が白抜きで描かれている。厭がおうにも目に入ってくる、否、目に飛び込んでくる。こういった趣向にも明治の精神（明治の

あろうか。

三 いよいよ新校舎へ

いよいよ新校舎正門の前に来た。これが新校舎だ。一言で印象をお伝えするとすれば、「素晴らしい最高レベルの教育環境！これで勉強・スポーツが向上しないと言ったら本人の努力が足りないと言われているも仕方がない！」と思わせるほどの造りである。広大な敷地には緑溢れる校庭・運動場・テニスコートが余裕をもって配置されている。なんでも運動場は正式なサッカー場の広さを持ち、全面水捌けのよい人工芝であるとのこと。ふんだんな資金を惜しみなく使った贅沢な校舎に仕上がっている。当校の教育方針にある「知性・感性・体力のバランスのとれた、人間性あふれる人物を育てる」ための施設と

しては、これ以上のものは無いと思われる。百聞は一見に如かず、読者の皆様、一度訪れていただくことをお勧めする。

ただ、一方、猿楽町の狭い敷地に、これまた絶妙に配置された旧校舎のことも今更ながら味わいがあったと記憶の中に思いだされる。確かに、校庭らしい校庭は無く（幾度となく倒れた拍子に学生ズボンを破ってしまったのは私だけではない筈）、校舎自体もボロボロで、狭い教室の中に、むさ苦しい男子が1クラス60名近くも押し込められ、まさにブロイラー状態であった。そういった教育環境（施設面は決して良いものでは無かった）にもかかわらず、我々は学校行事や部活動、仲間との切磋琢磨、恩師の厳しい中に

も愛情の籠った指導により、「質実剛健」「独立自治」の精神を養ったと思う。願わくば、逆説的ではあるが、この新校舎の最適な環境の中でも、明治中学・高校の精神（気概）を引き継いでいてほしい。



正門前にて

四 校舎内覧

まず入り口を入ったところ



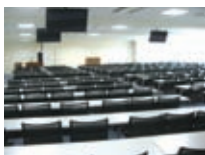
エントランス

で驚かされる。アプローチのロビーは1階、2階吹き抜きの心地よい空間であり、ゴージャスな雰囲気醸し出してくれる。

校舎全体は3階建て一棟の建物で、その中に2階、3階吹き抜きの図書館（写真）、1450人が収容できる大講堂

や300人が一斉に授業を受けることのできる多目的教室（写真）、2階建ての体育館（写真）とサブアリーナもあり、広々とした空間で生徒たちはのびのびと勉強に、スポーツに励んでいた。また、おしゃれなカフェテリアと幅6mもある広い廊下（写真）は、先生とのコミュニケーションの場（写真）、生徒たちの語らうとした。いた。

食堂は400名収容可能で（写真）そこで取材中にたまたま出くわした明治高校教諭の田村先生（昭和56年卒の同期）とランチを共にし、久々の友好を温めた。田村先生によると、生徒は真面目で熱心に勉強に取り組んでおり、特に高Ⅱ、高Ⅲの間に劇的に能力がアップする生徒も多く、教え



多目的教室



体育館



図書館

るのが非常に楽しいとのこと。私たちの時代よりも勉強が好きで、真面目な生徒が多いようだ。



コミュニケーション



広い廊下

献立は田村先生からの推薦もあり麺丼セット（写真）を食べたが、味はノーコメントとしておきたい。

食堂・カフェテリアの他にも広々とした瞑想の庭（写真）や和室（作法室）（写真）などもあり、ゆとりある空間を演出しているが、やはりメインの場所は学びの場の教室である。残念ながら生徒が勉強



食堂

している教室の風景を写真に収めることができなかったが、たまたま、同期の田村先生が授業をしている場面に遭遇したので、授業の邪魔にならないように覗いてみたが、授業に集中している生徒がとても印象的であった。

校舎内の施設について気になったものがある。それは実はトイレである。学校案内にも載っていないが一見してエッと言わせるものがある。うま



麺丼セット



作法室



瞑想の庭

く写真が撮れていないが（写真）とてもカラフルで現代的な設備である。BOYS & GIRLSの大きなロゴが非常に目を引き、用を足すのも忘れてしまった。そうそう、忘れるところだったが、今回の校舎移転とともに大きな転換となったのが入試制度改革。つまり、「男女共学」であるが、そのことについて少し触れておきたい。今は男子校、女子校ともに共



カラフルなトイレ



セーラーブレザー

学化の流れであり、明治中高もその流れに沿った変革をこの4月から行った。そのため校舎内のあちこちで可愛らしく清楚で、且つ利発そうな女生徒（今年度入学したのは高1と中1）が見受けられた。また、エントランス付近のウインドウに女子生徒の制服が飾ってあったのでここで紹介しておく。（写真）冬服は、正面から

見るとブレザー、後ろから見るとセーラー服という「セーラーブレザー」。清楚な印象を基調として、長く親しんでもらえるデザインとのことである。

五 取材の最後に

もう紙面も少なくなってきたので、そろそろ仕上げとしたい。今回の取材において多少生徒にインタビューしたのでその内容を2つ。中学1年の男子生徒数名に「学校生活は楽しい?」と尋ねたところ「とても楽しい。受験勉強を頑張っている学校に入れて良かった」と笑顔で答えてくれた。また、高校1年の女子生徒に「受験勉強は大変だった?」と尋ねたところ「偏差値は68ぐらいでかなり高くて難しかった。受験勉強はとても大変で

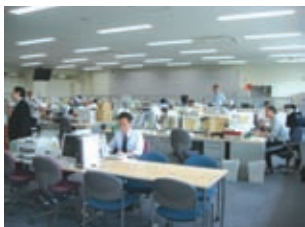
した」と難関を達成した充実感に目を輝かせて答えてくれた。いずれも非常に真面目で賢い生徒たちで、このまま明治中学・高校の生徒として真すぐに成長していったほしいと心より願った。

最後に、印象に残った事実を一つ。今回の取材中に校舎内を同期と探索していた時、その中の一人が、「なんか懐かしい匂いがしないか!昔の明高時代に戻ったような、何となく汗くさく、男くさい匂い。そうだ、窓際に体操服とかを干しておいたときのような」と叫んだので、皆であたりを見回したときに、その答えが判明した。ハッキリ分かったのは、何とそこは高Ⅲの教室前の廊下だった。(写真)



高Ⅲ教室前の廊下

はずだ。残念な気持ち半分、仕様がでない気持ち半分。非常に複雑だ。これからのこの新校舎に来るたびに色々な感慨が起ころうと思うが、それも旧校舎の懐かしい思い出と共にあり続けるはずである。



職員室

PS 掲載する写真が1枚残ってしまったのでコメント無しで掲載したい。生徒にとっての聖域、職員室である。先生方、いつもお疲れ様です。これからも宜しくお願いします。

以上

「新たな飛翔」

～ Boys & Girls ～ 座談会

昭和56年卒 明翔会 飯野 善明

日時 平成20年6月7日(土)
場所 明治高校会議室(調布新校舎内)
出席者 山田 伸夫 先生

数学科 教員歴36年

前副校長 現高校・中学校総務主任

応援指導班顧問

吉田 重幸 先生

英語科 教員歴26年

中学校教務主任

水泳部副顧問 囲碁部顧問

佐藤 秀加 先生

国語科 教員歴11年 中1担当

ソフトテニス部副顧問

橋本 綾乃 先生

養護教諭 教員歴9年

保健室

明翔会 (昭和56年卒)

齊木麻州男 衛藤 雅一

寺村 一義 三浦 健

飯野 善明 (司会)

本年度会報のテーマは「新たな飛翔」～ Boys & Girls ～ であり、それは新天地調布に移転し、男女共学となった母校の様子をOB会員皆様にお伝えすることが最大の使命・目的であります。その為には、実際に母校に向き、教育現場の第一線でご活躍されている先生方のお話を伺うことが重要であり、この座談会を企画いたしました。

この座談会の企画実施にあたりましては、明治高校山田伸夫先生のお図らいと、お忙しい中ご協力いただきました吉田先生、佐藤先生、橋本先生のおかげです。この場をお借りして心からお礼申し上げます。

OB会員皆様に、少しでも、新たなスタートを切った母校、明治高校・中学校の様子を感じていただければ、会報委員一同としては幸いです。



【施設・建物について】

司会…まず我々OBが学校へお邪魔して感じることですが、素晴らしい施設ですね。実際にこちらに移転して、施設・建物の件で、話題になっていることや、以前と変わったこと等がありましたら教えてください。

山田…施設・建物は素晴らしく、広さ

もありです。でも、学校に来るまで、即ち三鷹、調布のバス便が少々不便です。教職員はスクールバスには乗れないので、1時間には3本くらいの路線バスを利用しています。スクールバスについては、教員が飛田給、三鷹でバス当番をやっています。地域社会との協調、生徒指導の意

味で実施しております。

司会…吉田先生は水泳部の副顧問と伺いましたが、プールがない件は

吉田…いかがですか？

温水プールの維持費は、年に3億円かかるそうです。その分が学費に反映されてしまうので断念したそうです。現在水泳部は、週3回明治大学の和泉校舎のプールを借りて練習しています。



山田先生

司会…橋本先生、保健室はいかがですか。

橋本…きれいになりました。広さは以前と同じくらいです。場所がいいです。校庭に面していて、生徒の登下校の様子が分かるし、体育館にも近く、運動部の生徒も来やすいです。

司会…養護教諭の先生は何人ですか？

橋本…養護教諭は私がひとりで、嘱託の看護師が曜日交代で

二人いて、保健室は常時二人体制です。

司会…吉田先生、英語の施設はいかがですか？

吉田…CALL教室が二つあり、英検対策の教材等が揃っています。

【教育プログラムについて】

司会…教育プログラムもかわりましたか？

吉田…カリキュラムは高1、中1が少し変わりました。

山田…基本的には大きな変化はありませんが、スペースが広く、教室数が以前より多いことから、選択科目が増えました。

佐藤…中1に家庭科ができました。

吉田…中1には数学と英語の補習講座が週1時間ずつできました。定期考査の成績下位者へのフォローとして実施しています。

寺村…補習講座？私たちの時代もA・B組がありましたか？

山田… A・B組とは違います。あれは大失敗でした。二度とやりません。(OB爆笑)

佐藤… A・B組ってなんですか? (*詳しくはP90の「A・B組を知っていますか?」を参照ください。)

山田… 成績下位者、50名50名合計100名を収容していたところ

寺村… 7時限目までありました。俺たち勉強好きだったからな。

山田… 夏期集中補習合宿講座もありましたね。

衛藤… 夏期集中補習合宿講座が一番出席率良かったんじゃないか? (OB爆笑)

【学校の雰囲気について】

司会… 次に学校の雰囲気についてお伺

います。私たちの時代は質実剛健などの男っぽい雰囲気でしたが、女子生徒が入って変わりましたか?

橋本… 保健室はいまだに男子校のまま

で、あまり女子生徒は来ません。保健室の雰囲気は変わらないです。中1はもともと小学校が共学だったので、自然な雰囲気



橋本先生

す。高1は男子中学から共学になったので、嬉しそうですね。ちょっと舞い上がっているかもしれません。保健室に男子生徒しかこないのは、先生のせいじゃないですか?

橋本… いえいえ。(少し恥かしそうに)

佐藤… 生徒はあまり共学を意識してないと思います。中1は小学校が共学だから男女お互い居て当たり前と感じて

います。

斉木… 先生自身はいかがですか?

佐藤… 最初は少し戸惑うかと思っていましたが、中一の生徒があまり意識していないし、男子も女子も一人の生徒として接しているの、今のところ問題はありません。

司会… 吉田先生はいかがですか?

吉田… 中2、高3を担当していますが、同じ学年に女子生徒がいないので、様子を伺っているようなところは感じ

ます。

佐藤… 最初に意識していたのは中3ですね。中1の教室が近

くなので、中3の男子生徒が中1の女子生徒を見にくる光景がありました。でも中1の女子生徒はあまり意識していないようです。逆に、中1の女子生徒に囲まれて話をする中3の男子生徒もいます。先日の林間学校では、中3の先輩達にかわいいキーホルダーをお

土産に買うことを中1の女子生徒達が話をしてくれましたよ。

齊木..それは、部活の先輩へのお土産ですか？

佐藤..まだ部活が始まっていないので、先輩として色々な話をしてくれる男子生徒達へのお土産です。よく中1の教室に来ていますよ。

【先輩・後輩の上下関係について】

司会..先輩、後輩の上下関係はいかがですか？私たちの時代

は部活の上下関係が厳しかったことを思い出しますが？

山田..今も同じですよ。

司会..それは応援指導班だからじゃないですか？

山田..ブラバン、運動部も同じですよ。上下関係はきちっとしています。でもクラブ活動中とそうでない時は違います。

司会..今の生徒達は仲が良さそうですね。

山田..高1では男女揃って登校する生徒達もいますよ。バス指導の時に見ました。男は応援指導班だけ。(笑い)

佐藤..何組かいますね？積極的に近づいていく男子と指をく

わえて、どうしたら良いかわからない男子がいますね。

山田..最近中3はやたら鼻血を出す生徒が多いですよ。

(山田ジョーク) 本当ですよ。

【授業態度について】

司会..中1、高1の女子生徒がいる学年と、それ以外では授業態度は違いますか？

佐藤..女子が入ったことで、ある意味、抑止力になっていきます。私たち教員が注意をする前に、女子が先に目を向けてくれます。注意を聞く雰囲気があります。少し以前とは違います。

司会..消しゴムを投げたり、早弁などをする生徒はいますか？

吉田..今も早弁はいますよ。そこは要領よくやっているようです。授業態度は良いですよ。

【通学圏、生徒の気質について】

司会..生徒の気質は変わりましたか？御茶ノ水の時とは下町から通う生徒が多かったと思いますが、こちらは通学圏も違うので生徒の気質も変わったのではないのでしょうか？通学圏はどうなりましたか？

佐藤..確かに変わりました。中1には、千葉県の生徒はいません。

吉田..今年の中1から高3までのデータだと、千葉県は1.9%です。逆に増えたのが東京西部で、2004年度が13.8%に対して、35.6%に増えました。

佐藤..ご両親がお勤めの方や、一般的に言うサラリーマンのお子さんが増えました。

吉田…一人っ子も多いですね。

司会…学校にお邪魔して驚いたのが教員室の風景です。私達は教員室が大嫌いでしたが、今は教員室の前に広場があつて、そこに生徒が集まっていますよね。私たちには考えられない光景ですが。

吉田…それは、教員室イコール怒られるということだったのじゃないですか？

三浦…教員室イコール殴られるですよ。(笑い)

吉田…今も注意を受ける生徒もいますが、いろんな用事があつて気楽に來ていますよ。

寺村…いつから変わってきたのですか？ ターニングポイントがありますか？

吉田…いつから変わったかは分かりませんが、制帽がなくなつたりして徐々に変わったのではないのでしょうか？でも質実剛健は受け継がれていると思います。たとえば、女子のスカート丈も他の高校よりも長めであつたりしますよ。

佐藤…中にはスカートを折って短くする女子生徒もいるので、時々注意します。



吉田先生

【女子の制服について】

司会…女子生徒の制服の決め方は、どうされたのですか？

佐藤…委員会を組んで、いくつかの会社は何パターンか提案してもらいました。男子の学生服に似合い、明治らしさのあるモノということではなかなか新しいものが出せませんでした。でも、細部まで気を払い、校章ではないですが、スカートの裾に明治のMのマークが入っていますよ。



佐藤先生

【入学試験倍率・推薦制度について】

司会…新校舎、男女共学になって、入学するのが難しくなつたのではないのでしょうか？

吉田…中学男子の倍率はほぼ横ばいでしたが、女子の倍率は男子以上でした。また、高校は一般入試、推薦入試とも倍率があがりました。推薦制度には指定校推薦、一般推薦AとBがあります。

山田…推薦も指定校推薦入試は10名応募10名合格、一般推薦入試は4倍以上になります。一般推薦入試は難しくなっ

ています。

司会…狭き門になってきましたね。私たちOBの子供を明治中学、明治高校に入れるにはどうしたら良いでしょうか？

山田…勉強するしかありません。でも学校説明会をたくさんやっていきますから、よく研究して下さい。昔は年に2回程度しかありませんでしたが、中学で学校主催が年4、5回以上あります。各学習塾主催もあります。少子化で子供の数は減っていますが、受験者数も減っている訳ではありません。

司会…やはり、狭き門になっていますね。
山田…OBの方々にもいろいろな考え方があります。現在の応募状況が続くかは分かりません。こういう立派な校舎がたっても、そこに魂が宿らないといけません。そこに魂を入れるのが教職員であり、生徒であり、OBです。施設・建物だけが立派でも、そこに宿るモノが重要ではないでしょうか？

【班・クラブ活動について】

司会…そこに宿るモノという話がありましたが、決して勉強だけでなく、班・クラブ活動を通して人間教育をされていると思います。新しくできたクラブ活動についてお聞かせください。

〈中学定員〉

35名×5クラス＝175名

1回目 2月2日 男子 3.2倍（ほぼ横ばい） 女子 5.3倍
2回目 2月3日 男子 5.8倍（ほぼ横ばい） 女子 6.2倍

〈高校定員〉

280名 男子 130名 女子 57名（30％）

明治中学

130名 男子 89名 女子 64名（23％）

他中学

153名 男子 89名 女子 64名（23％）

推薦入試

前年 1.9倍 ↓ 本年 4.0倍

一般入試

前年 2.3倍 ↓ 本年 3.9倍

〈推薦制度〉

●指定校推薦

調布市、三鷹市11中学の校長推薦

●一般推薦A

教頭校長面接で判定、10名合格（1.0倍）

●一般推薦B

受験資格

5教科内申点22点以上、全教科内申点38点以上
9教科5段階評定に2以下が無い者

●一般推薦

課外活動で顕著な活動をした生徒を募集（国・野球・バス）

ト8以上のレギュラーでその証明）

5教科内申点20点以上、全教科内申点36点以上

9教科5段階評定に2以下が無い者

推薦入学者 男子26名 女子24名 合計50名

（2008年度の入試実績です。）

佐藤…硬式テニス部です。中1だけで187名中、50人以上が入部しました。

吉田…中1以外の学年で97名ですから、現在150名を越えていると思います。

寺村…それじゃ素振りしかできませんね。

吉田…軟式テニス部から硬式テニス部に移った生徒もいます。

佐藤…中1では生徒会にも入った人数は多いですよ。

齊木…生徒会はなぜ多いのですか？生徒会って何をするのですか？

山田…出合いの場にもなっているけど、生徒会本部は全生徒、クラブ等の中枢です。何年かしたら生徒会長も女子生徒になるかも知れません。女子生徒は結構積極的です。

佐藤…生徒会の女子生徒が放送を流しますが、女子の声が柔らかいからほっとする感じがしますね。

山田…礼儀正しい生徒が男子生徒より多いです。廊下でも明るく気持ちよく挨拶してくれます。

司会…作法室も拝見させていただきましたが、女子生徒だけの班・クラブはありますか？

山田…現在はありません。学校としても、男子だけ、女子だけの班・クラブ活動を望んでいる訳ではありません。

司会…野球部にも女子マネージャーが入りましたね。

山田…野球がやりたかったら女子もやっていたいと思いますよ。

明治大学野球部にも数年前外国人の女子がいましたか

ら。でも体力的には厳しいですね。あとはその人のやる気ではないでしょうか。

司会…他に女子生徒が入ったクラブはありますか？

山田…柔道部に女子が1名はいりました。これは練習、試合とも別です。クラブ室も男子と女子は別です。

司会…他に人気のあるクラブはありますか？

吉田…サッカー部は中1を除いて77名です。硬式野球部は72名です。ブラバンは女子が25名、全員で75名です。マ

ンドリンは中1を除いて36名です。

齊木…応援指導班はいかがですか？

山田…中1は女子4人、男子3人が入りました。高一女子も4名入りました。女子応援指導班員はチアリー部になり

活動をします。

司会…チアリーの指導はどうされていますか？

山田…大学生のチアリー部の幹部が来て教えてくれます。月と金、週2回指導してもらっています。

司会…ほとんどの生徒が班やクラブに入っているようですが、帰宅部はいないのですか？

佐藤…中1で一人迷っている生徒がいます。通学に時間がかかるようで悩んでいます。もう一人は外のサッカークラブに入っている生徒がいます。

【体育授業について】

司会…体育は男子、女子は一緒ですか、別々ですか？
橋本…体育は別々です。3クラス一緒に体育をやっている、

男女で別れています。体育の施設が充実しているの、
いろんなところで体育の授業が展開できるようになっ
ています。

司会…私達の時代の体育はバレーボールか裸で走らされてい
ましたが、今は何をしていますか？

佐藤…卓球、バトミントン、テニスなど様々な競技をやっ
ています。

三浦…体育当番はありますか？

佐藤…体育当番ってなんですか？

寺村…体育の時間に金品が盗まれないように、教室で見張り
をする当番です。

吉田…今は、廊下に生徒の個人ロッカーがあって、暗証番号
で貴重品を管理しています。

三浦…ロッカーはいつも壊れていました。

山田…当時はロッカーじゃなくて下駄箱ですよ。

寺村…昔はその下駄箱に教科書から体操着などを詰め込んで
いて、体育の後はその下駄箱がもっと臭くなっていま
した。

司会…私達は教室で着替えていましたが、今はどうですか？
佐藤…男子は今も教室で着替えています。女子は更衣室で着

替えています。

【教育的指導、体罰について】

司会…体育の先生が怖かったけど、今はそういう教育的指導
を熱心にする先生はいますか？体罰などはありますか？

山田…体罰というやり方は絶対にありません。

斉木…俺たちは体罰を愛の鞭と言われていましたよ。

衛藤…スリッパで叩かれたり、塩撒かれたこともありまし
たよ。(笑)

司会…廊下に立たされた思い出がありますが、廊下に立たさ
れる子はいいますか？

山田…こちらの校舎にきてからは余りいないですね。従来の
教室の机は二人一緒に並んでいたけれど、今は、1ク

ラス中学で35名、高校で40名と人数が少なくて、1列
ごとに分離されていますから、すぐ机の間に行って注
意ができます。つるんで話をしている生徒は少ないで
すよ。特に中学生は義務教育だから、授業を受けさせ
なければいけないわけですから、外に出させること自
体がよろしくない行為です。

司会…うるさいからそこに正座して聞いていなさいとい
うことはありますか？

山田…教員によって個人差があります。私も昔はいろいろあ
りました。腕立て伏せもありました。授業を続けてい

て、「先生、鼻血でできたよ」って言った中1の生徒がいましたよ。(山田ジョーク)

司会…今は生徒に言って、聞かせることが大切ですね。そうしますと、生徒とのコミュニケーションが昔より多くなっていますね。私たちは先生から逃げていましたし、先生からはいいいからやっつけみたいところもありましたが、今はちゃんと説明しなければならぬですね。

【今の生徒の様子について】

佐藤…(林間学校の写真を見せていただく)

寺村…こんな写真、俺たちの時代は考えられないね。俺たちの中1の林間といえば、枕を投げて、蛍光灯を割って、誰か怪我したよな。

衛藤…寝ている間に、歯磨き粉、ぬられていた奴もいたよ。

三浦…顔つきがちがいますよね。いい顔していますね。

寺村…いや入ったころは、皆こんなものだよ。

司会…でも卒業アルバムはひどかったよね。みんな斜め向いてガンつけていたよな。生徒がよくなったのかもしれないね。

吉田…やはり今の子は兄弟が少ないですから、他人との関わり合い方が難しいようですね。自分の伝えたいことがうまく言えなかったり、相手が言ったことを誤解してしまったりすることがあるみたいです。そんなことで、

携帯電話のメールでのコミュニケーションもあるみたいですよ。小学4年生から塾通いで持っていますからね。以前にはなかった現象ですね。

齊木…携帯電話は学校に持ってきててもOKですか？

吉田…学校の許可を受ければ基本的にOKです。安全確認の意味で許可していますが、登校と同時にロッカーに入れて、下校時までには使えません。中学生でもOKです。先生のお仕事も生徒たちのコミュニケーションが重要になっていきますね。生徒とのコミュニケーションを保つために何かやられていますか。

司会…
吉田…中学はホームルームを週1時間、道徳も週1時間取っています。高校は週1時間のホームルームがあります。それ以外でも授業での信頼関係が大切ですし、掃除の時間などでコミュニケーションを取るようにしております。

司会…掃除は生徒がやっているのですか？

吉田…自分たちの教室は当然やっています。またこちらに移転して近隣の付き合いも大切ですので、校周も掃除しています。

山田…あと校旗当番がありますね。高校Ⅱ年生から中学1年生まで日替わりで中・高2名ずつが当番になります。

【進学・進路指導について】

司会…我々同期は、ほとんどが明治大学に進学しましたが、

他大学への受験はどのようになっていきますか？

山田…現在国公立併願は可能ですよ。でも明治大学も私学の

雄ですから、他の私立併願はできません。

齊木…私たちの時代と同じですね。

山田…あの時はまだ制度化されていませんでしたよ。東大を

受験して落ちた生徒がいたから、推薦を復活し明治大学へ進学した生徒はいました。今は制度化が確立されました。そういう意味では生徒にチャンスを与えていると思います。

寺村…毎年そういう生徒はいますか？

山田…必ずいますよ。去年は4名の併願者がいました。例年

ですと2、3人合格して国公立に進学します。医学部、薬学部志望の生徒が多いようです。

齊木…やっぱりない学部ですよ。

山田…一時期は明治にない学部の国公立併願可能な時期があった、その後国公立に関してはすべてOKになりました。

司会…選択肢が広がっていいですよ。

佐藤…つい先日、中1の生徒とお弁当をたべながら話したのですが、その子は将来、薬剤師になりたい。だけど、明治大学には薬学部がないからと言っていました。個人的な意見ですけど、今後はそう言う意味でも進路指

導の仕方が変わってくるのではないのでしょうか？

司会…私達の時代の進路指導は「お前何学部に行きたいの」ぐらいしかなかったよ。

齊木…俺なんか成績悪かったから、お前この学部に行けって言われたよ。

三浦…進路指導なんてされてないよ。ここしかないよって

言われたよ。

司会…進路指導も変わってきますね。

山田…今は推薦の枠がいっぱいありますから。君たちの時代だと1クラス55名で5クラスだから275名だったですね。

それで7学部でしたよ。トータルで250、260名位しか枠がなかったはずですよ。ところが今は9学部あり、推薦枠も300名近くありますから、自分の好きな学部を選んで進学できますね。よほどのことがない限り、不本意入学というか、商学部推薦枠をオーバーしたから「お前は希望学部を変更しろ」というような指導は殆どないといつてよいでしょう。

齊木…夜間しかいけない人もいましたよ。

司会…行けない子はでて来ないってことですよ。

山田…行きたければね。でも推薦基準があるから、それに達しないとだめですよ。単位がとれなくて留年する場合もあります。

司会…いまも留年あるのですか？

山田…ありますよ。でも1学年2度までしか在籍できません。

最大高校で6年間しかいられません。過去に在学中に成人式を迎えた生徒もいましたよ。

吉田…昔は落第すると友達が倍増えるみたいところがありました。今は留年すると他校へ行くケースが多いですね。それに今は大検が一般的になっていきますから、それで大学を目指す子もいますね。やはり世相の違いがありますね。

山田…共学になると、留年したりすると恥ずかしいでしょうね。

司会…高Ⅱで留年して、高Ⅰといっしょになったら女子といっしょになれますね。(笑い)

【女性の先生について】

司会…女性の先生は多くなっていますか。

佐藤…女子の教員は14名ですね。

吉田…専任教員は全員で61名です。また講師の先生が23名でそのなかでも女性が多いですね。

司会…昔は女性の先生は少なかったですからね。それに比べたら女性の先生も増えて、教職員どうしのコミュニケーションも取れやすいのではないのでしょうか？働きやすい環境になっているということですね。

佐藤…私が入る前の5人の先生方が大変だったと思います。

男子校で男性の先生が多かったので、すごく苦労されたと思います。その5人の先生がいたから、こうしてやっていられていると思います。今は、自分のできる最善のことを生徒や、他の先生にできたらいいと思っています。たぶんこれから女性の先生が増えてくるとおもいますので。

司会…橋本先生はいかがですか？

橋本…私の場合はこの明治高校に入った時の同期が3人とも全員女性だったので、特に意識することはありませんでした。でも当然男子校だから男性の先生が多いし、生徒も男子なのでこういう感じなのかなと思いました。始業式で紹介されたとき、生徒が学生服だったので、あ！全員黒いって思ったことの印象が残っています。その前にいた学校が共学の普通の中学校だったので余計にそう感じたと思います。

佐藤…私は男子校と知らないで、教員採用試験を受験しました。

OB全員…えー!! (全員驚き)

佐藤…明治大学の付属だから共学だと思っていました、書類を送って調べたら、男子校だとわかりました。確かに学生服の印象は私も残っています。

でも山田先生、吉田先生をはじめ男性の先生方にはいろいろと声をかけていただき、アドバイスもいただい

て、生徒だけじゃなくて、仕事、職場に恵まれて、ありがたいと思っております。

また、OBの方々や保護者の方々が、いろいろと事ある毎にご協力くださるパワーが大きくて、ここまで来られたと思います。

齊木…先生が一生懸命やっていたので、保護者も安心して学校に送れているんじゃないでしょうか。倍率もあがっていますし、明治高校を信頼していて、子供たちを送り込んでくれていると思います。先生方の努力、すばらしいと思います。

【OBの学校に対する要望について】

佐藤…OBの方々から見られて、こちらに移転しましたが、こういう学校であってほしいという要望はあります。

齊木…時代の流れもありますが、人に挨拶するとか、そういうことができる人間であってほしいと思います。あとは明治高校という学校がみんなに愛されてほしいと思います。先生、生徒が魂を入れて行くことであって、OBは外から援助するしかできないので、ただそんな中でも、みんなに愛されてほしいと思います。そういう学校が理想的ではないでしょうか？

山田…95年の伝統がありますからね。それまである程度の偏差値を保ってきた学校が、移転してしばらくたったら

誰でも入れるような学校になったとしたら、原因は我々教職員の指導体制・学校経営姿勢の問題が大きいです。

そうなら95年間の卒業生達に申し訳ないと思うからこそ、我々は公立にない、私立高校ひいては明治高校・明治中学としての教育を進めなければならないとみんな共通して思っています。

司会…大学の付属校なので人間教育というところに力を入れていたのだと思います。勉強だけでなく、文武両道でやっていただきたいと思います。それが明治高校のいいところだと思います。

寺村…卒業して訪れた時に、やっぱりこの学校を卒業してよかったなと思える学校になってほしいと思います。

三浦…やっぱり調布にきたことに対しては複雑な気持ちがあります。こちらでは是非がんばってほしいと思います。御茶ノ水のがちゃがちゃしたところで得るものと、こちらの伸び伸びとした環境で得るものは確かに違うと思います。でも本質は変わって欲しくないと思っています。

山田…いつまでも移転して、猿楽町の方が良かったといっても始まらないですよ。来た以上はここを母校として、みんなで育てていかなければならないと思います。

衛藤…明治は感覚的にいい学校ですよ。来たくりますよね。来てみんな挨拶してくれますよ。そういうのはす

山田

ばらしいと思います。気取ったところはないと思うし、質実剛健といって硬いというわけでもないし、温かみのある生徒であってほしいと思います。

家庭教育のおかげもありますね。やはり中学、高校から私立に來させてくれている家庭ですね。昔は下町のお子さんが多かったけど、こちらに來て山の地域の家庭が増えました。校内での挨拶は昔ほどしなくなりましたね。これは家庭教育の現れでもあります。我々の教育もしっかりしなければと思います。教育の基本は挨拶からといっても過言ではありません。私学に入学させた保護者に対しても最低限の道徳はきちっと教えていかないと、本校に入学させた意味がないわけです。我々教員は襟を正して義務を全うしないといけません。

司会

是非これからも頑張ってください。

私達は45歳ですけど、ちょうど自分の子供が中学、高校に進学する世代です。毎年この世代が総明会の幹事をやりますので、毎年自分の息子娘を入れたと思う。そういう憧れの学校になってほしいと思います。本日はありがとうございます。

以上座談会の内容をご紹介させていただきましたが、山田先生をはじめ先生方の明治中学・高校に対する熱い気持ちを

感じる事ができました。我々OBは直接学校運営に携わることはできませんが、母校を愛する気持ちは同じではないでしょうか。OBとして出来ることをして、これからの明治中学・高校の歴史を見守って行きたいと感じたのは、私だけではないと確信できた座談会であったと思います。



白畑尚志
パートナー/代表社員
公認会計士
リスク管理部部長
(昭和56年卒)

あらた監査法人

〒100-6532
東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング32階
携帯 090-6491-0694
hisashi.shirahata@jp.pwc.com

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

女子入部 班・クラブ

顧問に聞く

応援指導班

応援指導班顧問 山田 伸夫

応援指導班の日常活動として、本年度より共学化と共に大きく変化したことは、女子応援指導班員が入班し「チアリーダー」として活動することです。従来はもちろん無かったので指導体制をいかにようにするかを監督・コーチとも十分相談をし、O・Gが出るまでは、当面、大学のチアリーダー幹部部員の指導に委ねることにしました。そのことに

より技術面での早期習得、実践面での応用力向上、ユニフォームの借用等、より活動の幅を広げることが可能になりました。中学1年生4名、高校1年生4名の計8名が5月より「チアリーダー」の練習を行い、7月上旬より行われます硬式野球部夏の大会「西東京」ブロックでのデビューに向けて練習に励んでおります。チアーのことばかりを述べていますが、従来の応援指導のリーダーの方も新しく中学1年生3名、高校1年生3名を迎え合計12名で練習をしています。ランニングを基本

とする体力練習、拍手や腕の振りを何度も繰り返し返す技術練習を中心に行っております。多くの人を引きつける力を必要とする応援指導班員においては、日々の努力・精進は欠かせません。互いに向上しようとする気持ちを高揚し各々の成長を図ることにより、連

帯感、団結心が生まれ班員同士の信頼関係を強くしていくのです。また、日々の活動で班員一同が念頭に置いているのは「応援団々則」です。

「団則」

一、団結 一、剛健 一、自律 一、服従 一、明朗であ

ります。今後も、母校明治中学校・明治高等学校の発展を願ひ、運動部に対しては直接試合に駆けつけ応援を行い、文化部に対しては激励会等の形で貢献していく所存であります。

新生「応援指導班」は従来の良きところは積極的に踏襲し、改善すべきところは広い視野に立って改め、中等教育におけるその名に相応しい活動をして行きたいと思っています。皆様方の深いご理解とご協力をお願いいたします。

吹奏楽班

吹奏楽班顧問 鈴木 正人

2008年4月、吹奏楽班は新天地調布校舎で30名の新入生を迎え入れました。内22名が女子であり、さらにそのうち8名が楽器経験者ということで総勢78名の大所帯になりました。

いままでの吹奏楽班は、中学生を入れて50名という大会メンバーにやっと足りるかどうかという実情でしたが、今回は中学生だけで50名というかつて無い編成を組むことができます。さらに共学化1年目にしてこの喜ぶべき有様ですから共学化完成年度ではおそらく100名を超えるメン

バーとなり、中学と高校がそれぞれ独自にメンバーを組むことが可能かもしれません。嬉しい悲鳴とともに私たち教員団も覚悟が必要です。

さて実際の活動ですが、朝練から女子の班員たちは熱心に基礎練習に励んでおり、触発されて男子の参加率も高くなっています（朝練は基本的に自由参加なのです）。

また、今まで経験したことのない厳しいレギュラーメンバー争いもすでに始まっているようです。また今まで当たり前のように使ってきた部活動特有の挨拶「ちわっ」や「したー」など、意識していなかった部分でも女子の入班により「失礼します」などの言葉に変更したり！（こんな

些細なことでも子供たちとのやりとりは大変なんです・・・）きっとまだ気がついていない部分でも女子にとっては「？」なことがあるでしょうから、一つ一つ丁寧に対応して、男

子と女子が協力して素晴らしいハーモニーを作り上げることでできる班活動の基礎固めをしたいと思います。しかし、気を使う部分ばかりではなく、女子の入班により班活動全体の（学校といっても良いかな）雰囲気明るくなってきたようです。楽しい中にも規律正しく、音楽以前に人としてのマナーをきちんと身につけさせていきたいと考えて日々指導にあたっています。

来年の第50回定期演奏会ではOBも参加して盛大に行う

予定です。どうぞ皆様も2009年1月25日。昭和女子大学人見記念講堂まで足を運んでください。



吹奏楽班の演奏風景

新校舎での図書班活動

図書班顧問 江竜 珠緒

今年度、図書班には中1は女子2名、高1は男子13名（うち5名が新入班員）が入班しました。もともと図書班は途中入班者の多いところなので、来年以降、また中1、高1に限らず、中2や高2から入班してくれるとよいのですが……。といっても、現在図書班は34名の大所帯。ほとんどが兼部のため活動は昼休みに限られますが、以前に比べて広がった図書館の中で本を返却したり、時には図

書の装備を手伝ったりと、いろいろ活躍してくれています。

特に新校舎で図書館がオープンしてから2週間ほどは、司書教諭と司書の2名だけでは毎日300人から400人近い利用者をさばききれず、このときほど図書班員が頼もしく見えたことはありません。彼らの活躍がなかったらいいだろうなっていたことかと、いまでも感謝しています。おそろくそういう図書班員の姿を見て入班を決めた新入班員たちだからでしょうか、今年の新入班員たちはとてもよく仕事を手伝ってくれます。「学校のために図書館を利用しやす

い場所にしよう」「整理整頓しよう」というボランティア精神で集まってくれた図書班員です。既存の図書班員と途中入班員もすぐ打ち解けますし、男女の区別もなく協力していけるように思います。

近年、図書班員の人数が減少したために低迷していた図書班活動ですが、今年は人数も多いため、本の返却や貸出に限らず、新校舎の設備を利用したさまざまな活動をしていく予定です。昨年は出せなかった図書班日より『明風（あけかせ）』の発行や、図書館利用案内のビデオ撮影など、オープンキャンパスや文化祭

以外でも図書班が集まって活躍する場が増えることを期待しています。OBのみなさんも文化祭などの折にはぜひ新図書館に足をお運びください。



図書館

硬式野球部

硬式野球部顧問 田中徹太郎

澤田睦夫監督をお迎えし、約10ヵ月が過ぎようとしています。第90回全国高校野球選手権春季東京大会では、5連勝の快進撃でした。部員も73名にまで増え、特に1年生は31名も入部しました。

上杉友美さん、吉丸咲季さん、阿久津美咲さんの3名の女子マネージャーが入部いたしました。いずれも東府中グラウンドの練習に参加し、監督のご指導により、縁の下の方の力持ちとしてよく努力しています。

移転後、グラウンドも近距離となり、平日の練習開始も

1時間近く早くなりました。

野球という競技は、集団競技であると同時に個人競技の色彩も強く、個々の強さが求められます。活躍できる日もあれば、自らのミスが大きくチームの足を引っ張ることもあります。学生野球の本質は、こうした体験を通じて、結果的に自らの我執が弱まり、周囲に支えられている事に感謝する事を体得する事にあります。併せて、準レギュラーに甘んずるとも、嫉妬せず、自己の練習を謙虚に反省する姿勢を学ぶことも大切です。

全力を尽くして勝利を得ることが最上ですが、精一杯を尽くして敗れる事は、2番目に素晴らしい事です。相手をなめきって勝つ事やルール違

反をしてまで勝利に到ることは学生野球には求められてはいません。

野球人である前に学生の本分を守る事は、故島岡吉郎監督が明治に植えた大切な精神です。明治高校野球部員はこの精神を継承する第一人者でありたいものです。



女子マネージャー



島岡吉郎像



柔道部近況報告

柔道部顧問 櫻井 清孝

2008年4月より、明治大学付属明治中学校・高等学校は調布新校地に移転し、新たな歴史を歩みだしました。

新校地に移転してもっとも大きな変化は男子校から共学校に変わったことだと思います。

我が明治中学校・高等学校柔道部は、猿楽町校舎で多くの有能な人材を輩出してきた歴史と伝統ある部です。

調布新校地では、恵まれた練習環境（専用柔道場やトレー

ニングルームなど）のもと、猿楽町校舎以上の成果を上げ

ることを活動目標にしています。本年度は、高校1年生3名（男子2名、女子1名）を新入部員としてむかえ、高校生9名、中学生4名の13名で活動を開始しました。

女子が入部するということで、変化したことについてよく質問を受けるのですが、「特に変化はありません。」と

いつもお答えしています。女子部員のために特別な稽古内容にしているわけでもなく、

全員同じ稽古をしています。それに、新入部員も全員経験者だったというのもあります

が、今までと何ら変わらず活動をしています。

あえて変化した事をあげるとするならば、練習試合の相手校に女子がいる学校をできるだけ探すようにしていることぐらいです。

現在、柔道部は週4日活動をしています。日々まじめに稽古に取り組み、先日行われた多摩地区大会では、中学生が都大会進出を決めました。

今後、この結果に満足することなく、精進していきたいと考えております。

やっぱり明治が NO.1

Dep mates Inc.


マーク入 Goods・Tシャツ
エンブレム・アカデミックガウン

明大サポート指定・MS 会幹事会社

Good's 企画・製作明治大学・オフィシャルグッズ

代表取締役 大前 実之 (昭和49年西学館卒)

ベップ・メイツ株式会社



陸上競技部活動状況

陸上競技部顧問 上小牧正広

陸上競技部の現在の活動について以下に報告をしたいと思います。

我が陸上競技部は学校が調布に移転をして大きく変わりました。まず最も大きな変化としては広いグラウンドが出来たということです。御茶の水のあのテニスコート2面分の校庭から開放されて、ようやく走ることが出来るようになったわけです。生徒は週4日、思う存分校庭を走り回っています。

また、もう一つの変化とし

ては女子部員が入部してきたことです。中学1年生が5名、高校1年生は1名が入ってきました。

初めは女子の扱いに戸惑うかなと思っていましたが、蓋を開けてみれば全く問題なし、今は男子部員と同じメニューで張り切って走っています。

さて、大会の様子ですが、現在は高校の地区予選が終了し、中学の都大会を目前にしているという状況です。高校は残念ながら都大会に進出することはできませんでしたが、中学の方は10年に1人という逸材が登場し、うまくいけば関東大会の切符がゲットでき

るかもしれません。

以上、簡単ではありますが陸上競技部の現在の様子について報告いたします。



祝 第44回総明会 総会
昭和49年卒 翼明会 代表

ターカム保険企画(有)

日本興亜損害保険株式会社
日本興亜生命保険株式会社 代理店

代表取締役 **竹 澤 啓**

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西9-20-3
TEL 03-3675-9955 FAX 03-3675-9922
携帯 090-3200-6139 E-mail: takezawa@r2.dion.ne.jp

同期の方々のメールアドレスを教えてください (現在20名程です)

女子入部班・クラブ

OBに聞く

共学化した明治中学・高校に寄せて

平成18年卒

応援指導班 釜谷 洋平

毎日のように、男坂を眺めて過ごしてきた六年間がとても懐かしく思います。

あの猿楽町の校舎に通っていただけで、私の心は紫紺色に染められました。

今大学生となり和泉校舎に通っているわけですが、どこか温度差のようなものを感じてしまう瞬間があります。また、あまり関わりのなかった

諸先輩方がいらっしゃる応援団のOB総会では、緊張するはずの席ですが、安心して自分の自分がいます。ある先輩がこんなことをおっしゃっていました。「どんなに年の離れている間柄でも、普通の話は通じないかもしれないけれど、明治という唯一の共通の話ができる。」

この言葉を聴いたとき、言葉では表せないような力が体に入りました。私たちの、体の中心には『明治』という名の柱が通っているということに改めて思わされました。

私は、明治中学・高校と、

勉強だけでなく、他のたくさんの事を学びました。校歌を聞いたなら右手を振りたくなるということだったり、紫紺の歌が聞こえたら血が騒ぎ出したりと。こういった気持ちは私だけかもしれませんが、明治高校を出たものなら、必ず明治に対する特別な想いであったり、体の中心に何かが通っていると思います。例えていうなら紫紺の旗へ集おうとする気持ちであったり・・・。

今年、明治中学・高校は移転して共学化しました。正直なところは複雑な気持ちです。男だけしかいなかったけど、

その男どもにしかできないことがあったり、想いがあったと思うからです。しかし、女子が入ってきた今、新たな歴史が始まるわけです。新校舎を何度か見に行きました。広く綺麗で、うらやましい、の一言に尽きるくらいの校舎です。

男坂はなくなってしまうましたが、創立当初から脈々と流れる紫紺の想いを絶やすことなく、卒業生を社会へ、明治大学の核へ送り続けていたきたい、私はそう思います。

「吹奏楽班は今年で創立50周年！」

平成2年卒 深井 重男

私が明治中学校に入学する4年前（1980年）、我が吹奏楽班は夏のコンクール大会において、「吹奏楽の甲子園」と称される「普門館」という巨大な音楽ホールにて東京支部代表として出場・演奏を致しました（本年度幹事学年実行委員長 齊木氏は出演されております）。自分の明中・明高時代も、この全日本大会への出場を懸けて夏の全てを費やしたものです（結局、6年間で一度も出場はできませんでしたが）。

卒業後はコーチとして、あ

るいはOB会の役員として微力ながら現役を見守っておりますが、およそ20年が経とうとする現在も未だに悲願は達成できておりません……。

しかしながら自分の現役時代も、そしてその後の20年間も、ただの1回も手を抜く活動・演奏をしていないことを、本心に誇りに思っています。

高等学校の部門に、中・高を合わせても規定人数に達しない編成での出場、楽器購入の予算や練習場所など様々な制約のある中で、手前味噌ですが毎年聴衆や関係者に涙させる演奏を披露してくれております。

また、夏の大会だけでなく文化祭や校内行事、さらには

自主公演の定期演奏会も回を重ねる毎に演奏・内容共に充実してきていると思います。今年度は、お陰様で50回の記念演奏会となり、40回記念の時と同様に現役とOB合同ステージや著名な作曲家への委嘱作品の依頼も予定しております。

OB会としては、向殿名誉会長、阿部・前会長、竹越・現会長をはじめ、多くの卒業生が応援を続けてくださっております。また、若いOBも現役への指導や大会での楽器運搬やら裏方やら協力をしてくれております。

共学化して、他の学校のように男子生徒班員が減少してしまうのか？ 中学校と高校

を分けて活動することになるのか？

「いもや」「まんてん」「ベス」等が無くて、腹は空かないか？ その答えは今分かります。ただ、今も昔も変わらぬ、気持ちのこもった、そして観客・関係者全てに感動とエネルギーを与える演奏活動を続けていってほしい。それがOBみんなの願いです。100周年（私は87歳）も、その先も見守り続けます。

さて、今年も懇親会での校歌・応援歌の演奏をさせて頂きます。新しい校舎で先輩方とお会いできることを楽しみにしております。また、明年1月28日の50回記念演奏会にも是非ご来場ください。

更なる音楽の追求に期待を込めて

新生 マンドリン部

昭和56年卒明翔会 竹田 錠一

我が母校が、2008年度4月より調布に移転しましたが、当時、神田駿河台の男坂を毎日駆け下りた光景が懐かしく思い出されます。

この度、学校改革の取り組みの中で最も環境の変化に対応して行かなければならない方針が、男女共学への移行であり、男女共同参画時代が企業のみならず、学校教育にも重要なコンセプトとして結論に至ったものと認識し、理解をしていかなければならないと、感じております。クラブ

活動でも、小生が所属していた、マンドリン部で今後は女子の入部にあたり、大きな期待と夢を膨らませているのは、OBの皆さんではないでしょうか。

本校のマンドリン部は、ご存知のとおり、創部五十四年の伝統を誇り、マンドリンのオリジナル曲を中心とした高度な音楽演奏は、国内でも最高レベルと評価されております。

中でも全国ギター・マンドリンフェスティバルにおける数々の受賞が、その位置を不動なものとしていると思います。

小生が所属していた時代も

部員が少ない中で、如何にして音楽を表現していくかを常に追求していたような気がします。例えば、トレモロの回数全員揃える事による、繊

細な表現の演出、他校では真似の出来ないような、超技巧が各パートに盛り込まれた選曲による、テクニクの披露、愛情のこもった統一された手工楽器(手づくり)を活用し

た、音色・音量・音質の高度化などなどを意識して日夜、練習や合宿に励んでいた事を思い出します。

更に、演奏会は勿論、普段の練習においても、調律に関しては、短時間で多数の楽器を調整していく訓練を身につ

け、少数のハンデをカバーする努力を惜しまなかったと自負しています。

現在でも、部員数が伸び悩んでいるようですが、是非とも、女子入部の機会に際し、多数のマンドリン部希望者を増幅出来れば、新生マンドリン部の未来が楽しみになるでしょう。

在校生の皆さん、これからは、男女の感性を生かし、今までにない、更なる音楽の追求にチャレンジし、OBで音楽監督の久保田孝先生のご指導の下、楽しい音楽クラブとなるよう、OBよりエールをおくります。

頑張れ、マンドリン部

明治高校野球部へ

昭和56年卒 明翔会 野田 宏幸

西東京での初陣を歓迎する
 かなのような明大中野との試合
 を間近に、快勝を期待しながら
 書かせていただいています。
 諸先輩方はじめ多くのOB
 を差し置いてこのような寄稿
 をさせていただきますことを
 僭越と大変恐縮しております。
 私は今も高校野球に携わら
 せていただいています。高校
 の動機・夢はすべて明高野球
 部での3年間で育んでくれた
 ものだと思っています。高校
 から入った私には3時に6限
 が終わり、3時5分の快速に
 乗るという神業や新宿駅での

猛ダッシュ、つつじヶ丘から
 の遠征バックを担いでのラン
 ニングや第一での無限ランニ
 ングなど全てが人生最大の試
 練でした。

3年間を振り返り、決して
 強いとは言えない戦績でした
 が、初めてユニフォームを着
 させていただいたときに右胸
 に感じた「M」の存在感、技
 術以前、以上に大切だった
 「MEIJI」野球の基本理
 念は職業観を生んでくれただ
 けではなく、今でも生きる上
 での指針・自信となっています。
 このような事が学べたのも
 出会えた恩師・先輩・同期・
 後輩すべての方のお陰ですが、

またそれは明高野球部が崇高
 な教育の場であり、その伝統・
 理念が人生訓として存在して
 いるということだと思っています。
 真に「高校野球部のあ
 るべき姿」であり、これから
 も守り伝えていかなければな
 らないものではないでしょう
 か。確かに甲子園で響く「白
 雲なびく」は想像しただけで
 身震いがしますが、現役の後
 輩が明高野球部での3年間で
 確かな自信と誇りを胸に巣立
 つことを最優先に願っていま
 す。

卒業後の20年以上私は「対
 峙するベンチ」から明高野球
 部を見てきたという特異な経
 験をもっています。明高はこ

の5年ほど急激に力をつけ、
 明治を強く感じる良いチーム
 になっていると確信していま
 す。加えて最高の練習環境が
 整えられ益々優秀な生徒が入
 学してくるでしょう。「努力
 できるという資質」をもった
 生徒が「明治を愛したとき」
 甲子園出場が確実なものとな
 るような予感がしています。

我が弱小チームも明高と同
 じ7月11日に初戦を迎えます。
 そして秋の大会、同じブロッ
 クになって明高に挑戦できる
 ことを願って夏休みを精進し
 たいと思います。私は今後も
 そんな係わりで明高野球部を
 微力ながら応援し続けたいと
 思います。

共学となるバレー部の後輩達へ

昭和56年卒明翔会 藤田 建一

明中に入学したのは、今から34年も前になる。当時、オリンピックで金メダルが期待され、人気のあったスポーツはバレーボールで、「ミュンヘンへの道」「サインはV」「アタックNo.1」などテレビドラマやアニメが放送されるほどだった。入学後、当時実施されていた必修クラブで、私は迷わずバレーボールを選択し、その流れで放課後の部活動もバレー部に入部した。そのことが、その後の私の人生に大きな影響を与えることになるとは思ってもよらなかった。

た。もちろんその時はまだ、顧問の先生がどなたであるか、知るよしもなかった。

今もそうかもしれないが、その頃の部活において中学生は高校のおまけのような扱いで、3年間は玉拾いと声出し、あとは高校生と同じメニューでトレーニングをさせられ、技術の向上と言うよりも精神鍛錬に重点が置かれていた。一番つらかったのは、中2の夏休みだった。中3と中1が部員ゼロ、おまけに同期は私を含めた2名を残し休部。結局、中学生はその2人だけで南志賀学寮での夏合宿に参加することとなった。食事当番（OBにおかわりと言われた

だけで脱衣所で正座）、風呂当番（先生やOBの背中を流すサンスケ）、その他掃除やオーブンコートの整備など雑用すべてを2人でやらなければならなかった。今どきの大学の体育会よりもきつかったと思う。合宿の最後にコートで中央で校歌を歌った時、自然と涙があふれていたことを思い出す。

現在、私は横浜の私立高校で体育教師をしている。（明大出身の体育教師は私ぐらいではないだろうか）もちろん部活動はバレーボール部の顧問をしている。今の私の礎となるものは、多感な青春時代を過ごした明中・明高バレー

部であり、中でもやはり、恩師松枝先生の存在が大きい。現役時代、先生からは色々な言葉をいただいた。先生がご健在であれば、共学になった部員達に対し、昔と同じようにこんな言葉をかけるかもしれない。「貴様ら！ 小さくまとまるな！ もっと広い視野を持たなければダメだ！ 若い時分に心と身体にたくさん汗をかけ！ まったく、女の腐ったようなやつはどうにもならん！ 女以下だからな！」私の勤務する学校も5年前に共学となったが、男子生徒の数は減り、必然的に男子の部活動加入者数は減少傾向にある。また、体育館などの施

設も女子の部活に譲ったりと、男子の部活にとっては以前と比べて厳しい環境となっていました。同じことが今後、明高でも予想される。しかし、バレー部は、ここ数年、山中先生の理論的な指導のもと、めきめきと力をつけてきている。3年前、そして本年度の関東大会に出場を果たした。これは私が現役の頃に東京都のベスト16に入ってから以来の快挙である。共学になり、女子に押されて、男子生徒が弱体化しないよう、今後も後輩達の活躍を期待したい。

2年前、関東私学大会において母校との対戦が実現した。次は是非、明高男子バレー部



と夢の全国大会の舞台で顔を合わせる事ができればと願っている。

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

ティープロ算数

TEACHING PRO

代表 香取 輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町 2-15 第一富士ビル6F

TEL 03-3263-0667 FAX 03-3263-0668 <http://www.tpro.co.jp/>

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

C.E.O 横山茂樹 (昭和52年卒 男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210

TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630

<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

みんなが、参加して創る、地域活性化のための町づくりを目指して頑張っています。ネーチャーズフォーレストの名前の由来は、人々の心を癒す森をイメージして名付けられました。

女子柔道部創設おめでとう

昭和56年卒明翔会 加々美 博

明大明治が調布に移転してしまうというだけでも、我々、男坂を毎日通学していた卒業生にとってはニュースだったのに、共学だって。その上、女子運動部がいくつか創設される。

きっと今まで男子校で屈強な？男共しか相手にしてこなかった男共は、きっと新しく入学してきた才媛たちを前にどう対応していいのかわからなくて困っちゃうんだろうな、なんて余計なことを心配したり、「俺なんか柔道一筋だっ

たから神女（かんじょ）の女の子たちからも相手にされず、灰色の青春時代だったもんなあ」などと少々やきもちを焼いちゃったりもする。

古来、「男子厨房に入るべからず」とか、「親が死んだときには涙してよし」とか、「男の子には男らしく育つべし」との格言などなど、その数は知れない。もちろん、女の子も「かくあるべし」という古言も多い。「ひょっとしたら、元来、男の子は男らしく女の子は女の子らしく生まれ、成長して来る過程の中で男らしさ、女らしさを身に付けてくるのではないかしらん。」

とバカな事を現代社会に照らして真面目に考えたりもする。

今の「田村でも金、谷でも金。」の柔ちゃんの前に女子柔道では、山口香（たぶん全日本女子の監督）という注目を集めた選手がいた。きりりと引き締まった表情で切れ味抜群の技をかけ、一本勝ちできるタイプの柔道だったように思う。きっとこの選手が時々テレビで取り上げられる頃から女子柔道が世の注目を集めるようになり、たくさんさんの選手を後に送り出す礎を作ったんだろうなあと思う。

私事ではあるが、アルバイトで今の女子高生を使ってい

ると格闘技をテレビでよく見るようで、「あいつはカッコイイ」とか「ヒョードルなんてイチコロ」などといったってけっこう熱く語っている。格闘技が痛くて、辛くて、熱くて、寒くて、時々臭かった我々には「どんだけー」って感じなんだけど、それでも彼女たちは闘う男、そして女にもあこがれるのだそうだ。闘争本能は、男だけが持っているものではないらしい。

まあ今の女の子達がどんな考えで格闘技に進出してきたのかはともかく、スポーツとして普及しルールの上で体力気力をぶつけ合うのはきっと、

人生の上で役立つときがあるだろうなあと思う。昨今、「誰でもいいから殺したかった。」などと実に身勝手な不愉快な事件が多すぎる。身をもって水の冷たさや、冬の夜明け前の寒さを知ったり、運動で辛さや痛さを乗り越えてきた人間には絶対起こす事のできない事件だ。

柔道だけでなく、いろいろな部活動、学事活動を通して思いやりのある人間を多数育ててほしいと思う。諸先輩の前に恐縮だが、この歳になって「明大明治を出て本当に良かった。」と思う機会が多くなっている。



柔道場

男の子も女の子も頑張れ！
明治

おいどん

地どり・釜めし・鍋

おいどん

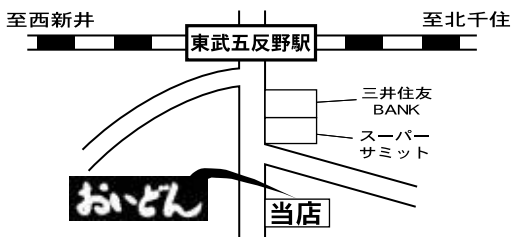
加々美 博

〒120-0011

東京都足立区中央本町2-24-18

TEL 03-6657-1561

FAX 03-6657-1562



昭和39年卒業（マンドリン部OB）

明治大学 特別招聘 教授

ユアサ商事株式会社 最高顧問

フランフラン (株式会社バルス) 社外監査役

谷 公認会計士事務所 代表

谷 慈 義

(事務所)〒135-0004 東京都江東区森下2-19-8 谷ビル

TEL 03-3631-8029(代) FAX 03-3631-8076

E-mail:s.tani@chive.ocn.ne.jp

株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁

(昭和39年卒)

本社 東京都大田区西糀谷 4-28-14

TEL 03-3742-7177

FAX 03-5705-8097

E-mail:jinsato@cityhousing.co.jp

糀谷本店・蒲田東口店・大森店・大井町店・雪が谷店

建物の新築・リフォーム・耐震診断

ワイシー企画 株式会社

代表取締役 藁 谷 豊

(昭和44年卒)

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡 263-1

TEL 042-990-5111 FAX 042-990-5005

E-mail: yc-kikaku@ba.wakwak.com

URL <http://www.yc.jp.com/>

ワンちゃんも 食の安全
おいしいオーガニックフード

wenaewe
ニチドウウェナー



総明会の皆様へは会員価格で！
お申し込み
TEL 03-3694-1725 増田宛
37年卒 吉田信行 38年卒 増田利明

① 三大特長
NON-CHEMICAL
化学物質不使用

② NON-GMO
遺伝子組み換え原料不使用

③ NON-BSE
ウルグアイ生肉使用

 **ニチドウ**
株式会社
東京都葛飾区西新小岩4丁目37番9号
<http://www.jpnd.com>



Welcome to Chofu



調布市長インタビュー

昭和56年卒 明翔会 衛藤 雅一

調布市で不発弾処理が行われた直後の5月22日、お忙しい公務の中、貴重なお時間を割いていただき、明治中学・高校の移転先である調布市の長友市長へのインタビューが実現しました。長友市長から調布の紹介や明治中学・高校への期待等をお聞かせいただきました。

Q1 調布市の紹介をお願いします。

A1 調布市は東京都のほぼ中央部に位置し、古くから五街道のひとつである甲州街道

の宿場町として栄え、昭和30年4月に調布町と神代町が合併して誕生いたしました。調布という名称は昔の税金である租庸調の調（その土地の特産物を納める）で布を納めていたことに由来しているとい

われています。新宿駅から特急で15分と、都心に近接し利便性が高いという立地条件のもと、武蔵野の面影を残す深大寺周辺や多摩川などの豊かな自然が調和したベッドタウンとして発展してまいりました。平成20年5月1日現在の人口は、約21万7千人です。北部には、深大寺そばで有名な古刹「深大寺」や都内最

大の植物公園「神代植物公園」があり、公園の散策、寺のお参り、そばの昼食の3点セットは定番となっております。

南部には、市民の憩いの場である多摩川が流れ、毎年夏に約1万発が打ち上げられる調布市花火大会は関東でも屈指の規模で、多くのご来場者のもと盛大に開催されております。

東部には、表参道ヒルズや副都心線渋谷駅の設計等で知られる世界的な建築家安藤忠雄氏が設計した建物が道路沿いに連なっている通称「安藤ストリート」がございます。

今や時の人である安藤先生の

作品がこれほどまでに集積した場所は他に類がなく、話題のスポットとなっております。

その建物のひとつに保育園と劇場の複合施設である市の公共施設があり、この4月から本格的にオープンした「せんがわ劇場」は、新たな市民への文化発信地として大いに期待しているところでです。

また、調布はかつて「東洋のハリウッド」と呼ばれ、日本の映画制作の中心的役割を担っており、現在も大手撮影所を始めとする数十の映像関連企業が存在し、映像文化の一大集積地と言えます。市では、毎年3月に古今東西の名

作を上映する「調布映画祭」や次代の映画人を養成するための「高校生フィルムコンテスト」などを開催しています。是非、明治高校の生徒にもこのコンテストにご参加いただきたいと思います。

現在、調布市における目玉事業としては、東京都、京王電鉄、そして、調布市の三者が共同して取り組んでいる京王線立体交差事業があります。この事業では、京王線約3.7kmの地下化により18箇所の踏切が除却され、交通の円滑化とともに、分断されている市街地の一体化による都市の活性化が図られます。

Q 2 明治高校の周辺地域の紹介をお願いします。

A 2 明治高校がある西部地区には、調布飛行場と味の素スタジアムがあります。戦時中旧日本陸軍が使用していた調布飛行場は平成4年、国から東京都に管理が引き継がれ、平成13年には場外離着陸場から正式飛行場となりました。新島、大島、神津島との間をコミュニティ航空で結ぶ離島航空路線の空港として極めて重要な役割を果たしているほか、防災、医療、消防など緊急活動にも使用されており、地域航空の拠点としても大きな使命を担っています。

味の素スタジアムはサッカー

J1リーグ「FC東京」と「東京ヴェルディ」のホームスタジアムとして有名ですが、その他にもコンサートやフリーマーケットなど様々なイベントが一年を通じて開催されています。また、平成25年開催の東京国体では、開・閉会式のメイン会場、そして、陸上競技、サッカーの会場になることも決定しています。それに伴い、スタジアム西側の都営有地には、国体で使用する様々なスポーツ施設の建設を現在検討しています。また、スタジアムの東側の国有地には、市で硬式野球場、テニスコー

ト、多目的広場を配置し、災害時には避難所として活用で

きるよう「防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園」を設置する予定です。さらに、現在、スタジアムの北側地区周辺には調布市をはじめ三鷹市、府中市の野球場やサッカーグラウンドが存在し、将来、神宮外苑や代々木公園のような市内でもスポーツ施設が集積する一大拠点となることが期待されております。

Q 3 これまでの調布市と明治（大学）とのかかわりについてお聞かせ下さい。

A 3 現在は、府中に移転されておりますが、それまで調

布市のつづけヶ丘に明治大学野球部の島岡グラウンドがありました。全日本野球の星野監督、ヤクルトスワローズ高田監督、中日ドラゴンズの川上投手など、東京六大学野球を大いに盛り上げ、日本を代表する野球人をこの地より数多く輩出したことは、調布市にとりまして大変名誉なことです。この名門明大野球部が地域貢献のためにとひと肌脱いでくださり、平成10年から秋季リーグを控えた大事な時期に市内公立中学校の野球部員を集め、中学生野球大会を実施していただいております。この大会では、OBや選手に

よる技術指導のほか、試合の審判や大会運営のすべてを明大野球部のみなさんに担っていただいております。しかも、うれしいことに、優勝校には明治大学総長杯が授与されるという総長のお墨付きをいただいた名誉ある大会であります。府中に移転された現在も、調布市内の球児のために事業継続をいただいております、大変ありがたい思っております。この明大野球部の地域貢献が元となり、平成16年2月に明治大学と調布市では相互友好協力協定を締結いたしました。また、野球部のみならず、明治高校の南側に合宿所がある

卓球部やテニス部にも定期的に施設を開放していただき、地域住民に技術指導等を行っていただいております。

さらに、明治大学OB会である校友会調布地域支部におかれましては、毎年12月に開催しております福祉まつりのバザーに多数出品され、市の福祉活動のために多大なるご寄付をいただいております。また、2年に一度古賀メロディーで有名な明大マンドリン倶楽部の定期演奏会が市内で開催され、多くの市民に芸術文化に触れる機会を与えていただいております。

Q 4 今までの明治高校につ

いて、どのような印象をお持ちですか。

A 4 明治大学の直系の付属校として、神田駿河台の地で伝統と格式を備えた学校という好印象を持っています。

今回の移転に伴い共学化され、学校としての新たな魅力が加わり、更にイメージアップされたことを感じております。

Q 5 新校舎をご覧になった感想をお聞かせ下さい。

A 5 とにかく想像以上のすばらしさで驚きました。まず、全体の規模、建物内の空間の広さ、体育館、特別教室等すべてに圧倒されました。特に

全校生徒がワンフロアに集うことができる講堂については、調布市でもこれほどの広さのホールはありませんので、感服いたしました。今回の移転に対する貴校の熱意を施設の面からも強く感じた次第です。

Q 6 移転した明治高校について期待することは何でしょうか。

A 6 これまでの伝統をもとに、さらなる飛躍を目指し、文武両道で良い生徒を育てただければと思います。

生徒の皆さんには調布市に親しみを持っていただきたく、市内で開催される数々のイベントやボランティア活動に積

極的にかかわっていただければと思います。今回の移転に對して、地元の西調布では町を挙げて歓迎していると同時に、貴校とのふれあいに大きく期待をふくらませております。

また、明治高校・中学は調布のみならず近隣の自治体からも好感をもたれており、移転に對して多摩地区全体として大きな関心を寄せているところですよ。

Q 7 最後に明治高校同窓会会員へ調布について知ってもらいたいことやお話になりた

A 7 調布市は都心から近い

わりには、武蔵野の面影を残す豊かな緑や多摩川を始めとする水辺など、自然環境に恵まれています。会員の皆様にも、是非母校の移転先に足をお運びいただき、調布の町に触れていただきたいと存じます。今後更に京王線連続立体交差事業などにより変貌を遂げてまいります。会員の皆様にも折に触れて調布市のことをお知らせさせていただきたいと思っております。

今回の移転により、明治高校・中学におかれましては、これまで築かれた伝統の上に新たな歴史を調布で刻まれることとなりますが、「調布の

明治」から始まり、将来的には「明治の調布」になっていただきたいと思ひます。

以上

1時間という限られた時間の中ではありましたが、今まであまり知る事が無かった調布市について理解を深める事ができました。それだけではなく、長らく慣れ親しんできた駿河台の地を離れ移りきた調布市、特に新校地周辺の将来に期待を持つ事ができました。そして何年か先に発展を遂げた調布市とそこに根付いた明治中学・高校を見ることが楽しみに思えてきました。

長友市長がおっしゃられた



「調布の明治」から始まり
「明治の調布」という言葉は
第2のあらたな幕開けを切っ
た明治中学・高校への大変心
温まるお言葉だと思います。
そして我々卒業生もこの言葉
を受け止めその実現に少しで
も協力していかなければなら
ないと思いました。

調布市長プロフィール

氏名 長友 貴樹

生年月日

昭和27年11月23日

《略歴》

昭和51年3月

慶應義塾大学法学部政治学科卒業

昭和51年4月

日本貿易振興会(JETRO)就職

平成14年4月

日本貿易振興会(JETRO)退職

【その間、通算9年間にわた
りフランス及びベルギーに留
学、勤務で滞在。】

平成3年9月～平成6年3月

中央大学非常勤講師

(国際関係論)

平成14年7月

調布市長就任

平成18年7月

調布市長(2期目)

明翔会

齊木麻州男

狩野 智雄

衛藤 雅一



調布市長とともに (明翔会メンバー)

明治高等学校・中学校
学生レストラン
「レストラン・
ピガール」

株式会社 レストラン・ピガール
明大1号店・浜松町店

統括支配人 山口 剛 志

〒182-0033 調布市富士見町4-23-25

明治大学付属明治高等学校・中学校
TEL・FAX 042-480-9703

〒105-0022 港区海岸1-7-8 都立産業貿易センター内
TEL 03-3438-0333 FAX 03-3432-0995
URL <http://www.pygargue.co.jp>

学内及びご指定の
場所に各種ご宴会・
ご会合のケータリング
ご予約承ります。

学校周辺紹介

昭和56年卒明翔会 小島 昌夫

ついに調布校舎が始動しました。新天地調布、そこはどんな場所なのか？また、そこでの学生の生態はいかなるものか？そんな思いを胸に調布校舎近隣の調査を行いましたのでご報告申し上げます。

まず、通学に使用される駅は全部で3駅。三鷹、調布、飛田給です。ところで飛田給という風変わりな名称はなんでしょう？荘園制度が盛んであった頃、この地は「飛田某（とびたなにがし）」という荘園領主から給された「給田地」であったという地名から、「飛田給」と名づけられる。

また別の伝承では武蔵国の悲田院の給田地であった事から、悲田給（ひでんきゅう）という地名になり、それが転じて飛田給となり、さらに読み方が現在の「とびたきゅう」となったという説がある。近隣に調布飛行場があるから、田んぼの上を飛んで種を配給するというようなことではないらしい。現在は明治高校への通学バスの通り道にあり、駅から数100mの場所に主にJリーグ・FC東京、東京ヴェルディの公式戦に使用される味の素スタジアムがあるために、「味の素スタジアム前」という副駅名がついている。

なにしろこの3駅からのスクールバスを利用しての通学が原則ということになってい

る。これは校則である生徒手帳記載の生徒心得にしっかりと記載されている。非常に近い場所に住んでいる生徒は学校が許可してくれたら自転車、徒歩が許されるという状況である。ただし、生徒からの情報によると調布駅より南側、つまり線路を横断して通学してこなければいけない地区の生徒は許可が出にくいらしい。それゆえ、線路を越えてすぐの場所に生活をしている生徒でもスクールバスを利用するのが前提であるとのことである。なにやら温室育ちがにおってくるようである。

スクールバス、その内部は写真①確認のこと。

三鷹から約25分、調布から15分、飛田給から10分の所要



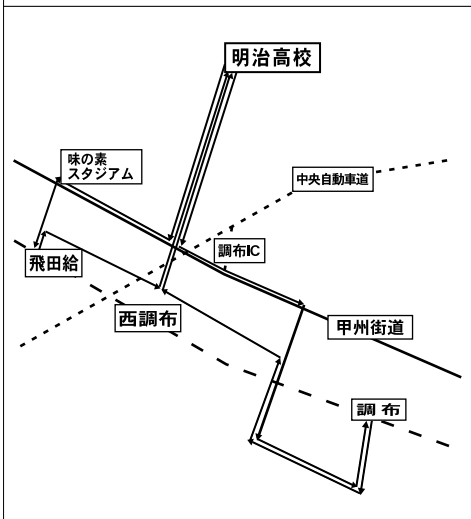
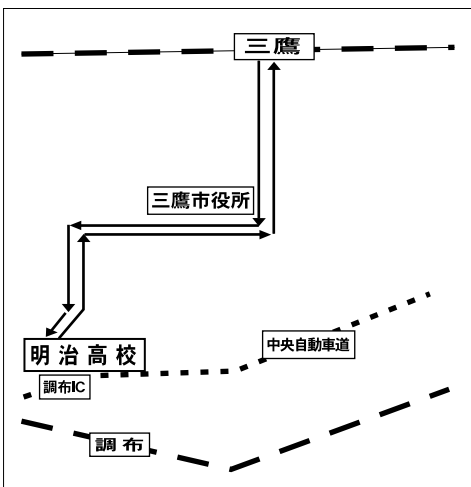
「写真①」



時間。残念ながら試乗は不可能であった。コース概略地図②を添付するので乗っている状況を想像していただきたい。

しかし、このスクールバスは校則で規定されている強制交通機関であるが、月の乗車料金が1人5000円とのこと

である。1回100円、往復で200円、これが約25日間として5000円という結果になるのだろうか。家庭の危機！



「地図②」

なみに生徒のみの利用で教職員は利用不可とのことである。朝の通勤通学により車や一般バスが駅に集中して、混雑することもスクールバスの運行は考慮しているようで、調布駅～校舎間は7・30まで、飛田給駅～校舎は7・30からの運行となっている。飛田給駅は京王線の各駅停車しか止まらないために幾分か渋滞が緩和されるらしい。確かに、平日の13・00頃、調布駅に降り立ったが、一般の京王バス、タクシー、自家用車がにぎわっていた。13・00でこれだから、朝は渋滞になるのは容易に想像がつく。ちなみに、現在、同級生で明治高校の教師をしているA先生は朝のラッシュ時には歩くことがあるそうです。

約20～30分で到着とのこと。まあ、メタボリック対策としても有効と思うので、がんばっていただきたい。

スクールバス通学は全く経験がないのでわからないが、スクールバスに乗り遅れたら遅刻であろう。その生徒はどのように登校するであろうか？それとも、その場合は登校をあきらめてフケル？（フケルの漢字はあるの？）

しかし、大都会のど真ん中にあった明治高校が調布に移動することにより、通勤通学での泣き笑いも発生していることだろう。ちょっと調査した結果では一番遠くからの通学は千葉県佐倉市からのことである。千葉県佐倉市といえば、たま〜にゴルフに行

く場所であるからビックリこのうえない。「駅すばあと」で調査すると、佐倉～調布間の所要時間は1時間43分、経路は佐倉からJR総武本線で千葉に出て、千葉から総武線快速で東京、東京から新宿に出て最後に京王線で調布着という結果である。家は駅前ということはないだろうから、なんだかんだと、約2時間の通学時間。往復で4時間となる。ちなみに、調布駅に7…30着で検索すると佐倉駅の出発は5…36となった。まだ、未経験の冬の時期はさぞ、辛からう。

教職員の中では筑波からの通勤が一番遠いらしい。しかし、距離は結構あると思うが、つくばエクスプレスが開通し

ているので所要時間は1時間33分である。教職員の交通費は支給されるから問題にはならないが、生徒の通学費は親持ちである。さきほどの佐倉～調布間の片道運賃は1340円である。通学割引定期の金額までは調査不可能であるが通勤定期とすると6ヶ月定期で206820円となっている。これにスクールバス代が加算されるので家庭のやりくりは大変であろう。がんばれ親親！明日の日本を背負って立つ人間をつくるのだ！校舎にたどり着くまでは、スクールバスなどを学校側で準備しているのは、なんとも甘っちょろい精神軟弱な学生を養育するつもりなのか？と思っていたが、校舎の近隣は閑静な住

宅街である。この住宅街を中学、高校生がワイワイ、ガヤガヤ騒ぎながら徒歩通学をしたら、きっと何人ものカミナリ親父、ヒステリック婆さんが生垣から顔を出し、生徒とのバトルが繰り広げられることであろう。きっと、それを想定しての事前対策として学校側が思案に思案を重ねた結果であろうことが理解できた。（ちなみに私1人の考えであるので詳細は不明である）

駅の利用状況は調布、飛田給利用が生徒の80%ぐらいをしめており、三鷹利用は20%ぐらいのことである。校舎から地図上では西調布駅が一番近いが、徒歩通学ではないため、また聞こえの問題も幾分あり、明治高校の最寄駅は、

という問いかけには調布駅というのが正解であり、そのようにアピールする方針であるらしい。

このような通学状況のため学生の動き調査では駅周辺のみの話題しか出ない。ちょっと調布駅周辺を確認すると、北口には西友、パルコがあり、にぎやかである。パルコ前には、たこ焼きの他、なにがし焼きというものが固定店で販売されており、これは買い食いの場所。本屋も一件あり。しかし、通常の町中の本屋レベルのために、御茶ノ水界限の専門書に近いものは販売されておらず、ちよとさびしい。また、授業の終了後に通った駿台予備校の代わりになるような塾は日能研 調布校、

明光義塾 調布教室、栄光ゼミナール 調布校など数箇所あり、学校の勉強には物足りない、私のような学生生活を送っている生徒には心強い場所ではある。

調布駅北口のうまいもの屋も一軒発見したので、報告しておく。校舎から調布駅に向かい、京王バスのパルコ前のバス停で下車すると目の前にある「名代 宇奈とと」である。ここは鰻屋で格安であった。学校調査が済んだあとの4時ぐらいに入ったが、うなぎ1匹の4分の1を串に刺して焼いたもの、中生ビール1杯で600円。味はなかなかいいけた。うな丼、白焼きもあり、安くて品揃え豊富、メニューの一部の写真を撮ったので参



「写真③」

考までに添付しておく③。初めて入った店であったが、味と安さに感動し、明治高校の同窓会誌に店の内容を掲載してよいかと一応了解を得た。そのときに店主は明治高校の存在を知らなかった。これもまたビックリ！やはりスクールバスの影響によるものなのか！店主に1万円支払って、同窓会誌に広告を掲載しないかと話しを持ちかけたが、

軽くあしらわれてしまった。これが短時間であったが、調布駅の北口界限の情報である。スクールバスの発着は調布駅の南口になる。北口から南口に移るには写真④の狭く、天井の低い通路を通らなければ



「写真④」

ばならない。そこを通過すると、明治高校へのお礼のためか、現在、南口の改修工事中。その工事を横目に直進すると、明治高校のスクールバスの発着場所が確認できる。こちらの南口のほうが、幾分人数が減ったというか・・・人の動きがゆるやかである。このロータリーの左手にゲーセンがあり、ちょっとしたぞいて見ると数人の高校生が奇声を発しながら遊んでいるのを確認（明治高校生ではないことを祈るが・・・）かわいい女子高生もおり先々遊べる場所かな？と思うが、生徒心得には寄り道しないことが明記されており、スクールバスの発着場所の前でいかなものか。

南口ロータリーを抜け直進



「写真⑤」

すると、明治高校生のうわさに上がっている「みやこ焼き屋」を発見。これは、一般的に言えば今川焼きに近いもので、餡子の代わりにカスタードを入れたり、多種多様であるらしい。残念ながら調布駅を調査した時はシャッターが降りており現物を食することはできなかった。一応、店の写真があったので添付する⑤。

調布駅南口ではうわさになっていいる店はまだまだ少なく、今後の学生の努力が必要ではないかと痛感した。このように調布駅をブラブラしていたところ、スクールバスが私を追い抜き、駅に到着。そろそろ降り立つ生徒たち、その中について初明治高校女子学生を発見！制服は清楚で気品のある感じでよい印象。生徒心得を確認すると、「女子の制服のスカート丈はひざ頭にかかるものとする。染色、脱色、特殊カット、ヘアピース等は認めない。肩より長い髪の子は髪留め（ヘアゴム等黒や紺の無地で地味なもの）でまとめる。」とある。確かに、みんな恐ろしいくらい遵守している。短いスカートは

誰も発見できず、寂しいかぎりである。男子は、初めて知ったが、制帽がなくなっていた。今回の調布移転の前に制帽がなくなったらしいのだが、これもまた寂しい・・・卒業式に制帽を投げる快感はいずれへ。

飛田給駅には降り立たなかったが、生徒のうわさでは大勝軒のラーメンが評判。特につけ麺がいけるとの事。確かに帰宅後にネットで確認すると、飛田給の大勝軒という表現がされているほどであった。次回の訪れたときに楽しみとしておこう。

株式会社 サンリツ

SANRITZ

CORPORATION

営業品目 液晶ディスプレイ用プラスチック偏光板、通信機器周辺製品

代表取締役社長 三 上 嗣 治（昭和48年卒）

執行役員 島 野 竹 夫（昭和50年卒）

〒176-0094 東京都板橋区成増1-30-13

TEL 03-3930-1101

FAX 03-3930-1167

URL <http://www.sanritz-corp.co.jp> E-mail sohmu@sanritz-corp.co.jp

祝 第44回総明会総会



IT Accountants Union

IAU税理士法人 税理士 岩田 俊一

〒113-0034 東京都文京区湯島4丁目6番地11号

湯島ハイタウンA棟502号

TEL 03-3815-1272 (代) FAX 03-3815-1404

建築資材総合商社



株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 大森清貴（長男 硬式野球部3年）

本 社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番地

TEL 03-3253-9411 FAX 03-3253-9418

営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号

TEL 03-5534-7700 FAX 03-5534-7708

中華ファミリーレストラン



細田店 葛飾区細田1-15-6
Tel. (03) 3650-0059

葛飾区議会議員

新村秀男（昭和42年卒）



同期会 クラブOB会 活動報告



昭八会

昭和8年卒昭八会 市川 康夫

私達は昭和8年に旧制明治中学を卒業しましたが、その後75年の歲月も過ぎ、同級生の生存者の数もめっきり少なくなりそれに92、3才ともなれば身体の故障者も多く、お互いに会う機会もほとんどなくなっています。特に永年同期会の幹事をしていた総明会評議員の宗像健一郎君が数年前体調をくずされて以来、会合を持ったことはありません。その後一度だけ同期の有志が浅草のホテルで会食したことがありましたが、そのメンバーは新井正美、林茂樹、藤田一丸君と私の4名だけのさびしいものでした。宗像幹

事健在のころは、少なくとも年1回は同期会を開き、時には一泊旅行を楽しんだこともありました。特に宗像幹事は永年青梅地区の学校で教職についておられ、青梅市に住んでおられた関係で奥多摩の御岳神社宿坊、氷川・岩蔵の温泉など一泊で懇談したものでした。その宗像君も本年1月他界されましたので、私はご自宅を弔問しお花をお供えして、ご冥福をお祈りいたしました。

私達は人生の中で心身共に最も成長期である5年間をあのポプラ並木に囲まれた赤レンガの学校に通い、今にして思えば相当古風ではあるが実直で熱心な先生たちの教えを受けて各学科を通じて社会的

な常識の基礎を身につけるとが出来たと思っています。当時は時節柄相当軍事色めいたこともありましたがそれにもかかわらず、質素で和やかな学校の雰囲気は今も懐かしく思い出されるのは私だけでしょうか。

この度学校の調布移転を機に近代的な校舎設備と併せて男女共学など私達には想像もつかないような変化発展をすることは誠に喜ばしく、今後とも益々発展してゆくことを祈っています。これからの卒業生にとっても「心のふるさと」になるような学校であり続けることを願っております。

茅原ベルト株式会社

代表取締役会長

茅原誠也

(昭和三十二年卒)

〒一〇一〇〇五三
千代田区神田美土代町十一一五
TEL 〇三三三二九一七六四一

昭和三三年卒

株式会社 富士産業

藤義商興 有限会社

代表取締役社長

藤田義茂

(株)富士産業文京駐車場

文京区小石川一―二―一四

日本生命小石川ビル

TEL 三八一八―三四五六

藤義商興(有)白山駐車場

TEL 三八一―五四五八

昭和十五年卒 有志旅行会

昭和15年卒 三笠 光人

平成19年9月、新潟・瀬波温泉・ホテル瀬波観光にて懇親会を開催、参加者7名。

ここは、昭和14年秋、修学旅行で訪れた懐かしい温泉場で、あれから六十数年・やや記憶も遠のきましたが、在校当時の思い出話に花が咲き、時の経つのも忘れ盃を酌み交わしました。お互い、80半ばを過ぎた高齢者でもあり、健康管理には十二分に配慮し、来年も元気で再会する事を約して散会しました。

株式会社
横河建築設計事務所

常務取締役 経営管理室長

井出 好亮

(昭和40年卒明優会)

〒153-0064

東京都目黒区下目黒2-20-28

TEL 03-3492-7441 (代)

FAX 03-3490-9545

E-mail: y-ide@yae.co.jp

http://www.yae.co.jp



株式会社

アドバンス

代表取締役

大塚 清和

(昭和40年卒)

千葉県浦安市猫実4-6-28

コーラタワー

TEL 047-355-6633

昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキュー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県橘川市赤堀 2-4

TEL 048-728-0909 FAX 048-728-3909

ホームページアドレス http://www.marukyu.com/

丸マルキュー ECOGREEN Design PRIME AREA

昭和43年卒

齋藤会計事務所

ヨシ アキ

税理士 齋藤昌照

〒231-0023

横浜市中区山下町194 外丸ビル3F

TEL 045-664-4175

FAX 045-664-4177



代表取締役 高田信一

明治高校 昭和34年卒

損害保険・生命保険

株式会社タカダ保険事務所



〒132-0031 江戸川区松島 4-27-13

電話 03-3654-9181 FAX 03-3655-2300

http://www.takadahoken.co.jp tio@takadahoken.co.jp

同期「午巳の会」

昭和21・22年 常任世話人 齊藤 久也

卒業生全員で組織される「総明会」の中でも大戦後の学校制度改革によって昭和21・22年の2年間に亘って学び舎を巢立った唯一の存在。会名の由来は、干支の午歳・巳歳の友で構成されることから、小生の安易な発言が採用され、終生の世話人誕生の因ともなったとか。ある友は、終戦直後の荒廃した大地（ゴミ）から、逞しく生き抜いた自らの姿に映し見て、ときには「午巳の会」と諧謔的に唱えることもあります。

卒業時170名の友は、連絡可

能な51名（20年5月末現在）

に、この数年で減じてしまいました。往年は、懇親や忘年の会、旅行にゴルフと駆け回りましたが、年相応の機能の低下には勝てず懇親会場の固定化を模索。幸いなことに平成15年以来・ホテル・ニューオータニイン東京を確保。懇親会の1月第3か第4土曜日開催、前年11月案内状と余裕ある発送を実現してきました。「予算と決算に乖離なし」「献立の協議」「交通機関至便・ほぼホームと直結の立地」何よりも家族の安心が増して、外出が容易になったとの声もあります。

元青年来たれ！の呼びかけ

で集まり、ほど良いアルコールと楽しい会話で老青年のエンジンが始動。席の移動やグループを巡って歓談。大きな輪になっての二時間余が経過し、やがて散会の流れになります。在学時代の話題は、師

の熱血指導の折々の被害者（？）の対応が肴になって、俺だ・お前だったとの掛け合いで大笑いが続きます。まだ少年期のあどけなさを残しながら、大人への扉を開きかけた勤労動員時代には、同じ職場に配置されてきた女子生徒の振舞いを昨日のように克明に語る友に手拍子喝采が浴びせかけられます。これらの数々の話は毎年、大同小異、同じ語り口

の話題でありながら、新鮮に感じることは誠に魔訶不思議。本年の懇親会は、友の突然の訃報と重なり告別式に代表参列した友と哀悼の祈りが会場でも捧げられました。

また、大戦中の必修科目「軍事教練」終了後の写真の提示で、自らの所在探しに喧々諤々の賑わいでした。後日、手元の一枚を加え全員に配布、同様な反響をうけ、やはり卒業から過ぎた六十有余年の歳月の遥かなることを思い知らされてしまいました。

「母校の移転」「男女共学」と懸案事項が秒読みになって参りました。

☆ 校訓「独立自治」「質実



☆ 剛健
熱唱した新旧校歌の一節
「白雲なびく駿河台」「帝都
の真中駿河台」
今から、校訓・歌詞の変遷
に気を揉んでいる次第です。



と共に開校以来の法度の論が
解かれ男女が席を接して学ぶ。
このことから互いの明るい日々
に触れ、後々の人生に役立つ
ことへの足掛りを得ることに
も力を費やして欲しいもので
す。

最初が肝心・第二の故郷と

なる地「調布」・その地元の
方々の協力を得られる様に心
掛け弛まない積み重ねを、卒
業生の一人と心から期待し、
お願いをさせていただきます。
明中高校生の信条は、(古風
というなかれ)正義・愛・誠
を貫き
わが校の名を高らかに宣
すべき・・・なり
母校と総明会・そして新天地
に幸あれ！

昭和四三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士

竹川忠芳

〒105-0003 港区西新橋一丁目一〇一三
FAX 電話 虎ノ門法曹ビル四〇〇八
三三〇四一三〇〇七

がんばれ明翔会

(有)秀栄

高橋 秀行

男坂倶楽部
校友会足立地域支部

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若松 弘 昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田 2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン 1001 号
TEL 03-3491-0900

明高1期会

昭和24年卒 内藤 功

1943年4月に明治中学に入学した人が大半です。ちょうど3年の時敗戦で、それに伴う学制改革期にぶつかりました。そのため、1949年明中5年卒業の人、1947年明中4年終了進学の人などさまざまですが、みんな一緒に「明高一期会」で仲良くやっています。

入学以来六十五年。卒業以後五十九年。断続的に会を持っています。場所はいつも神田です。2000年6月に再開総会を開き、以後毎年6月

に総会を開いています。ことし(2008年)は6月21日に、如水会館で17人集まりました。今でも約60人の方と連絡が取れています。

栗原圭介先生(漢文)、松本理三郎先生(数学)のおふたりは高齢ですが、いつも元気なお顔を見せていただいております。

この年代は、戦争、空襲、食糧難、生活苦、敗戦、平和憲法など身体で経験しておりそれなりの根性があります。

幹事は、石毛慎一、大西新二、金谷栄一、遠山景忠、内藤功、守田満の六人で、時々神田で幹事会をやっています。

上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿部 正行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6-10-11
TEL. 03-3834-1329

昭和四十四年卒
有限会社 す吾六

家中 勉

〒113-0021
墨田区緑四一九一
電話 03-3632-1321

昭和42年卒

結城法律事務所

辯護士 結城 康郎

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目6番4号
第11森ビル10階
電話 03(3506)1151(代表)
FAX 03(3506)1152
携帯 090(3104)1840
E-mail: yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp
http://www.yuki-law.com

昭和四十四年卒
弁護士
田中 等

丸の内南法律事務所
〒100-0005
千代田区丸の内二一七区
丸の内仲通りビル七二七区
TEL 03-3231-5151
FAX 03-3231-6044

猿楽会と卯木敏夫

昭和26年卒 猿楽会 寺村 武二

猿楽会について何を書くにしても会長・故卯木敏夫君においては話を進められないと思います。私達の学生時代は太平洋戦争が勃発し、そして敗戦を迎えた激動の時でした。「チーター」こと松枝先生が新しく明治中学へ赴任して来た時に「若い学生さんが職員室の掃除をしていたので驚いた」と言うのを聞いたことがあるのですが、その若い生徒がなんと卯木君だったのです。また英語を教えてくださいました。野木晋一郎先生は質問に答えられないと「カバンをまとめ

てお帰りよ」と私などもよく言われましたが、本当にカバンをまとめて帰っていったのは卯木君が初めてだったと思います。少々驚いた様子の野木先生は何を思ったのでしょうか？

そのような学生時代を過ごした我々も無事卒業し、OB会を作ることになりました。その会の名前を決めるときに学校が千代田区の神田猿楽町に在ったこと、そして我々が昭和7年生まれで千支が申（猿）であり猿が楽しむ会にしようということで「猿楽会」の名が決まり初代会長は卯木敏夫君に決まりました。彼は高校時代、硬式野球部のキャッ

チャーであり不屈のプレーヤーでした。ある時彼はキャッチャーフライを追いかけてバックネットを駆け上がり、フライをキャッチするということをあたかも

当たり前のようにプレーしたものです。またこれはゴルフの話ですが一緒に韓国でラウンドした時、彼の第一打が林の中に入ってしまいました。すると彼はグリーン方向を狙わず後方のフェアウェーに向かってショットし、グリーンから約150ヤードのところへボールを出しました。そしてそこから得意のクリークでグリーンを捉えて見事パーを取ったのです。私なら少しでも前方を狙いたいと思うところでは

たから彼のプレーを見て大変驚いたものでした。このプレーを見てから私のゴルフも少々変化があらわれる様になりました。

総明会の中心になった猿楽会ですが、卯木君はクラブOB会を作りたいので私にも水泳部OB会を作るようにと話があり、今の明水会を立ち上げることとなりました。卯木君には何度も助けを借りて、明水会設立記念大会を盛大に行うことが出来ました。猿楽会のほうも20名くらいで毎年一回会合を開いておりましたが、ある時から卯木会長が出席しなくなりました。何か変だとは感じていたのですが、

5年位前の会合に奥様と参加の連絡がありました。当日の集まりで驚いたことは彼が車椅子に乗っていたことです。当日の参加メンバーも全員が哑然として声も出ないようでした。体調が思わしくないことは薄々分かっているつもりでしたが、車椅子の生活にまで進んでいるとは夢にも思いませんでした。

今想うと卯木君は人のための仕事や、人を喜ばせるためのことなどを悠然と振る舞い、多くの人たちのために活躍されたのではないのでしょうか？私もこれまで何度も彼に助けられてきましたが、その彼も今年天国へと旅立っ

祝第44回総明会総会

猿楽会

昭和26年卒

てしまいました。もう彼に会えないと思うと残念でなりませんが、今言いたいことは一つです。「いろいろお疲れ様でした。ゆっくりとお休みください。本当にありがとう」

昭和三十三年卒
米山武男

昭和二十七年卒
米山耕右

寺村梱包株式会社

代表取締役 寺村武二
(昭和26年卒猿楽会 水泳部OB)

取締役 寺村一義
(昭和56年卒明翔会 バススケOB)

〒113-0033
東京都文京区本郷2-19-11
TEL 03 (3813) 6686
FAX 03 (3813) 6689

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒
株式会社
ポトマックガーデン
代表取締役
平田 幸彦

〒107-0052
東京都港区赤坂7-8-13
TEL 03-3589-0687
FAX 03-3583-9423

昭和43年卒
株式会社 ホソヤ

代表取締役

細矢 日出男

〒104-0042
東京都中央区入船2-3-6 第1細矢ビル
TEL 03-3551-0725
FAX 03-3551-0748

同期会便り

昭和30年卒 石田 彰之

我ら同期会は、ここ数年は毎年1回開催をしてまいりました。特にこの3年間は平成18年の古稀祝を契機に前年後年を併せて3回続けて盛大に祝賀会も開催しました。昨年(平成19年)は、10月23日(火)午後6時より如水会館(一ツ橋)にて開会し、ご来賓に明治高校新校長の小林正三郎先生をお招きしご来駕を頂きました。総明会からは副会長吉田耕太郎氏と第43回総明会幹事学年より2名お出向きを頂いた。当日は、総合同会者の田村正彦君が名調子で語られ、

会はスムーズに進行した。宴会に入る前に、さきに「黄泉の国」へと見罷られましたクラスメート達のお名前が滔々と読みあげられ、各人がそれぞれの思いにふけた。乾杯の後は、出席者全員の自己紹介(想い出や近況を語る)があり時間はアツという間に経ってしまった。閉会の間近に、当日はユニフォーム姿の現役応援団員達が馳せ参じてくれて会場は大いに盛り上がりを見せ、そのリードもよろしく校歌の大合唱をもって締め括り終宴となった。その後は同会場にての集合記念撮影があり下記の写真をご覧下さい。



明治高等学校 昭和30年卒

**同窓の友・共に社会奉仕活動をしませんか
駿河台ライオンズクラブが貴君の
入会申し込みを待ってます 連絡は下記へ**

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

元ガバナー 宇田川 雅 弘

(東京練馬L.C所属)

●入会についてのお問い合わせ●

TEL 03-3993-5381

昭和三十年卒業
第六代生徒会長
應援団OB会会長
中央医療学園参与

田村正彦

「いじめ問題」講演

TEL 〇三・三・八一〇〇・八〇〇
〇九〇・一・八〇・八一・一六〇

新校舎移転と共に

昭和31年卒 明楽会会長 佐藤 健一

新校舎移転おめでとうございます。思いもよらぬ移転、しかも男女共学ということことで新たな出発とも思います。

我々、永い間男子校という校風で学んできた思い出の土地、校舎と別れるということで一抔の淋しさが湧いてくるようです。あの狭いコンクリートの校庭での体育祭、男坂でのトレーニングと数え切れない想い出等、今は亡きチーター（故松枝先生） ターザン（故水落先生）の男子校ならではのスパルタ教育に今では懐か

しさがいっぱいです。これも我々の時代では教育の一環と今では思えてなりません。

新校舎の移転と共に新校長先生（小林先生・野球部OB）も私共の一級下の後輩が就任して新たな風を吹き込んでいく事を希望してやみません。

さて我々「明楽会」の名称の発祥は昭和35年に発足、明治を愛し楽しみ猿楽町をかけて名付けました。初代中田眞之助氏（故人）の後を受継ぎこの「明楽会」の灯を消さず、私をはじめ仲間の知恵を借りて一人でも多くの仲間が顔を会わせる機会を作り同期会を催しております。時には私共が

お世話になりましたクラス担任の先生方は、ほとんど亡くなりましたが先生方を偲んで「偲ぶ会」を盛大に行い、又最近では修学旅行を思い出して一泊旅行（箱根）、又卒業後50年を迎え五十周年記念を明中高の移転に伴い生徒会室にて開催、昨年は全員が70歳を迎えてお祝いとして「古希の会」を紫紺館で盛大に催し、毎年行われる同窓会には約50名程の仲間が集い賑やかに開催されています。老後の健康維持目的で年2回のゴルフ大会も行われます。

私も先代故中田眞之助会長の意思に深く感謝して明中高



が調布へ移転しようとも、その灯を消すことなく、この「明楽会」を最後まで消える事なく存続するには仲間の後押しがあつてからこそ続けられるものと思っております。

この記事を読んで同期で未だ出席されていない方々の御参加お待ち申し上げます。最後になりましたが調布に移転致しました明治中高のますますのご発展と新校長先生小林氏の剛腕をご期待すると共に第44回総明会のご盛会を心よりご祈念申し上げます。

総明会の幹事様ほんとうにご苦勞様です。感謝しております。

昭和四十六年卒「明潮会」

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤公義

中央区築地一丁八築地ホワイトビル五〇三
電話 〇三六二二六六二〇〇
FAX 〇三三五四二一八〇七〇〇

帽子製造卸

株式会社 東 栄

代表取締役 土田 饒 (昭和31年卒 明楽会)
専務取締役 土田 正昭 (昭和61年卒)

〒103-0002 中央区日本橋馬喰町1-3-5
TEL 03-3664-0810
FAX 03-3664-0033
E-mail: toei@beachi.ocn.ne.jp

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

塙 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2
03-6667-5800

昭和43年卒「紫讃会」

福光税務会計事務所

税理士 福光 登志雄

〒228-0803 神奈川県相模原市相模大野7-8-10
大塚ビル303
TEL 042-747-2933
FAX 042-747-2935

昭和四十六年卒
(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞壽

電話 〇三五六〇〇一三三八
FAX 〇三三五六〇〇一五〇二三



SENGON
www.kitaadachi-ichiba.jp/sengon.html

東京都中央卸売市場
北足立市場
株式会社 千 権

代表取締役

國井 孝重

〒121-0836
東京都足立区入谷 6-3-1
TEL: 03-3857-7261(代)
FAX: 03-3857-7355・7388
E-mail: sengon10-11@kitaadachi-ichiba.jp

猿楽町校舎でお別れ同期会

昭和36年卒明駿会代表幹事 加藤 眞義

昭和36年3月卒業の「明駿会」です。名付けのいわれは「午年」生れ。駿河台と駿馬をイメージしたわけですが、とうとう還暦を越えました。

同期会は2年おきに開催していますが、今年は猿楽町校舎に別れを告げようということで2月22日に母校の1号館会議室を借りて開催しました。総会の前に午後4時から校舎の見納めということで見学会をしました。シンボルともいふべき男坂階段や各クラブの部室や練習場などを回りな

がら話題は尽きませんでした。我々が学んだときの校舎は3号館しかなく他の校舎は卒業後に改築されたものですが、

そこに立てば青春のまっただなかを過ごした50年前にあったという間に戻り、6年間あるいは3年間（我々は明治高校が高校で生徒募集をした1期目でした）の様々な思い出が走馬灯のように蘇りました。約50名の同期が集まり学校から了解をいただいていた時間ぎりぎりまで、賑やかに想い出や調布に移転して男女共学となる母校の将来を語り合い最後に校歌を歌って散会。質実剛健という校風がどのよう

に変わっていくのか、寂しさと期待が半ばする思いを分かち合ったひとときでした。

また、明駿会ではゴルフ好きが集まって春と秋に明駿ゴルフ会を開催していますが、今春は多数が参加して5月22日に季美の森ゴルフ倶楽部で行いました。最近では明治大学ゴルフ部の黄金時代を築いたときのメンバー達も参加し始め、ここでもわいわいがやがやと楽しい時間を過ごしています。そのほか、山の会・落語会・明校フォーラムのメンバーも、おのおの集まって老春を楽しんでおります。

祝 第44回総明会総会

36年卒 明 駿 会

猿楽町校舎で最後のお別れ授業

昭和38年・二年に一会食 二浦 昭生

さようなら、駿河台。

さようなら、男坂。

半世紀前に明治中学、明治高校で学び、慣れ親しんだ男坂とも別れを告げ、駿河台の地から離れる時がついにやってきました。

ことしの総明会のテーマは「新たな飛翔」とか。校舎が4月から調布へ移転、共学となり、母校が新しく生まれ変わったのです。

そこで、われわれ同期会は、なくなってしまうのかしの猿楽町の校舎で40数年ぶりに昔どおりの授業を体験し、

楽しもう”の呼びかけで、恩師の先生方を迎え、教室で授業をしていただき、その後懇親会で校舎の思い出話を語り合う、というすばらしい企画を立てました。「同期の仲間が減ることはあっても増えることはないのです」昭和38年卒業の同期会・二年に一会・昭和32年明治中学、昭和35年明治高校入学、そして一日でも机を共に過ごした同期たちの会も卒業から45年が経ちました。

会名のとおり、昭和39年に第1回の総会・懇親会を開いてから2年ごとに1回、一度も欠かすことなく開催しています。例年、秋頃に開いてき

ており、平成14年には第20回の記念会、平成16年は60歳を迎えての還暦祝いの会、おとしは硬式野球部で活躍し、ことしから日本ハムのGMの要職についた山田正雄氏のご子息の経営するカジュアルイタリアンレストランで第22回と、毎回50名を超す会員と同伴者、恩師の方々の参加を得て賑やかに開催しております。

そして第23回目のことしは前倒しして、2月23日（土）に特別教室2でグリコこと松本理三郎先生、後藤朋智先生、村野圭吾先生の3名をお招きして、猿楽町校舎での最後のお別れの授業をしていただきました。

渡辺昭宏君の司会進行で二年に一会の総会の後、午後5時から半世紀ぶりに教室の机に腰掛け、授業が始まりました。1時限は松本先生が数学、2時限は後藤先生の化学、そして3時限が村野先生の英語と1科目が約15分と短いもの



でしたが、会員諸兄は昔をなつかしんで「お別れ授業」を楽しんでおりました。
先生方も40数年前と同じように、受付け時に参加者全員が寄せ書きした白衣に身を包み、教壇に立たれました。
教室は約60名の「生徒」で



あふれました。「やけに静かだ」「今日はチョークが飛びませんね」と昔を思い出すシーンが見られました。また、いろいろな質問も飛び出し、先生方は「あの当時、今日みにみなさんが真剣に聞いてくれれば、かえって怖かった



授業終了後、会議室に場を移し、ケータリングによる立



ですよ」とタジタジのようす。まさに時間は半世紀前にタイムスリップ、最高の企画といえるでしょう。

食パーティーでふたたび思い出話に花を咲かせました。
懇親会も佳境にはいったところで出席者全員の記念撮影、そのあと恒例の校歌斉唱、卒業当時の応援団長の太塚武史氏のリードで全員肩を組み、高らかに熱唱。最後の締めは小川洋一氏が「一本締め」で締めくくり、猿楽町校舎と惜別しました。
折りしも、会当日は各地で強風に見舞われ、JRも一時止まるという足場の悪い日でしたが、初めて参加する同期生がいれば、何年ぶりという会員もいました。強風のため授業に遅れた者もいましたが、60名を超す会員諸兄が集まっ



た「母校で授業を楽しもう」
の第23回二年に一会の総会、
懇親会は大成功のうちに終わ
りました。

思い出がいっぱいの母校で
何か記念に残るイベントがで
きないか、とアイデアを出し
あいすばらしい同期会となり
ました。「二年に一会」はこ
れからも会長・三浦昭生、幹
事長・高橋正侑、監事・知野
誠一、事務局長・関戸淳一は
じめ常任幹事が中心となって
2年に1回、同期会を開催し
てまいります。この誌面をお
借りして、同期の仲間たちに
呼びかけたいと思います。

われわれが総明会総会の幹
事学年をお引き受けしてから
19年、第44回総明会総会の成
功を祈念し同期会の報告とい
たします。最後に二年に一会
の連絡先をお知らせします。

〒135-0005

東京都江東区高橋14-20

関戸 淳一

TEL 03-3631-2008

FAX 03-3631-2548

(文責 服部紀夫)

昭和三八年卒同期会

二年に一会

会長 三浦 昭生

昭和37年卒
新麹町法律事務所

弁護士 福島啓充

〒102-0083
千代田区麹町3-7-4秩父屋ビル5階
TEL 3234-0511
FAX 3234-0510

昭和三九年卒

加藤一也税理士事務所

加 藤 一 也

東京都豊島区巢鴨 3-25-8
第2扇屋ビル
電 話 03-3910-8683昭和三十七年卒
柚木法律事務所

弁護士 柚 木 司

〒101-0041
千代田区神田須田町1-31-1河合ビル801
TEL 03-3529-4162
FAX 03-3529-4162

会報委員会事情

昭和43年卒 紫讃会 緒方 奨

「事情」と言っても私が委員会の末席を汚すこととなったここ6、7年のこと。その間私事5回程の心臓やら「男の？」のオペや入院生活で抜けたりして周囲に迷惑を掛け放しであったが何とか今も首が繋がっている。

2002年に富沢現会報委員長が幹事学年であった頃から顔を出させて貰うようになった。当時は会報委員長でもあった佐久間洋一現総明会会長の銀座の事務所まで委員会が開かれていた。小岩や錦糸町で会

議じゃ下手をすると怪しまれるし、「銀座で会議」って何か華やか、それだけで参加したっけ……。会議の始めからか途中からか、やたら缶ビールやおつまみが机上をどどん占領していつて、書類の置き場が無くなり結局CD版になった……。様な。違うか、つまりそんな勢いがあった、という事。

会報の連中には共通するものがある。まず粘りに裏付けされた責任感がある奴が集まる。そして真面目。ちと褒めすぎかな。しかし、出来れば会報委員は避けたい、何と言っても地味で堅苦しくてお祭り騒ぎの蚊帳の外に居るようで、

する事と言えば記事やら寄付金集めやら印刷の段取りとかコツコツとですから（私じゃなくて幹事学年が、私？私はぶつぶつ言ってるだけ）。

毎年委員の面子が変わるから委員会のOB連中もふんどの締め直し。『さて今年も一から出直しじゃ』の繰り返し。ともするとマンネリ感が充満しかねない。

そこでそれを払拭すべく佐久間氏の太っ腹な好意と遊び心のある新機軸により「幹事学年は勿論、OBも創造する喜びを楽しみながらやろうじゃないか」という気風が生まれ大義名分の二次会、三次会も含め進行して行った様な和気

藹々感が思い出される。当時は明高の則先生や総明会の服部副会長も良く顔を出してくれた。

ところで、一見CD版と学校のホームページが似通っていることや、諸先輩の方々にとってはアナログ版も捨てがたいとの事もあり冊子版が続いている。編集の基本は幹事学年が「今年は何をテーマにするか」であり、それを中心に肉付けをしていく事にある。いつも原点は「今年のテーマは？」であり軌道修正をしつつ毎月のタイムスケジュールにより進捗状況をチェックする。

さてその後、銀座から明治

高校の会議室に代わった。刻々と通い慣れた校舎が変わっていき、見かける生徒数もまばらになり、その後会議室も無くなる最期を否が応でも見届けてはならなかった。この巡り合わせも母校との不思議な縁である。

「何でやってるの」と訊かれたことはない。ボランティア精神に乗っかってである。それに当初の和氣藹々感を知っている一人としてそれを繋いで行きたい事と、私ら半アナログ半デジタルの年代の代弁者としての観点から少しでも編集にアドバイスできたらと思っただけ。しかし実際訊かれたら一言だけ・・・「愛校

心からだよ」と、私が言ったら爆笑する奴は十指は下らないだろう。

明高の会議室が無くなった今、会議室はどこになったでしょう。そんな事は知るか・・・とはちと冷たいですね。予算も無いし色んな委員会がいちどきに何十人も東京のど真ん中に集まれる場所。はい、今年はピカピカの「紫紺館」でやってます。でも来年はどうするのかなあ？

人が集まれる場所、そしてその場の雰囲気と居心地・・・これが大切である。委員会に限らず、パーティでも、町会や会社でも、そして学校もある。

どうでしたか、「私たちの通っていた頃の学校は？」そしてどうですか、「私たちの今変わりつつある学校は？」

昭和四十三年卒 紫讃会

小田島保男

足立区中央本町四一二十四一八

祝 第44回 総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫 讃 会

減つても増えない同期会

昭和44年男坂俱樂部 早川 忠志

男坂俱樂部は昭和44年卒業の仲間達の総称です。

毎年5月に総会が有り、開催日は平日の時もあり、土・日の時も有ります。

これは色々な職業に就いている人がいるので、毎年開催日に工夫を凝らしているからです。

今年は平日に開催され、場所は御茶ノ水の紫紺館でした。出席者は40人弱でしたが、もう少し人数が集まって欲しいですね。

振り返ると会場も色々替えています。ちょっと気取って錦糸町の東武ホテル、後樂園の東京ドームホテル、そしてぐつと碎けて銀座のキャバレー『白いばら』での開催。

銀座のキャバレーで総会をするなんて、若い世代ならいざ知らず、50代の男が真面目に企画するだけでも突拍子も無い事だけど、それを実施するところが、男坂俱樂部の頭が柔らかいところですね。これが、なんと意外にも好評で出席者も多く、その為2年連続でキャバレー『白いばら』で実施する事になり、ホステスと肩を組んで『白雲なびく駿河台』の校歌が歌われました。『校歌』も神宮球場で歌われる事には慣れているが、銀座のキャバレーで歌われるとはビックリしたでしょうね。

昨年は品行方正に戻り明治大学のリバイタータワーで開催され、そして今年は紫紺館での開催でした。右に揺れたり、左に揺れたり、来年の開催場所が楽しみです。

早いもので卒業してから40年近くになります。残念ながら会計報告の中に生花の項目が目に残まるようになりまして。人生の店じまいをするには未だ早い年齢です。出来るだけ永く総会には出席し続けたいものです。

さて、50歳を過ぎると昔の事を思い出す機会が多くなります。ところが案外と明瞭に思い出す記憶が少ないのです。仲間の顔は直ぐに浮かんできても、彼らと何を話したかまでは思い出せません。しかし実際に仲間と会うと話は尽きません。自分の記憶ではすっかり忘れ去られていた事柄が不思議に蘇ってきます。仲間達が昔の事を良く覚えていて事に感心します。

男坂俱樂部の総会はおやじが少年に戻る唯一の時間で

す。また来年も総会で少年に戻って、仲間と一緒に『白雲なびく駿河台』を歌いたいですね。



四七四七同志酔会

昭和47年卒 四七四七会 廣野 宏士

《四七四七の皆さん！

新母校に集まろう》

1999年に、帝國ホテルでの総会でホスト学年を務めました昭和47年3月卒業の四七四七同志酔会です。

我々が、ホスト学年を務めてから、早や9年の月日が経ちました。時間の過ぎゆく速さを感じるのは、年齢のせいではありませんか。

我々は、ホスト学年担当当年に向けて『四十歳を過ぎてからの人間関係の再構築』と『同級生同志、お互いがお互いの人生にエールを贈り合おう』を合言葉に掲げて96年頃

より準備に入り、邁進しました。ホスト学年を終えた今でも、このイズムを忘れずに同級生の交流は続いております。

同期会は、思い立った時に不定期に開催していますが、本年の総会は、母校が調布に移転した初年であり、また母校での開催ということでありますので、我々の準同期会と位置づけて、総会当日母校に馳せ参じたいと考えております。四七四七の皆さん、新しい母校に集まりませんか。校舎を見た後に、旧交を温めませんか。私達幹事も出席しますよ。元気な顔を見せて下さいませんか。新しい母校でお会いしましょう。

幹事学年の皆さん、これま

での準備、お疲れさまです。盛大な総会となることを祈っております。



祝 第44回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和四十七年卒
五木田・三浦法律事務所

弁護士

三浦雅生

〒104-0061
中央区銀座五丁目一四階
第一御幸ビル
電話 三五七五〇一九〇

明紫会 総会・懇親会

昭和50年卒 明紫会 富澤 秀敏

7月6日(日)、昭和50年卒「明紫会」年に一度の同期会が南地区担当の元、品川シーサイドにある、ハートンホテル東品川・2Fレストラン「レジーナ」に於いて開催されました。参加者は後輩3名を含む総勢34名(内・初参加3名)でした。

今回のテーマは、「大いに語ろう・大いに飲もう・シンブルイズベスト」

PM1:30より恒例の総会が始まり、各議案は会長の半ば強引な進行によりトントン拍子で承認され無事終了。

PM2:00より懇親会が始まり、近藤敏彦会長自らが西調布の新校舎へ足を運び、見

てきた素晴らしい新キャンパスの感想を盛り込んで挨拶、乾杯は前会長桑崎安弘氏の発声の後、海鮮料理に舌鼓を打ちながら和やかなムードの中、会中は中盤へ進み、参加者全員による近況報告のスピーチ、最後に本年度幹事学年「明翔会」代表・齊木氏・鴨下氏の両名が挨拶、寄付のお願いの前段で齊木氏が「先輩方と私達は6学年違うという事は、緑の上履きを引き継いだ年代なのです」で大いに盛り上がり、それならば「何とかしなくちゃ」と参加者の財布の紐が緩みグッズ販売も大盛況でした。

最後は来年東地区担当幹事の代理で服部栄一氏の締め挨拶・校歌斉唱・参加者全員の記念撮影で無事終了しました。



終了がPM4:30で外も明るく2次会は五反田に場所を移し、2次会から参加の2名を加え18名で又大いに盛り上がったのでした。

吉武孝生税理士事務所

昭和五十年卒 明紫会

〒121-0813 東京都足立区竹の塚一三六〇号
エンゼルハイム竹の塚駅前二〇七
TEL 03-3585-1152
FAX 03-3585-1152
E-mail: t.yotax-yoshitake.com

お車のトータルサービス

代表取締役 服部 憲一
社長 (昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車板金工業

〒179-0073 東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail: ken@hattori-auto.co.jp

(有)太陽精器製作所 昭和五〇年卒「明紫会」

代表取締役

世古俊之

〒143-0015 東京都大田区大森西七二二一十
電話 03-3761-1988
FAX 03-3761-1988

明々会 総会報告

昭和51年卒 明々会上野 雅宏

平成20年3月8日、新宿南口の中華点心店にて今年の明々会総会を行いました。昨年7月末の総会の場で、開催時期を変えてみれば来られるメンバーもいるのではないかと、3月開催となりました。中国製冷凍ギョウザ事件の影響か、残念ながら参加者17名と、動員のもくろみは思惑が外れましたが、清水紀夫先生をお迎えして楽しい総会・懇親会が出来ました。

山田眞也副会長の挨拶の後、当日決議しなければならぬ議題の学年評議員の変更について討議しました。これは現評議員の一人、小林祥悟君が

総明会総務委員長（総明会理事）に就任され理事と評議員が兼任できない規定によるもので、新たに山田眞也君を評議員に選出して議事を終えました。結果、明々会の学年評議員は現職の前田稲一郎君と新任の山田眞也君の2名となります。

清水先生にご挨拶をいただいた後、懇親会となり昔話に大いに盛り上がりました。話は4年前の幹事学年終了後の打上旅行会の思い出におよび、今年度中に再び旅行会を行いたいなどと、勝手なことを言う輩もおり検討事項に加えられました。

今年度幹事学年の明翔会の皆様が寄付のお願いに來られ、グッズ販売や寄付のお願いを

精力的に行っており、今年の総明会の成功を心から祈りつつ母校校歌で締めとなりました。



祝 第44回 総明会 総会・懇親会

昭和51年卒

明々会

ホームページ：<http://meimeikai.s14.xrea.com/>

昭和五一年卒
荒川産業株式会社

代表取締役社長

前田 稲一郎

〒111-0024
東京都台東区今戸二丁目十四番六号
TEL 03-3874-1891
FAX 03-3874-1803

男子校根性組

昭和52年卒 香取 輝忠

あのレコードは何処に行ってしまったのだろう…。高校時代に少ない小遣いをはたいて買ったその紫紺のジャケッ
トには、明大の記念館講堂が描かれていた。「明治大学」というタイトルのLPのその中に、ナレーターの岩井半四郎氏が語る次のような衝撃的なくだりがあったのを記憶している。
「戦争当時、我が明治大学校歌の2番と3番は、『権利自由』『独立自治』『時代の夢を破るべく』などの歌詞が軍当局の逆鱗に触れ、反体制的であるとの理由から歌うことを禁じられていた…」
時は移り、世は平和憲法の時代となった。時の軍事政権

からアカの歌とされた我々の校歌は、そのまま転じて、今や恒久の平和を希求し、国際社会で名誉ある地位を占めんとする近代民主国家の姿勢そのものを、時代に先駆け見事に歌い上げてきたと言える。これはこそ世に誇るべき伝統ではあるまいか。
数年前に広島島の江田島を訪れた。名こそ変われ、今でも海軍士官学校としての機能を果たしているこの島には、戦争当時の記録や品々が多く展示されている。その一室に学徒出陣のコーナ―があった。そこには22歳の若者たちの遺書があった。法政、中央、そして明治大学。敵艦めがけて還らぬ空へ飛び上がった彼が、最後の勇気を鼓舞せんとして歌った歌は、「白雲なびく」だったのだろうか。そして、それでもなお、彼は校歌の1

番だけを繰り返し返して歌い続けたのだろうか。…
神宮で、同窓会で、校歌の2番と3番を歌う際に、私はいつもこの逸話を思い出す。そしてこの歌を友人たちと歌えることへの感謝の念と幸福感で一杯になる。学友諸氏よ、今年も総明会の総会で、気品溢れる我らのこの校歌を、いざ誇り高く声高らかに、ともに歌おうではないか。一期一会の心をこめて。
さて：昭和52年卒「男子校根性組」の我らチョイ悪おやじ軍団は、今年も元氣一杯である。5月に神田明神下の、蕎麦の名店「きやり」に30名近い同期が集い氣勢を挙げた。「みんなみんな懐かしい古い顔」ばかりである。最後の締めには小嶋眞作会長指揮の下、校歌の斉唱となった。爽快！痛快！この時こそが明治OB

の特権、至福の時である。元氣よく右のこぶしを振りに振り、歌った…。しかしながら、歳は隠せぬものだ。「いでや東亜の」あたりで腕が痺れはじめたのは、私だけではなかったはずだ。なんと我らは今年で50歳である！少年老い易く、そして、やんぬる哉、学は一向に、これっぽっちも成っていない…。



明誠会

昭和54年卒 小松原英太郎

去る平成20年7月12日（土）御茶ノ水「栃木屋」にておいて、明誠会総会・懇親会を行いました。当日は土曜日ということもあり午後5時の開催でしたが、皆さん忙しい中総勢30余名の参加を得ることが出来ました。2年前に渋谷・セルリアンタワー東急ホテルで総明会ホスト学年を務めて以来、度々集まる機会に恵まれ、懐かしい顔と言うよりもいつも見る顔になりました。前日は喜ばしいことです。前日京都大会の試合があったこともあり、集まった人たちは話と時に事欠くことなく楽しいひと時を過ごすことができました。

さて、当日は総会と言うこともあり会長熊倉君の開会宣言で始まりましたが、既に出来上がっている者も居るほどの和やかな開式となりました。本年度総会では、会長より明誠会会則案が提示されましたが、反対はなく無事承認されました。続いて来期幹事の選任が行われ、最後に矢ノ目君より会計報告がされました。会費の徴収方法についての問題提起がなされ、今後の課題として検討されることとなりました。

懇親会では新副会長千崎君の乾杯で始まり、今年も集合写真を撮るのを忘れるほど会は盛り上がりました。また、本年度総明会ホスト学年の明翔会からもご参加いただき楽しい会となりました。最後は応援団水上君のリーダーの下、校歌3番までを声高らかに歌

いお開きとなりました。その後はお決まりの2次会、3次会、4次会へと流れたのは言うまでもありません。次回同期会幹事には、荒井君・佐藤君・島田君・志村君の4名が指名されていますので、幹事以外の全員を含めて、参加者を増やせるように努力したいと思います。



祝 第44回総明会 総会・懇親会


http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

紫魂会

昭和55年卒 渡辺 裕之

今までは4、5年に1回の頻度で同期会を開いていましたが、昨年度幹事学年を務め、これを機会に毎年同期会を行なおうと決まりました。

本年は7月12日(土)明大リバティータワーで行ないました。昨年幹事として中心で動いてくれた同期をはじめ、昨年の総明会で久しぶりに会って、今回初参加の同期も多数おりました。また、卒業時担任であられた清水先生もお忙しい中、出席頂きました。昨年の苦労話や各々の近況報告などで2時間の懇親会もあったという間に終了してしまい、その後、尽きない昔話に華が

咲き二次会、三次会とついで深酒をして、次の日は一日中ゾンビ状態でした。このような楽しい機会を与えてくれた総明会の幹事学年というシステムに感謝しております。このシステムがなければ本当にごく内輪で飲むだけの同期会になってしまった事でしよう。

私はゴルフが下手なので参加していませんが、昨年から何度か清水先生を中心にゴルフコンペも行なっており、今後、より一層同期の絆を強めて活きたいと思っています。明翔会の皆様も本番まで残すところあと僅かです、ラストスパート頑張ってください。総会・懇親会の成功をお祈り申し上げます。

暮らしの衣料 まつざわ

昭和54年卒

株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤 和昌

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

昭和54年卒

常駐事務所

税理士・行政書士

常 住 豊

東京都北区赤羽西1-5-1-606

(アビレ・赤羽アボードIビル内)

TEL 03-3905-6981

FAX 03-5963-7430

神崎・高橋法律事務所

弁護士 神崎浩昭

〒105-0003

港区新橋1-20-3

虎ノ門法曹ビル308号室

TEL 03-5511-3345

FAX 03-3597-1182

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋 治

〒210-0834

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054 (代)

FAX 044-211-3256

駿河台の記憶と私のアフタースクール

平成14年卒 上原 康仁

先日、恩師に本を贈る機会がありました。そして、封筒に学校の住所を書く段階になり、初めて校舎移転が心に沁みました。三省堂、ジャニス、喫茶店アミの焼肉ライス、リバティ前にできたイタリアン。いまだに気付くと足が向く街、けどもうあの校舎には誰もいないんですね。私、正直勉強より遊んだ記憶の方が多いので「男子校、共学どちらがいい？」とか「大人の事情を生徒に押し付けるなよ」とか意見言う資格もないのですが、OBの（記憶を美化した）おせっかいを1つ言うなら「お前ら、ちゃんと遊べるのか？」

ということ。ゲーセン行くにしろ、公園でフットサルするにしろ、私たちは学校のそばで遊んでいました（もちろん渋谷や高田馬場にも遠征しましたが）。意外と何でもある街で、先生方の目の届くところで遊ばせて頂いてたんです。でも、調布なんて田舎（失礼）で、眉秀でたる若人が満足できるわけない！と私は思ってしまう。学校を出てちょっと歩いた道でこっそり恋人と待ち合わせして一緒に電車に乗って「ハイ、満足！」なんて絵は想像できない！…羨ましいけど。健児の遊び方を学んで欲しいし、教えていただきたいなあと。そして、大学から入ってくる連中から、少なくとも勉強以外のところで

は尊敬される人になって欲しいと思います（笑）。

私はまだ仕事を始めて3年目のひよっこ、先日連絡した同級生は大学院を卒業して就職したばかり、これからどうなるかはわかりません。でも、大学4年の時に同窓会をした仲間たちや、今は連絡があまり取れない奴らとも、5年後、10年後笑いあえる。どんなに環境が変わってもそんな気のいい奴らになって欲しいし、私もそうなりたいと思っています。今度新校舎に遊びに行きます…女子を見に。

ちなみに恩師に贈った本は、先日公開された映画「アフタースクール」のファンムック「アフタースクールへようこそ」（学研・千円）。表紙で大

泉洋さん、佐々木蔵之介さん、堺雅人さんが座っている机や椅子は旧校舎からお借りした物。よろしければお手に取って下さいね。



A・B組を知っていますか？

昭和56年卒 明翔会 鈴木 望文

輝かしい幾多もの学校史と共に、波乱万丈で過ごした六年間は強烈な学生生活でした。「見事に咲きそろった満開の桜と真新しい校舎をバックに」これ以上の無いロケーションで中学入学記念写真を撮影した昭和50年は2号館・生徒ホールや格技室など充実した設備の一部新校舎のお披露目の年でした。この年の入学から校則の丸刈りも無くなり多少色気づき始めた私もほっと胸を撫で下ろし、早速父親の整髪剤を毎朝使用する事となりま

した。また何故かクラス編成が、上級学年と異なり我々の年代だけ4クラス編成で、1クラス分多くの友人と巡り逢うことが出来たラッキーな学年でもありました。

それから幾多の問題と思いう出を重ねながら歳月が過ぎました。高校ⅡⅢ年時には学力以外の特殊能力？を持つ学生が集まった幻の「特別編成A・B組」導入の初めての体験学年でした。A・B組は成績のよろしくない生徒を集めたもので、我々の1年先輩が高Ⅲの時、我々が高Ⅱの時に実施され、我々の卒業と同時に理由は判りませんが消滅し

たそうです。

A・B組は2クラス編成で、クラス別という意識は特に無く「2クラスで1つの団体クラス」の感がありました。毎日のように笑いと事件が絶えない、学校内外でトラブル続出の想像を絶するメンバー構成でした。学力の順位による編成なので、敗者復活のチャンスとして年に2回A・B組と他クラス一部生徒の成績によるクラス異動があり、対象者は双方、「天国と地獄」を味わう事となります。当然、A・B組への編入者は「この世の終わり」と思わんばかりに自分を責め悲観した同輩も

いたことでしょう。なぜならA・B組のメンバーは「十で神童、十二で才子、十五過ぎれば異能の人」を地で行く学業以外の才能に長けた強烈な個性の集団だからです。このクラスは、時として各人の持つ独特なエネルギーがぶつかり合い、雷雲のごとく異様な空気が教室全体を黒く覆いつくし、毎日が事件のオンパレード、授業中に突然パフォーマーK君が当時流行っていた西城秀樹のヤングマンを踊りだし教室は熱狂ライブ会場状態。とても人様にお見せ出来ない授業風景で、時にはカーテンを閉めさせられ勉強に集中し

ていました。また博打に長けているメンバーも多くカード・メンコ・中国語の勉強に熱心で成績表のAランクに匹敵する位、日夜努力を重ねていました。仮に当時「全国選抜高校博打大会」なるものが開催されていれば、優勝候補間違いないの実力を兼ね備えていた逸材揃いでした。

先の「ゆとり教育」には程遠い、当時A・B組のために特別に設定頂いた、週に2回の「愛ある7時間目授業」のお蔭でストレスが溜まっていたのか、はたまたニコチン中毒による禁断症状のせいか、放課後に行われる全校集会出

席は苦行に匹敵し、これ以上、放課後の「至福の時間」を妨げられてなるものかと各々中国語教室や桃源郷を求め、知恵を絞って「要塞と化した迷宮の校舎」から脱走を図るのでありました。そのため全校集会時は、体育館に全学年クラスごとに縦一列に整列した場合、何故かA・B組の縦2

列の長さが他学年クラスより明確に短くなり誰が見ても歪な整列バランス状態になることも。出席簿に記帳する学級委員は苦労したと思う。なぜなら彼らは殆ど「フケ生徒」が出席になるように買収されるこの歪なバランスを修正する

術がなかったのです。この他、会報では掲載できない「突飛且つ非現実的な出来事」の毎日で学業が身につく環境では無かったのです。

担任の山本先生は常々「貴様らは幼稚園生だ」と声を荒げて激昂し、そして諦めたかのように呆れた姿をされておられました。山本先生は我々が原因か定かではありませんが度重なる心労の末、心臓にペースメーカーをはめ込む事態になりました。心より山本先生のご長寿をご祈念申し上げます。

我々の悪行三昧の過去を知ってか知らずか、または籤運が

悪かったのかこの問題多きA・B組にやる気満々で新赴任された副担任の大野先生はさぞかし驚愕の日々の連続で頭を悩まされ、また落胆されたと思われまふ。それでも、大野先生は異次元空間に存在する我々を一生懸命理解しよう「大野愛」を我々に注いでくれました。同じくA・B組担任の山脇先生をはじめ多くの先生方に長い間大変ご迷惑お掛け致しました事、深く反省し紙面を借りてお詫びするしかありません。

A・B組永久会員の私にとつてはクラブ活動・学校行事等それぞれの想い出の中でこの

2 年間は多少複雑な気持ちを
持ち合わせていましたが、仲
間との面白く楽しい時として
深く心に刻まれています。多
感な時期に色々な意味で強烈
な学校生活をおくれたことは、
「人生のターニングポイント」
になりうる位、中味の濃い時
間でした。

ほとんどの同窓生の方々が
ご存知無かったと思われます
が短い期間、「特別編成 A B
組」が存在した事、そして勉
学には残念ながらあまり発揮
出来なかった大きなエネルギー・
明晰な頭脳を持ち合わせてい
たタレント達が居たことを、
皆様の記憶の片隅に、そして

母校の長い歴史の 1 ページと
して刻んで頂ければ幸いです。
「やんちゃじゃ・・だめです
か？」



恩師 大野先生



恩師 山本先生 御年81歳

明治大学付属 明治高校同窓会

川口明高会

(設立 昭和53年)

明高会ホームページ <http://www.cablenet.ne.jp/~prout/>

初代会長 大熊 康浩

2代目会長 目良 昇

3代目会長 久松 勇

4代目会長 天野 洋一

5代目会長 荻野 布昌

(物故)

6代目会長 石井 次男

7代目会長 由本 俊昭

8代目会長 土屋 悌一郎

事務局 川口市峯 307-4

石井君忠

048-294-3780

川口明高会におじゃまして

昭和56年卒 明翔会 開発 武志

平成20年2月23日、川口明高会30周年記念に本年度幹事学年の代表として出席してきました。参加者は来賓も含めると総勢45名、学校側からは小林正三郎校長先生、山田伸夫先生が出席され大変盛大な会合でした。

まず驚きだったのが、部活でも同期会でもなく地域での明高の集まりがあること、そして、昭和29年から平成9年まで幅広い世代が出席されていることです。このような会にはなかなかないのでは

ないでしょうか。今年幹事学年をやっていて人集めの大変さをつくづく感じているので、年代を超えて地域で集まり、それが30年も続くことはものすごい快挙だと思います。そして、川口明高会は初代会長の大熊康浩氏が、母校の校長であられた福島校長が武南高の校長に就任したのを機に、まわりに声をかけられ開催された事に始まったそうです。やはり色々な会合に出席しましたが先生を中心に集まっている会は活気があります。当日も現会長の土屋悌一郎氏の挨拶をはじめに、第二代会長の目良昇氏の乾杯で酒が

すすむとあちらこちらで話の花が咲きました。年度幹事としては、ここぞとばかりご挨拶をさせて頂き、今年の総会、懇親会を調布の新校舎で行うことを報告しました。寄付を集めにまわりますと、「東京を横断させる気か」等あたたかい言葉？をかけてもらいながら沢山のお気持ちを頂戴しました。最後に皆で校歌を高らかに歌い川口の夜は更けていきました。

モップ・清掃用品・テント・シート・袋物から大型品縫製加工

株式会社 岡 仁

代表取締役 岡本 雅仁
(昭和51年卒 明々会)〒106-0047
東京都港区南麻布 2-4-12
TEL 03-3451-3671 工場 栃木県大田原市無垢素材を生かす家造り
やすらぎ住まい工房
株式会社 角伊

代表取締役

小井土 功

昭和五十一年卒 明々会

〒三三三〇八五一
埼玉県川口市芝新町九一二四
電話〇四八一二六六一二四五五

明球会

昭和51年卒明球会長 一泉 一郎

ストライクが入らない。まさか。2008年7月11日12時30分、炎天下の八王子市民球場のマウンドには呆然とする明高のエース池田が立っていた。無死満塁のピンチでバッターボックスには明大中野高の鈴木、身長189cm東京屈指のスラッガー、打球はショートゴロ、池田の気持ち勝ち。しかし、初回に5四死球と安打で3点の失点。その後は、まるでノーガードの打合い、バント失敗、残塁、失策・・・。同点の9回裏、2四死球と敵失で1死満塁、明大中野高は投手交代、そして明高の代打丸山のサヨナラ安打。5×対4。勝った。1回の表と9回裏、対照的な両校の戦い方

違いがそこにあった。1回表、追い詰められたエース池田、ブルペンで投球練習は誰もしない。エースと心中だ・・・。9回裏、明大中野高は1死満塁のピンチで4人目のピッチャー登板、そしてサヨナラ。限られた戦力で勝つために、軸がぶれない戦略を貫いた。澤田監督の中のもののふ（武士）を垣間見たと思った。

野球部の条件が勝っている明大中野高校に勝てたことを誇りに思います。1959年（昭34）夏5回戦に2対4で同校に敗れています。明高が49年振りに敵を討ったのです。49年前のこの試合のキャッチャーが現コーチの岡崎氏です。西東京に移ったの初戦が明大中野高であることといい、因縁を感じます。

明球会と致しまして、明治

高校・明治大学野球部・明高野球部父母の会・甲子園に送る会そして応援団OB会の方々とこの連帯強化をこの一年図って参りました。これから皆様との紐帯強化を図る所存でございます。

明球会自体も幅広い世代からのご指導を頂くことが出来まして、心から嬉しく思っております。

私も先輩方のご尽力に追いつきますよう、今後とも会の連帯を求めて行きたいと思っております。そして、明大野球部員の現場での指導、明大野球部総監督・監督からのアドバイスに改めまして感謝申し上げます。明球会の強化を図り、更に強い明治高校野球部を実現させるために精一杯活動して参りたいと存じます。

ご支援を宜しくお願い申し上げます。グラウンド・学校が移転し、学校とグラウンドも近くなり、野球部の新体制も出来つつあります。女子マネージャーも3名入部致しました。変化しつつあるのです。

明球会と致しましては、明治高校野球部員がプレーし易く、勝ちに拘ることの出来易い環境創りに全力を傾けていく所存でございます。

現場で日々ご指導を頂いております澤田監督・岡崎コーチに心から感謝申し上げます。「高い目標を設定し、一段と奮起の上厳しい鍛錬に耐え、積極的に克服していくことが、野球部強化に留まらず、将来自身の人間形成に必ずや役立つもの」と信じて頑張っという（小林正三郎校長）という意志は指導陣の、そして明球



明大中野戦試合開始

会の考えでもありません。学校との強い絆の下、野球部を支援して参りたいと存じます。私は、選手達に、品格・矜持を大切に、破天荒な、そして独り善がりにならない、謙虚な若者になってももらいたいと願っております。眠れる獅子の覚醒を期待致しております。



内海・島岡ボールパーク全景



エース池田君

総明開発株式会社
昭和五七年卒 硬式野球部OB

代表取締役

染谷 貴男

〒三四〇一〇〇五二
埼玉県草加市金明町四七三
電話 〇四八一九四六一〇〇〇
FAX 〇四八一九四六一七〇〇

有限会社トラストワーズイ

金属・アクセサリー企画、製造

代表取締役社長 山田真也（硬式野球部OB）
取締役専務 山田健二（硬式野球部OB）

〒一三三〇〇四一
東京都墨田区八広四丁目八番二十号
電話 〇三三六二二二二三三三八

喫茶
ペガサス
後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion
後藤勇三 S50
硬式野球部

硬式野球部OB会 明球会

会長 一泉二郎（昭51年卒）

ホームページ URL <http://o-meiji.com/>
事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

バレー部OB会活動の復活

昭和52年卒 樋田 哲次

総明会会員の皆様、こんにちは。

バレー部は、創部60年にならんとする歴史があり、全国大会出場も果たしたことのあつた実績もあるクラブです。

故松枝正弘先生による創部が昭和23年です。先生のご指導の元に、昭和30年、40年に全国大会に1回、関東大会には6回出場していました。

40年代後半に松枝先生が糖尿病を患い、練習にも、合宿にも来られなくなると、バレー部も弱くなつてしまいました。

松枝先生の退職後、平成2年に、山中先生が赴任され、ご出身の筑波大学で学んだ近

代的な練習やトレーニング方法を取り入れ、部員個々の体力と技術力をアップし、3年前の平成17年に約40年ぶりに関東大会に出場できました。

しかし、初戦で敗退しました。これは、3年生が大会前日まで修学旅行に行っており、体調や練習不十分のまま出たことなどが考えられました。そして、今年も関東大会への出場を決めました。(次頁参照)

一方、山中先生の時代になつてからは、あれだけ団結力があつたOB会活動が停滞してしまつた。事務局の力が弱くなつてしまつたからです。

それでも2年前には、故松枝先生の17回忌を催すなど、徐々にOB会活動を復活し、

去年の暮れに15年ぶりにOB会総会を開き、約40名のOBが集い、最後の猿樂町校舎でのバレーボールを楽しみました。

総会では、33年卒の当間氏が会長に選ばれました。

当間氏は、明大卒業後、日本リーグの松下電器で、活躍し、東京オリンピックの時には、全日本代表候補に選ばれた。実力があつた。

選手引退後は、松下の監督に就き、采配はもちろん、会社との調整役としても活躍し、その後は、営業や海外の工場でも手腕を発揮するなど、大変人望のある方です。

副会長には、吉田氏と片山氏が就き、事務局長には、総明会副会長の服部氏、幹事長

には、酒井氏が就き、また山中先生の教え子も、4名が事務局・会計に入り、HPも立ち上げるなど、新風が吹いています。

今後の活動に期待してください。

連絡先 樋田 (といた)
toietsu@nifty.com

関東大会 観戦記

5月31日・6月1日に甲府市で、関東大会の男子の部が開かれました。出場校は50校です。初日にベスト8まで決めた、2日目に決勝まで行きます。

東京から、ご父兄、OBなど50人くらいが駆けつけ応援しました。

初戦は地元の駿台甲府との

対戦です。相手は、小学校からの持ち上がりだからでしょう。うか、チーム全員が同じフォームでアタックを打ち、コンビネーションバレーを展開してきます。

対して、明治のエースは、ケガから3日前に練習に復帰したものの、本調子でなく、なかなか決められませんでした。1セット目はいいところなく、11、25で取られてしまいました。

2セット目は、相手の攻撃や弱点を分析し、接戦になりましたが、サーブミスなども多くあり、結局、22、25で敗れてしまいました。

相手のエースがここぞというとき決めたのが、勝負の差になったのかなと思います。



バレー部OB会

今後は、インターハイや国体予選などがあります。これからも期待していきます。

明治高校バレー部OB会

会長	当間堅一朗 (S32年卒)
副会長	吉田 信行 (S37年卒)
副会長	片山 真 (S39年卒)
幹事長	服部 雄二 (S44年卒)
幹事長補佐	岩崎 広人 (S58年卒)
幹事長補佐	岡永 健二 (H4年卒)
事務局長	酒井 孝憲 (S40年卒)
事務局長補佐	樋田 哲次 (S52年卒)
事務局長補佐	山本 直之 (H8年卒)
会計	加藤 裕司 (H8年卒)
HP担当	阿部 徹也 (H11年卒)

<http://www.geocities.co.jp/meijivolley/>

昭和四十八年卒 波の会

製菓原料卸

株式会社 山口商店

代表取締役

山口 隆

大田区大森北一十七二
〇三三七六一四八三八

昭和59年卒

渡邊文夫

ソニー生命保険(株)

新宿ライフプランナーセンター
第5支社
東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル4F
電話 03 (5358) 1705
携帯 090 (4376) 6146

SL08-375-028

昭和57年卒 明魂会

東陽監査法人

岡田 基宏

TEL 03 - 3295 - 1040

昭和四十八年卒

山形税務会計事務所

税理士

山形 厚夫

〒一〇七〇〇五二
東京都港区赤坂八十四一七
アパートメントカーム4B号室
TEL 〇三三四一三一九一一
FAX 〇三三四一三一九一一
E-mail:twiso99@twifty.com

猿楽町校舎最後のバスケット部OB会

昭和58年卒明輪会 並木 功

去る3月20日の祝日にバスケット部OB会の第31回総会および懇親会が明治高校にて盛大に行われました。例年9月に実施されていますが、今年は猿楽町校舎での開催が最後ということもあり、まさに引越しがりの3月下旬に日程変更され、汗や涙を流した体育館において旧友・先輩・後輩達と、今も脈々と続く交友を深めました。当日はあいにくの雨模様でしたが、約120名もの参加者に受付は溢れんばかり、そこかしこで「チワース!」と、懐かしい掛け声が

飛び交いました。

午後1時から現役を交えた恒例のルーズボール杯争奪トーナメント戦が世代別に分かれたチームで行われました。勿論、主体は卒業したばかりの大学生チームで、個人の動きもチームワークも優れていました。50歳近いメンバーもいるオジサンチームもそれなりに健闘、往年のプレースタイルがこの期に及んでも変わっていないことは、時を一緒に昔に戻してくれました。そして4時から総会が開かれ、会長・会計等の役員からの挨拶や報告と共に、OB会の趣旨でもある『現役へのサポート』という点にも触

れられ、今後の支援を出来るだけ最大化したいということが改めて周知徹底されました。通常は総会・懇親会共に場所を移しての開催となるところ、今年は特別に体育館で開催となり、猿楽町校舎最後のOB会に花を添えてくれました。懇親会では、フリースロー大会で盛り上がったたり、3名体制となった顧問の先生方からの頼もしいご挨拶を頂戴したりしながら、バスケットを通じて世代を超えた交流が行えることの素晴らしさを感じることが出来ました。

最後に中村光晴先輩の素晴らしい指導の下で校歌斉唱・エールとなり、今年度のOB

会が散会となりましたが、最後ということもあり、それぞれ携帯やカメラを手に、青春を過ごした体育館を映像に残している姿がとても印象的でした。次回のOB会は新校舎で行われることとなり、女子部も参加することになります。新しい環境の下、是非後輩達には少しでも良い結果を残して貰いたいと同時に、素晴らしい交友関係を築いて欲しいと願うばかりです。また、OB会としてもより組織を充実させ、しっかりサポートしていくつもりです。

もうこの場所に来られなくなるということはやはり寂しい気がしましたが、その懐か



新しい思い出を心に焼き付け、
新たな一歩につながった一日
でした。

祝 第44回 総明会総会 バスケットボール部OB会

OB会会長 三田幹男(S43年卒)

ルーズボールクラブ

(バスケット部OB会主催のゴルフコンペの名称です。)

11月中旬開催

バスケット部OB総会は、平成21年3月頃
開催予定です。

昭和49年卒

坂政合板株式会社
マーカム株式会社

代表取締役

坂上真啓

〒424-0045
静岡市清水区東大曲町8-36
TEL 0543-66-1155

昭和45年卒「獅子の会」

平沼孝之

駒形 善上人

〒111-0043 東京都台東区駒形 2-7-3
TEL.03-3841-7856

定休日 ・毎週 月曜日
・第2・第4日曜日

剣道部OB会

昭和53年卒 近藤 成明

剣道は、高年齢になっても続けられる数少ないスポーツ（武道）である。鈴木幸男監督（昭和44年卒）を筆頭に助監督・コーチ8名と現在も剣道を続けているOBが交代で出向き、生徒とともに汗を流し、稽古を通じて人間形成ということを指導している。以前と違い学生の活力が弱くなっていることを不満に思いつつも、後輩のために少しでも力になりたく時間を作っている。これはそれぞれのOBが、自分達が現役の時に受けた指導

に対する感謝を後輩に注いでいるものである。

さて、OB会（見心会）は戦後剣道部が復活してから現在まで途切れることなく52年続いている。現在は矢光善美会長（昭和39年卒）のもと会員相互の意思疎通を図り、親睦を深め、剣道部の発展に寄与することを目的として、年1回の総会と月1回の稽古会、現役の試合の応援などをおこなっている。

今年の2月にはOB同士の親交を深めるため昨年に引き続きOB合宿を行なった。つくば市剣道連盟の方々との合同練習を行い、本格的なもの

となった。宿は筑波山の中腹にあるホテル青木屋で上は昭和34年卒業の加藤佳一氏から下は昭和61年卒業の嶋田茂之氏まで、総勢16名で幅広い年代が集結した。夜の宴会では昔話で盛り上がったが、特に昭和30年代の先輩の生徒だけで行った合宿の話などはいっ聞いても驚かされる。また来年度以降もこの合宿を続けようと皆で誓い、筑波山を後にした。今後は若いOBや今までも余り参加していなかったOBも気軽に参加していただきたい。

話は変わるが、30年余りお世話になった格技室も3月で

閉鎖となった。思い起こせば、私が高1の時見心道場が壊され格技室の建設に入った。新しい道場が出来るまでの1年間は、神田警察や、千代田区体育館を借りての稽古だったので、重い防具を担いでの移動は大変だった。特に、そのときの中1（今回の総明会の幹事学年）は体も出来てなく稽古前にはくたくたになっていたのではないだろうか。また、日々道場を借りるために奔走した山本氏（昭和51年卒 故人）もかなりご苦労されたと聞いている。そんな1年間を乗り越え、新しい道場ができた時の喜びは今も忘れら

れない。何より、授業が終わり、すぐ稽古が出来るという喜びは、何よりも勝るものではなかったかと思う。

思い出が詰まった道場とお別れすることは寂しいが、今年度からは校舎が調布に移り道場も新築され、また新しい歴史が築かれていくことになる。

2年前、当時会長だった戸谷好夫氏（昭和33年卒）の年代から現体制に引き継がれ、見心会は、これからもOB同志の絆をさらに深め、校舎が変わっても現役のために力を注いでいくことに変わりない。「継続は力なり」。充実した活



動を行っているが、次世代を担う人材も捜さなくてはならない時期に来ている。この文を読んだ若いOBの諸君、現役後輩のために是非力を貸して頂きたい。

アーバンホーム(株)

代表取締役

川東 明夫

品川区大井 1-11-1

昭和49年卒

TEL 03-3776-3111

見 心 会

明治高校剣道部OB会

会 長	矢 光	善 美
副 会 長	中 島	健 一
監 督	鈴 木	幸 男
会 計	羽 田	郁 雄

昭和47年卒

小川印刷株式会社

代表取締役

小 川 雅 資

東京都江戸川区西一之江4-9-38

TEL 03-5607-2021

FAX 03-5607-2056

明治中学・高校水泳部OB会

明 水 会

会長 石川 守也(S36年卒)

事務局 東京都江戸川区平井3-23-11
中村明彦(S46卒) 内
TEL&FAX 03-3638-7640

明水会について

明水会長 昭和36年卒 石川 守也

4月18日(金)の明水会総会において村嶋大三郎会長の後任として会長に選任されました。OB会明水会の歴史は、昭和57年上野の池之端文化センターにて設立パーティを開いて以来26年になります。

プールの無い水泳部ですが、結束も固く長い歴史を誇っています。

しかし、若い卒業生の参加がまだまだ少ないので是非奮って参加していただきたいと思っています。

活動としては、総会、忘年会、ゴルフ会、幹事会等OB

の懇親を図っています。

それから、この度OB名簿も諸先輩OBの寄付により、新しいOB名簿を作成しまして、OB会員に郵送しました。

私は昭和30年明治中に入学しましたが、当初学校にはプールも無く水泳部が無いと思い、柔道部に入りました。中3になってから水泳部に入り、明大の地下プールで練習しました。

水泳部は5月から練習が始まりますが、地下プールは水が冷たく震えながら泳いだ思い出があります。プールの脇にお風呂がありますので、風呂に入る前に大学の体育会の学生が真っ裸でプールに飛び

込むことも度々でした。

我々も冷えた体を温めるために、練習後お風呂に駆け込みました。恵みの風呂でした。

プールは3コースしかなく、暗い汚いプールで、しかも夏休みには一般公開をされていて夜しか使用できず、十分な練習も出来ませんでした。

それから、米を持参しての館山での夏の合宿も楽しく苦しい思い出です。

今では信じられませんが、プールは濃緑色の水で底も見えず、プールの壁、底には水コケが生えていました。しかし、皆病氣にもならず元気に泳ぎました。

現在、私はマスターズ水泳

大会に参加しています。2年前にはアメリカで開催された世界マスターズ大会に参加してきました。何人かの後輩にマスターズ水泳大会で会いますが、これからも健康のため続けたいと思います。

明治中学・高校も4月より調布に移転しましたが、相変わらずプールの無い学校であると聞きOBとして非常に残念です。しかし、水泳部は和泉校舎の大学のプールを使用出来るとの事でこれからの水泳部の活躍を期待します。

最後に、今後も総明会の益々の発展のために明水会としても協力していきたいと思います。

マンドリン部OB会会長 佐伯 亮先輩 古希記念コンサート

昭和62年卒 赤岩 大輔

平成20年5月10日マンドリン部OB会会長である佐伯亮先輩の70歳のお誕生と音楽家としての活躍50年を記念してのコンサートが日本青年館で開催されました。

マンドリン部は佐伯先輩が高校3年生の時に中心となって創部しました。

さて、佐伯会長は明治大学へ進み、明治大学マンドリン倶楽部に入部され、大学在学中に古賀政男さんの強い勧めもあって古賀門下に入り、作曲・編曲家として活躍をしました。美空ひばりさんにも絶大な信頼を寄せられ、「ひば

り音楽」の音楽監督を永年つとめられ、皆さんもよくご存知の「柔」の編曲を手掛けレコード大賞を受賞するなど、日本歌謡界にその名声を響かせています。レコード大賞を2回、功労賞、その他数多く栄誉ある賞を受賞されました。皆さんが日頃聴かれている歌謡曲の多くは佐伯先輩の編曲によるものが多く、知らずに耳にしているのです。その功労を祝いプロの音楽関係者が中心となり、お祝のコンサートをしようという事になり、OB会としても全面協力させて頂いてコンサートに参加しました。総勢127名の演奏者が集いOB会からも25名が参加をして先輩の功績を称える事

が出来ました。

ホールロビーは著名な歌手の方々のお祝いの花で埋め尽され、客席は満席、といった中で第1部は佐伯先輩を中心にプロの音楽家の演奏、第2部は佐伯先輩の名編曲によるポピュラー音楽の演奏、そして瀬川瑛子さん、大川栄策さん、OBでプロギタリストのアントニオ古賀さんといった有名なゲストの方々が出演される中、一緒にマンドリンやギターを演奏出来る喜びと興奮は筆舌しがたい事でした。さながら本格的な歌謡ショーに出演している様で、夢のような演奏会に出演できて、改めて先輩の偉大さを実感しました。コンサートは大盛況のう

ちに幕を閉じました。これからも末長く日本歌謡界、マンドリン音楽の普及に力を注いで頂きたいと後輩一同強く願っております。



放送班OB会(田村会)報告

昭和55年卒 紫魂会 大迫 好孝

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、恩師 故田村晴彦先生の命日(5月17日)にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。ここ数年、参加メンバーが少しずつ減っていると感じるのは気のせいかな?これも、皆それぞれのポジションで活躍している証し。明高卒業生ですから当然とも言えますね。

さて、今年の第3土曜日は5月17日と、故田村先生の命日となりました。参加メンバー

は4名と、ここ数年の傾向を見事に反映してしまいました。が、いつの間にか先生の年齢を越え、恩師の気持ちがよく分かる様になった教子同士の夜の麻布十番で時が経つのも忘れて語り合いました。

毎年「来年こそは!」とお考えの皆さま。ご参加お待ちしています。インターネットの掲示板や、メーリングリストをご利用ください。掲示板は、

<http://8630.teacup.com/mhcbbs> です。またメーリングリスト参加希望の方は

<http://groups.yahoo.co.jp/group/tamurakai/>の「グループへの参加(自動処理)」から手続きをしていただくとともに、

tamurakai-owner@yahoo.co.jp へご連絡をお願いいたします。



小坂法律事務所

弁護士 小坂嘉幸

〒110-0005
東京都台東区上野3丁目17番8号
田沼第一ビル4F
TEL 03-3831-6032
FAX 03-3831-6037

明治大学付属明治高等学校
昭和49年卒

小林総合法律事務所

弁護士 小林 信明

〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目6番9号
DIK 麹町ビル3階・4階

T E L (03) 3238-8515 F A X (03) 3238-1231
URL <http://www.law.gr.jp>

歴史研究部 O B 会

会長昭和45年卒
山形英明

幹事学年の皆さん、第44回
総明会総会・懇親会の開催準備
ご苦労様でした。

明治中学・高校は、学校の沿革によりますと、1912年に神田駿河台の大学の中に設立され、以来96年に渡り多くのOBを送り出しています。

今年度から調布の新校舎が開校になり、総会・懇親会も新校舎で実施されるというところで、駿河台から移転してしまったことは寂しくもありますが、逆に新校舎とともに学校にどのような変化が出てくるか、知りたいという期

待もあります。

私たち歴史研究部は、明治中学・高校の倶楽部としては非常に歴史があり、来年は創部60周年を迎えます。伊藤好一先生（ご逝去）・保坂吉彦先生（ご逝去）に続き、現在は栗野哲也先生という我々と同窓のOB先生の顧問のもと、後輩たちが活動しています。新校舎のスタートと共に、男女共学になりましたが、歴史研究部のOB会にも近い将来、女性のOBも参加してくれることになるということです。複雑な想いもあります。

来年は、創部60周年の記念の会合を予定していますが、学校や栗野先生とも相談しな

がら、現役の生徒諸君にも参加してもらい、倶楽部の還暦の祝いをしたいと考えています。

どこにあっても明治高校・中学は変わりません。また歴史研究部も長い歴史をもつ倶楽部として活動できるよう、OB会が結束して現役の生徒たちを支援していきたいと考えています。

明治大学校友会
東京都東部支部
足立区地域支部

支部長 千葉栄典
幹事長 植草 繁

祝 第44回総明会総会
がんばれ明翔会

歴史研究部OB会

会 長 山形 英明 (昭和45年卒)
事務局長 大塚健太郎 (昭和37年卒)
監 事 平沢 一義 (昭和42年卒)

「さんま会」活動報告

昭和47年卒 田中 実

私たちが現役学生るとき、生物部は月曜から土曜日まで、毎日研究？活動をしていたが、木曜日だけは、部長の桜井先輩の発案で皇居一周ランニングをして気分転換を図っていた。

そのためか、いやタレント揃いなのだろう、運動会クラブ対抗リレーに於いて、文化部では唯一生物部だけが決勝レースに出場した。また、一日中海に浸かってはたくさん生物を採集してくる者や、ボートでプランクトン採集が得意な者、そんな個性派が揃

う、樋山先生を囲む会「さんま会」は生物部OBを中心に毎年春に開催しております。

さんま会が復活して、今年の4月27日で8回目になりました。毎年、会うのに話が尽きないのです。これもひとえに樋山先生の人望なのでしょう。

樋山先生に会いにきませんか。

連絡先

昭和47年卒 田中 実

〒123-0854

足立区本木東町15-8

TEL・FAX

03-3886-3309



手打ちそば 多佳津

高津戸 晴正

(昭和49年卒 翼明会)

〒105-0004

東京都港区新橋 2-2-6

TEL 03-3591-0630 FAX 03-3501-2709

天井いもや

日、祝祭日を除く十一時より十六時まで営業
電話 〇三・三二九三・〇三六六

『ごとう会』について

昭和52年卒ごとう会 大西静士郎

恩師の後藤朋智先生（化学）を囲んで、毎年卒業生が集う『ごとう会』が、今年も五月十日（土）に後藤先生と美恵子夫人をお迎えして、有楽町の『LASTELLA（ラストセラ）』で開催されました。今年の幹事を引き受けていただきました、昭和46年卒明潮会の有志の皆様のおかげで、今回は約50人も人の参加を得られました。

後藤先生は、「今も趣味のマラソンを続けているが、いっしょに駅伝のチームを組んでいる、自分より年下のメンバー

が年齢のため引退したので、大会に参加できなくなって残念だ！」と、とても今年「喜寿」とは思えない元気さでお話しをされていました。

今年も後藤先生と奥様を囲んで、高校時代に戻ったような楽しいひとときを過ごすことができました。これも幹事役の明潮会の皆様をはじめ、多くの方々のご尽力のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

なお、この会は有志による手作りの会のため、多くの皆様にお声を掛けきれていないと思われまますので、これを機に、後藤先生にお会いしたいとお思いになられた方は、ご

遠慮なく事務局（090・2533・0189・大西）までお問い合わせください。来年も五月十日に『ごとう会』を開催する予定です



昭和52年卒
パートナーズ総合事務所

司法書士
菅原 誠

台東区東上野 3-35-5
TEL 03-3835-8041
FAX 03-3835-8042
e-mail ZVC 00312@nifty.ne.jp

男根組
アウター・ビジュアル・デザイン・グループ

株式会社 **日本統計センター**

代表取締役 **泉澤由一**

〒101-1031 東京都千代田区東神田2-9-14 **ALビル**
TEL(03)3861-5391 FAX(03)3866-1944
http://www.ntc-1td.com E-mail:izmsw@ntc-1td.com

祝 第44回総明会 総会・懇親会

株式会社 大西静商店

取扱商品：貸事務所・パーティーグッズ

代表取締役

大西静士郎

男子校根性組（昭和52年卒）

〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-10-2-1002
電話 03 (3866) 6 0 9 7
FAX 03 (3866) 6 0 9 8
携帯 090(2533) 0 1 8 9
Eメール seishiro-o@nifty.com
http://www.playave.com

紫紺で駆け抜けた38年

昭和56年卒 明翔会 衛藤 雅一

その方は昭和45年明治高校卒業の桜井久昭氏です。

私がこの桜井久昭氏とお会いしたのは今年の4月27日生物部のOB会である「さんま会」でした。さんま会出席者の方々から、生物部という文化部でありながら皇居1周マラソンを行うという変わった活動を行ったときの部長である桜井久昭氏から面白い話しが聞けるだろうと紹介され、後日お会いいただけることになりました。

運動好き、特に自転車が好きであった桜井久昭氏は自分のための小遣いで自転車を

買い、日帰りサイクリングから始まり夏休みには日本各地を旅したとのことでした。このような高校生活を送るなか、高校Ⅲ年の夏に友人の中村信也氏からプロの競輪選手を紹介され、その方の下で練習を積み、競輪選手への道を歩き出すことになりました。

ご両親への告白や先生からの反対など幾つもの問題乗り越え、日本一厳しい校則を持つ学校の異名をとる日本競輪学校に見事入学することができました。その後8ヶ月の学生生活を経てプロの競輪選手としてスタートを切ることにになりました。その時から桜井久昭氏は紫紺のフレーム、「明治 桜井」と刻まれた愛

車とともに各地のバンクを駆け巡りました。派手で目立つ色ではない紫紺。この色を自分の色に決めた桜井久昭氏の話聞き、その想いには心を打たれました。自分一人で競輪選手になったのではなく明治中学・高校を通して築いてきた人脈、「明治」そのものがあったからこそ今の自分があるということ忘れず自分の目指した夢に向かっていくという決意の現われではないかと思いました。プロデビュー後は学生時代の友人も応援に足を運んでくれたとのことでした。その後デビュー5年目には念願の日本一、第17代日本競輪王に上り詰めました。その後長年選手生活を続け今

年で38年を迎えました。

我々普通の社会人でもひとつの仕事に38年間も就くことは大変なことです。しかし自分の体ひとつで挑む競輪の世界で今なお現役生活を送っています。今年は怪我のため長期の入院生活を送り父親の死に目にも会えず出場機会も無くなったばかりか、このままでは現役生活にピリオドを打たなくてはならなくなってしまうました。

桜井久昭氏はいま現役競輪選手のゴールに向かって最後のトレーニングに励んでいます。そのような大事な時期に貴重な時間を割いていただき長時間にわたりお話を聞かせいだき有難うございま

た。限られた紙面の中ではそのときのことをすべてお伝えすることはできません。ただひとつ、

紫紺（明治）を愛し続け38年間走り続けた人がいたことを忘れないでほしいと思います。紫紺で駆け抜けた38年、いや、「紫紺でかけ続ける男、

桜井久昭」

完桜井久昭氏プロフィール

高Ⅰ 伊豆1周

高Ⅱ 京都

高Ⅲ 能登半島

昭和45年3月 明治高校卒業

日本競輪学校入学

昭和45年12月 同校卒業

昭和46年2月 京十閣デビュー

昭和50年12月 第17代小倉競

輪王

昭和52年12月 結婚

平成19年11月 前橋競輪にて

30000レース達成

平成20年 競輪選手生活38年

5月17日夕方4時から深夜

12時まで長時間にわたりお話

お伺い有難うございました。

どんなに素晴らしい時間であ

ったということはインタビュー

に伺った私たちが帰る時間も

忘れ久米川で一夜を過ごしたこ

とからもお分かりいただける

と思います。桜井先輩有難う

ございました。今でも「衛藤、

寝るなよ」という声が頭か

ら離れません。



明雪会

スキー部OB会

会長	堀 眞壽(昭46年卒)
副会長	戸張 毅(昭47年卒)
兼評議員	津守 徹(昭51年卒)
副会長	若松弘昌(昭39年卒)
名誉会長	大出育男(昭31年卒)
相談役	佐藤健一(昭31年卒)
〃	山田和孝(昭36年卒)
事務局	五十嵐公一(昭54年卒)
〃	菅野栄一(昭55年卒)
〃	吉口市郎(昭55年卒)
〃	深谷 剣(昭62年卒)
がんばれスキー部	
めざせ!!	
インターハイ連続出場	
関東大会入賞	

祝 第44回総明会総会 軟式庭球部OB会

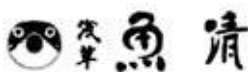
昭和五十一年卒 明々会
総合不動産
株式会社 エヌエフ・ヴィレッジ
取締役 事業推進室 室長
吉田 博
〒177-0033 練馬区高野台一丁目二七 NFプラザ
TEL 03-3591-0012 055
FAX 03-3591-0012 055

厨房のアメニティを創造する
津守興業株式会社

代表取締役 **津守 徹**
(昭和51年卒明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

ふぐ 季節料理 和牛しゃぶしゃぶ



東京都台東区浅草四丁目 35 番 2 号
電話 03-3874-2390
URL <http://www.uosei.com>

明誠会
昭和五十四年卒 硬式野球部OB
吉田 正穂

昭和五十四年卒「明誠会」
和光アールイーアイ(株)
代表取締役 **熊澤正幸**
千代田区飯田橋四・一・十一 六洲社ビル
電話 03-3511-0750
FAX 03-3511-0753

豆菓子・おかきの専門店
有限会社 青山但馬屋
代表取締役
太田垣政紀
(昭和五十一年卒明々会)
〒107-0061
東京都港区北青山二丁目十一
電話 03-3401-2843
FAX 03-3401-6631



学校報告



最後の駿河台紫紺祭訪問記

昭和56年卒明翔会 寺嶋 郁夫

昨年の11月4日、今回で最後になってしまふ駿河台での紫紺祭を訪ねた。

母校の文化祭を訪ねたのはおよそ20数年ぶりだろう。生田校舎に進学した私の場合、そうではなくても御茶の水駅を使うことすら稀であった。

学生の当時からすると一変した駅周辺を抜け、通学路を巡る。マロニエ通りもいつの間にか「とちのき通り」と名前まで変わってしまった。男坂の上に立ち、見慣れた懐かしい景色に安堵を憶える。階段を降りはじめると賑やかな演奏が聞こえてくる。フェンス越しに校庭に目をやると

丁度ブラバンの演奏が始まったところであった。数多くの観客の姿は概ね父兄と思われるが、それ以外にも明高OBとおぼしき中年男性がチラホラと見受けられる。皆、最後の駿河台を見納めに来たのだろう。おっと、自分もその一人であった。

さて、校内を見て回ろう。第一校舎では歴史、マンドリン、山岳部、書道部、物理部、化学部など歴史あるクラブ活動の展示。もうすでに新しくはない、「新」校舎を抜けて3号館へ。天井が低く狭く薄暗い廊下が当時は陰気に感じられたのだが、石造りの階段の手すりの造形や太い柱、廊下の剥き出しの照明などにノスタルジーを感じられたのは

自分もそれだけ年を取ったという事だろうか。こちらは学年有志などの展示が主であった。

体育館兼講堂の壇上には三木武夫氏による校歌の一節「白雲なびく」の書が30数年前と変わらずに堂々と掲げられていた。この「新校舎」や、格技室や生徒ホールのある建物は、丁度私達が中学に入学したときに完成したもので当時は新築の匂いがまだ漂っていた。新しい校舎に明治出身の総理大臣の書が燦然と輝いていたのは、まだまだ子供であった私にもとても誇らしく感じられたものであった。そして、入学式で初めてブラスバンドによる生演奏で聞いた校歌。本当に格好良かったナ・・・。

感傷的な気分を一通り味わい、母校を後にする。数名の同期と久々に酒を酌み交わし、母校の良さを改めて感じたひとときであった。



2006年度卒業式

昭和56年卒 明翔会 鴨下 裕彦

平成20年3月10日、明治大学アカデミーコモンにおいて第60回明治高等学校卒業証書授与式が行われた。朝からあいにくの雨だったが、218名が学び舎を巣立っていった。明治大学への進学は推薦合格202名、AO入試による合格5名、合わせて207名。他大学への進学などは11名で旧制中学から累計すると同窓生は17877名を数えるまでになった。

今年も総明会賞が日本学生化学賞に3年連続入賞した伊藤安弘君と生徒会活動への貢献をたたえて藤島英夫君の2人に授与された。また、佐久間会長から卒業生に向けて、

63年前の今日受けた東京大空襲の犠牲の上に現在があるので平和の貴さを考えて欲しいということ、元ラグビー日本代表監督宿沢広朗氏を例にチャンスをもつにするには日ごろの努力が大切であると祝辞が送られた。

母校の卒業式というだけで父兄でもない第三者で式典を脇から見させていだいた感想を述べさせていただきます。

次年度から新校舎に移り、さらに共学になるという年に卒業するのはどんな気持ちだろう。女子の後輩を見ずに卒業するのはどんな想いだろうと想像したとき、さて自分はどうであったかと気になったが、何を感じ何を考えていたか思い出せなかった。

たぶん、祝辞をいただいた皆様には本当に申し訳ないが、挨拶が長いな、これで校則から開放されるなどろくなことは考えていなかっただろう。

そんな人間が言えたことではないが、正直な感想として「凜」としたものが感じられなかった。現代っ子の気質といえどもそれまでだが、式典に対する固定観念に凝り固まったオヤジの目から見ると形式美とでも言うのだろうか。ピーンと張りつめた感じが乏しく思えた。

不思議と松枝先生に「貴様らは緊張感が足らん」とよく怒鳴られた記憶が鮮明にのみがえってきた。そのときは嵐が通り過ぎるのをただ首をすくめて待っていただけだった

が、先生が言いたかったのはこういうことだったのかもしれないと今になって気がついた。



猿楽町校舎閉校式

昭和56年卒 明翔会 寺村 一義

桜のつぼみも膨らみ始めた3月18日、明治高校・中学校の猿楽町校舎閉校式が明高体育館でしめやかに行われました。

今回のセレモニーが対外的な学校行事としては最後ということもありとても感慨深いものとなりました。高Ⅲはすでに卒業式を終えているため中学生と高校Ⅱ年までの生徒が参列していました。ちよつと意外だったのは生徒たちが体育座りやあぐらをかいていてことです。我々が現役の時

は起立していたか、イスに座っていたような記憶が残っています。

式典の最初は小林校長先生のお話。OBの皆さんなら懐かしいと思われる学校誌「過程」の思い出に始まり神田古書店街・お茶の水駅周辺の楽器屋・そしてニコライ堂などの町並みを語っていたできました。ご自身もサラリーマン時代に「お茶の水」に通勤されていた時期があったらしくこの町並みをととても気に入られているようでした。

次に総明会の佐久間会長。

校舎の建物自体のお話から明治中・高校で学ばれた時の時代背景を語られていました。それはまさに戦後の高度経済成長期にあたる60年代で安保闘争・ビートルズ来日・東京オリンピックなど大きな出来事がたくさんあったそうです。

それからPTAの秋元会長、白駿会の石川元会長の挨拶、第60代生徒会長加藤君の挨拶があり、最後にブラバンの力強い演奏のもと校歌を3番まで斉唱して式典が終了しました。

私たちが中学・高校時代を過ごした猿楽町の校舎にもう



来ることができないと思うとちよつとさびしい気がしましたが、その懐かしい思い出はしっかりと胸の中に留めておきたいと思いながら校舎を後にしました。

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒一三五〇〇四八
江東区門前仲町二一六
電話 〇三五六三三九七三階
FAX 〇三五六三三九七七六二
E-mail: yanome@yanome.jp

昭和五十四年卒明誠会

アライ巧芸印刷(株)

代表取締役

荒井信之

墨田区石原四一十一六
電話 三六一二五一三七七七

明治中学・高校入学式

昭和56年卒 明翔会 小林 功治

2008年4月6日、私は、明治大学付属明治中学校・高等学校の入学式に出席する為、初めて調布の新校舎をおとずれる事にした。

第一に、驚かされた事は敷地の広さである。私達は、猿楽町校舎になじみがあるせいか、その何倍もの敷地に立つ校舎を見ると、少々戸惑いさえ憶える。

当日は天気もよく、バスロータリーに咲く満開の桜の花のピンクと、広い広い人口芝校庭の緑が、とてもコントラストがあり、まぶしかった思い

がある。

第二に驚かされるのは、校内の施設の充実である。ホテルかと思わせる様なエントラスホールをぬけていくと紫紺ホールがある。ワンフロアーに着席して1500名収容出来るホールは、調布市でも他に類がない規模だそうである。又、サブアリーナは、猿楽町校舎体育館程度の広さがあり、その横に本格的体育館である第1体育館がある。サブアリーナの1.5倍の広さがあるうかと思えるその堂々と、上部をランニング出来る周回廊下がそなえられている。又、柔道場、剣道場もそれぞれ独立した部屋をもち、食堂等も明

るく、スペースがゆったり取られている。また、2階の図書室は、図書館と言っているほど明るく開放的で、私でも思わず入ってみたいくなる場所である。

そして、教室の中廊下は4.5～6mもあり、そこでも何かイベントが出来るくらいスペースが確保されている。そして、教室の外には“瞑想の庭”と名づけられた中庭を望む事が出来る。まだまだ特長はあるが、長くなるので省略する。とにかく“すごい、すばらしい施設の整った校舎”である。

さて、当日の入学式である。真新しい紫紺で飾られた明治

のスクールバスに乗って、新入学生と保護者が降りてくる。



新入生は、一様に少々の喜びと、少々の戸惑いの混じった顔をしている。よく見てみると、いたいた！女子の新入

生である。今年度からの新入生は、共学となるのだ。人数的にはまだ少ないが、今年度は、女子新中学生が57名、女子新高校生が64名の入学となる。

中学新1年生は、男子130名を含め、187名の入学で5クラス編成。高校新1年生は男子219名を含め、283名の7クラス構成でのスタートである。

紫紺ホールにての入学式の予行演習がはじまった。司会をされるのは、我らがY先生である。式典前にも、「男女共学になっても、我が校は質実剛健独立自治の精神は続けていくのだよ。ガッハッハッ！」と笑って、おっしゃっていた。

さすが、Y先生、さっそく新入生に起立のダメ出し。やりなおし。

やはり 明治は、そうでなくちゃ！

入学式 式典のスタートである。あの大きな紫紺ホールが、新入生と保護者と関係者で1500名の席が一杯である。そして幕が上がり、壇上には来賓の方々が30名程登壇されている。すごい光景である。

こんな式典が出来る会場を持つ学校が、日本の中で果たして何校あるのだろうか？そんな感慨を感じながら式典を取材していた。

学校役職者、担任紹介も終

わり、全員起立しての校歌斉唱である。慣れ親しんで10年間歌った校歌である。なつかしい！ふと壇上を見ると、壇上のスクリーンに大きな大きな校歌の歌詞が投影されている。時代の進歩を感じながら、私も一緒に歌っていた。そし



て、厳かな中にも、華やかな雰囲気の入学式の式典が、無事終了した。

私は、この入学式にお茶の水にはない、新しい明治中学校、高等学校の風を感じる事が出来た。ただ、忘れてほしくない大切な伝統や精神も必ずある。それをふまえて、新しい明治の歴史の1ページをきざんでほしい。又、後輩たちが続けてほしいと、切に願っている。

調布新校舎開校式典

昭和56年卒 明翔会 蓬田 裕一

2008年6月28日（土）

調布新校舎の講堂「紫紺ホール」にて開校式典が厳かに執り行われた。

少し早めに到着したので、まずは事務長にご挨拶をし、早速会場である「紫紺ホール」に入った。噂にたがわずそのホールは、品格の良い造りの中に伝統の重みを感じずにはいられない素晴らしい雰囲気を持った会場であり、これらの幾多のセレモニーが執り行われるに相応しい施設であるとの印象を持った。

暫くすると会場には徐々に

ご来賓の方々がお集りになってきて緊張感が高まってきた。ご来賓をお迎えする先生方も普段着なれない正装？でお出迎えなさっており、これまた普段とは違う緊迫した雰囲気

が漂っていた。

一方、休日にもかかわらず（ある意味強制的？）に集合させられた生徒も清々と場に合わせようと努力していた。当り前とは言え本当にお疲れ様！これも学生生活の有意義な一つの体験になることは間違いない。あなた方生徒はこのセレモニーの中で一役買っていた。いや、それどころか本来は生徒が主役であるとも言えるのだ。

式典は理事長の式辞・学校長のご挨拶ではじまり、ご来賓の方々からは有難いご祝辞を賜った。また、それを受けての生徒会会長の言葉も非常に立派であり、最後に締め

の校歌斉唱で終焉となった。

式典の全体を通して、どちらかと言うと形式的なご挨拶が多かったが、その中で、調布市副市長のお話は直接生徒へ語りかける語り口でシンパシーが感じられ好印象的だったことには触れておきたい。

本校の大きな転換期の中でも最大の変化である「新校舎開校」のセレモニーは滞りなく執り行われ、これからの新生明治中学・高等学校の新た

なる未来が始動したことを最後に記して今回の記事を終えることとする。



明治高校報告

昭和56年卒 明翔会 衛藤 雅一

本校卒業生6名が「2007年度 公認会計士試験」に、

3名が「2007年度 司法試験」に合格しました。おめでとございます。

公認会計士試験合格者

小林将人 (平成13年卒)

高橋聖羅 (平成14年卒)

原田敦史 (平成15年卒)

金谷朋侑 (平成15年卒)

安藤 慶 (平成15年卒)

二田水喬 (平成16年卒)

司法試験合格者

加山稜一 (平成10年卒)

増井陽一 (平成11年卒)

高柳良作 (平成12年卒)

クラブ活動報告

柔道部

高校 個人戦都大会出場

団体支部3位

中学 団体戦都大会出場

硬式野球部

全国高等学校野球選手権

西東京大会 3回戦

剣道部

平成20年度東京都高等学校

春季剣道大会ベスト32

中学野球部

2008年春季大会2回戦

バスケット部

高校 第6回サンウエル

ジャパンカップ大会優勝

最優秀選手賞

高Ⅲ 松本敏之介

優秀選手賞

高Ⅲ 泉谷昭博

中学 中学春季大会

9ブロック大会ベスト8

高校軟式野球部

春都大会ベスト16

バレーボール部

関東大会出場

インターハイ都予選ベスト16

ソフトテニス部

六大学大会6位

吹奏楽班

第49回定期演奏会

昭和女子大学人見記念講堂

にて開催

マンドリン部

第49回定期演奏会

日大カザルスホールにて開催

化学部

高校 第51回日本学生科学賞

高校の部最優秀賞

中学 第51回日本学生科学賞

中学の部優秀賞

最後の六旗の集い

平成20年卒 秋元 隼風

私は、去年の12月、自分自身での引退の舞台であり、今回で第43回にもなる六旗の集いに第61代明治高校応援団団長として望みました。今まで先輩を送り出すためだけにただがむしゃらにやり続けて来ましたが、今回は送り出される立場でした。さらに、2007年度を以って、明治中学・高校は調布に移転ということで、開催場所や参加校の都合により、最後の六旗の集いになってしまいました。11月の紫紺祭の時もそうでした

が、最後ということ、例年よりも多くの方々が応援団の舞台を見に来ていました。紫紺祭も六旗の集いも、本当に自分が最後を飾っていたのかと思う時がありました。今までの何十回という回数を重ねてきた舞台で、自分達の代が最後を行うからです。今思うと、今までの先輩達がやってきた六旗を見てきて、最後の六旗を成功させるということに対してプレッシャーを感じていたと思います。しかし、紫紺祭を通して、多くの方々が舞台を見ているのを見て、見に来ている方々がいるからこそ、舞台ができ、支えられ

ていると感じることが出来ました。六旗の集いは、幹部と下級生で最後にふさわしい舞台にすることができたと思います。そして、見に来てくれた方々を楽しませることもできたと思います。

去年をもって、六旗の集いは終了してしまいました。これから私達の後輩達が明治高校応援団の伝統を引き継いで行ってくれると思います。今まで応援団のことを見続けて来てくださった方々や、明治中学・高校のOBの皆様、これからも明治高校応援団をよろしく願います。

祝 第44回 総明会総会

明治大学付属明治高等学校応援団OB会

会長 田村正彦 (昭和30年卒)
評議員 佐藤欣生 (昭和28年卒)

吹奏楽班

男子校最後の定期演奏会

昭和56年卒 明翔会 齊木麻州男

1月27日(日) 快晴の中、第49回定期演奏会が昭和女子大学人見記念講堂で開催された。1時の開場前から大勢の観客が長蛇の列で今か今かと開門を待っていた。私も何年かぶりに演奏を聴きに行くので、期待に胸を躍らせながら会場に向かった。広い客席も徐々に埋まり1時30分に幕は上がった。

第1部、顧問の鈴木正人先生の指揮により演奏が始まった。まず私はステージを見て

びっくりした事が二つあった。まず一つめは班員の人数だった。数えてみるとなんと58人もいるではないか。私が現役だった頃は多くても45人位だった様に記憶している。聞くところによると中学1年生を入れると65人を超えるというくらいたまげたものだ。もう一つは演奏している楽器だった。当時でもコントラバスは吹奏楽に使っていたが、現在ではピアノまで登場してしまうのかと驚きを隠せなかった。同時に各プレーヤーが演奏している楽器も高価なブランドメーカー品だ。心の底から本当に羨ましく感じた。その様な事

を思いながら聴いていると、さすがに吹奏楽コンクール東京都大会に出場しただけあって各楽器一つ一つの音にパワーがあり、『明治サウンド』らしい迫力のある演奏だ。曲を聴いているうちに、自分が現役だった頃の事を思い出した。楽しかった事、辛かった事、そして高校Ⅲ年生の時に全国大会に出場した事などあらゆる事柄が走馬灯の様に頭の中を過ぎていった。中学・高校時代の6年間、素晴らしい先生や先輩、同期の仲間達や後輩に囲まれて最高の学生生活を送る事ができた。何故だか自然と涙が溢れてきてとまら

なくなってしまった。

第1部が終了し、第2部は華やかな衣装に着替えて現役の中村君の指揮でポップステージが始まった。軽快なリズムの演奏を聴いていると自然と体が動いてしまう。スタンドプレーあり、さらにダンスまで。私が現役の時には考えられない派手なステージだ。懐かしい洋楽メドレーや故阿久悠さん作曲の歌謡曲メドレーなどを聴いているうちに、次第に会場内も盛り上がってきた。

そして第3部、本格的なクラシックステージだ。鈴木正人先生の迫力ある指揮のもと、

班員全員がひとつになって1曲1曲を奏でていた。感動的な演奏だった。久しぶりに晴々とした気持ちになった。3曲が終わりのよい卒業生の紹介があり卒業生全員に後輩達から、また鈴木先生・班長には父兄、OB会よりそれぞれ花束の贈呈が行われた。そしてアンコール曲に続いて校歌が演奏され4時過ぎに幕は閉じた。

さて来年は記念すべき第50回定期演奏会が開催される。OBを含めてのジョイントコンサートも行われる予定だ。さらに4月から男女共学になり、班員にも女子学生が入班

する。また今までと違った『新しい明治サウンド』が生まれる事を是非期待したい。鈴木先生を中心として現役学生諸君に私は心から『頑張って下さい』の言葉を贈ります。

最後に吹奏楽班OBの皆様には来年こそ是非第50回定期演奏会に参加して頂き、現役と一緒にステージに上がり演奏をして頂きたいと思っています。そして現役の頃のことを思い出しながら、感動して頂ければ最高です。



祝 第44回総明会総会・懇親会

吹奏楽班OB会

会長 竹越利之
(昭和53年卒)

硬式野球部激励会

昭和56年卒 明翔会 飯野 善明

平成20年6月22日、内海・島岡ボールパークにて恒例の硬式野球部激励会が開催された。生憎の天候であった為、当初予定されていた第一球場バックネット裏スタンドから変更して室内練習場での開催となった。

恥ずかしながら、卒業以降初めて母校野球部を訪問する私にとっては、目に入るもの全てが驚きの連続となった。

まず内海・島岡ボールパークそのものの施設の充実度である。第一球場は大学野球場

でセンター125m、両翼100m、外野は人工芝となっており、バックネット裏のスタンドも鉄筋2階建て、222席を有する。

第二球場が高校野球場でセンター100m、両翼90mで、バックネット裏には鉄筋コンクリート建の高校更衣棟がある。その他、室内練習場、トレーニングルーム、室内投球練習場、大学野球部合宿所などがあり、野球をする為の環境は全て整っている。まさにベースボールパークと言って過言ではない施設である。

二つ目に驚いたのは高校硬式野球部の部員数である。総勢73名、内女子マネージャー

3名の大所帯となっている。73名部員が整列した様子を見て、その可能性に鳥肌が立つのを感じた。「甲子園出場」と言う言葉が夢では無いと感じているのは決して私一人ではないと確信した。

その73名が整列し、57年卒染谷氏の司会で激励会が始まり、激励会実行委員長55年卒山田氏の挨拶を聞いて三つ目の驚きに遭遇した。

何と明治高校の初戦が明大中野とのことであった。調布に移転し西東京での出場とは理解していたが、そのデビュー戦が兄弟対決になるとは誰が予想しただろうか。まさに神

様のいたずら、神様が与えた試練と感じた。

激励会は激励会主催者である3団体（明治高校を甲子園に送る会幹事三浦氏、硬式野球部父母の会副会長小野様、硬式野球部OB会明球会会長一泉氏）の挨拶に続き、小林校長先生、別府明治大学野球部総監督、坂本明治大学OB会会長より激励の言葉をいただき、澤田監督、選手らに差し入れが手渡された。

澤田監督とキャプテンの西澤君よりお礼と夏への力強い抱負の言葉があり、明治高校を甲子園に送る会幹事長渡辺氏の指揮で校歌、硬式野球部



副顧問前島先生に締めめの言葉をいただき、無事終了した。卒業後初めて出席した野球部激励会であったが、自分が高校生であった時の気持ちを思い出し、懐かしさを感じると共に、新たな発見に出会い、驚き、明治高校硬式野球部の

明治大学監事

明高野球部を甲子園に送る会 会長

山 浦 晟 暉

昭和29年卒

TEL. 03(3378)2151

可能性を感じる素晴らしい会であったと思います。いずれにしても、歴史的な一戦となる明大中野戦は何としても勝利突破し、甲子園への道を切り開いて欲しいと思います。

甦った幻の8mmフィルム！

～Memories of 甲子園、1965（春）～

故野呂賢先生撮影による1965年（昭和40年）わが明治高校出場の、春の選抜高校野球大会の歓送会及び熱戦の様様を収めた8mmフィルムが、学校移転の際に倉庫より発見されました！何せ40年以上前のフィルム。劣化が激しく、このままでは貴重な資料が喪失してしまうことから、学校ではフィルムをデジタル化（テレシネ）して永久に残す事に決めました。

現在、昭和45年卒 前田治行氏を中心として専門スタッフにより25分ほどの長さに鋭意編集集中ですので10月末にはナレーションや音楽の入った完全な形の映像となって皆さんの元にお届けできる予定となっております。すでに故人となられてしまった先生方、懐かしい同級生の顔など多数映っております。どうぞ楽しみにしててください。

尚、価格は実費の2,000円を予定しております。総明会懇親会会場・文化祭に間に合うようにします！

乞うご期待！

明治高等学校・中学校 田中 徹太郎
（昭和47年卒 四七四七同士酔会）

問合せ先 042-444-9111
明治高等学校

第44回総明会 御寄付者一覧

(敬称略)
(八月末現在)

◎学校関係

白駿会有志一同様

金 八万八千円

明誠会 (54年卒)

金 二十一万七千円

紫魂会 (55年卒)

金 十三万三千五百円

卯の木会

金 三万六千円

川口明高会

金 四万四円

歴史研究部OB会

金 三万五千円

ごとう会

金 九万九円

さんま会

金 三万三円

応援団OB会

金 六万五千円

米山富次郎商店

金 一万円

◎個人

金 十万円

中田 貢弘 (37年卒)

金 三万円

福島 啓充 (37年卒)

卯木 京子

金 二万円

鈴木 信夫 (47年卒)

金 一万五千円

國井 孝重 (43年卒)

金 一万円

矢嶋 偉行 (29年卒)

加藤 一也 (39年卒)

中村 正容 (43年卒)

細矢日出男 (43年卒)

栗田 茂 (44年卒)

高橋 秀行 (44年卒)

吉田耕太郎 (45年卒)

比留間竹郎 (45年卒)

廣野 宏士 (47年卒)

戸張 毅 (47年卒)

並木 清志 (47年卒)

金宮 秀王 (47年卒)

佐藤 眞弘 (49年卒)

坂上 真啓 (49年卒)

春名 克俊 (49年卒)

金 九千円

山本 紳

金 三千円

荻部 大 (58年卒)

石井 利明 (58年卒)

武井 克明 (58年卒)

岸 一隆 (58年卒)

大野 久芳 (58年卒)

幹事学年寄付者一覧

総額金 五十万円

鈴木 白島 柴山 小島 小島 木須 木衛 神崎 唐鎌 鴨下 狩野 開野 衛藤 岩楯 市川 市川 出川 石井 飯野 安野 青木 青木 茂彦 健尚 博州 功昌 晴芳 浩孝 裕智 武雅 芳洋 雅俊 治善 信建 茂彦 司志 昇文 男治 夫彦 男昭 行彦 雄志 一延 治巳 昭彦 明夫 彦雄

蓬吉 山山 深三 藤半 林丹 名寺 寺谷 田田 多田 高田 高須 鈴鈴 鈴鈴 田田 山下 浦田 田田 羽古 屋屋 中中 中川 宏孝 貢一 望文 裕佐 守隆 建昌 隆久 和郁 悦秀 淳明 宏孝 貢一 望文 一男 覚弘 義健 一弘 雄禎 久義 夫男 幸一 弘靖 之輔 一洋 文

注意

総明会は、「個人情報保護に関する法律」(個人情報保護法)に規定される個人情報取扱事業者として、独自に「個人情報保護に関する規則」を策定し、個人情報保護法・その他法令に照らして適正且つ公正な手段によって会員に関する情報を収集し、お預かりした情報を適切に取り扱うとともに、正確性・機密性の保持に努めてまいります。この規則は本会報の製作にも生かされております。

第44回総明会実行委員会(昭和56年卒明翔会)

実行委員長

齊木麻州男

会計委員

開発 武志
島田 昇白畑 尚志
狩野 智雄

会報委員

衛藤 雅一
木須 晴彦
三浦 健
蓬田 裕一飯野 善明
寺村 一義
小島 昌夫

式典委員

小林 功治
市川 雅巳安藤 信夫
多田 明弘

寄付広告委員

須藤 貢一

卯木 敏也

ゴルフ委員

鈴木 望文
名古屋 和久鴨下 裕彦
林 隆雄

事務局(学校担当)

寺嶋 郁夫
青木 茂雄

出間 俊昭

前年度幹事学年挨拶

第43回総明会実行委員長

昭和55年卒紫魂会 渡辺 裕之

第44回総明会総会・懇親会の開催、誠におめでとうございます。幹事学年である明翔会の皆様、本当にご苦労さまです。幹事学年は大変だと思えますが、高校卒業以来、同期で力を合わせてひとつの事をやり遂げるという経験は、そう出来るものではありません。明翔会一丸となって頑張ってください。

さて遅くなりましたが、昨年の第43回総明会総会・懇親会の開催にあたりまして、ご

協力を賜りました関係各位の皆様、大変ありがとうございます。皆様からのご厚意・ご協力を頂き無事幹事学年としての責務を全う出来ました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年の総会・懇親会は最後の駿河台校舎、「さらば男子校」というテーマで行ないました。暗中模索でスタートし、会報・寄付広告と先輩諸兄のご指導ご鞭撻を頂きながらやり遂げる事が出来ました。そして打合せ・会議等の場面でつい熱くなってしまい失言・失礼多々あった事をお詫び申し上げます。振り返れば、昨

年はどっぷりと明治色に染まった一年でした。ゴルフ・会報・総会委員会会議はもとより各々同期会やクラブOB会に顔を出し、温かいお言葉をかけて頂くと同時に先輩諸兄から叱咤激励を頂き非常に勉強になりました。改めて明治高校OBの母校に対する熱い思いを感じました。我々が経験したこの思いを次の代へと伝えて行きたいと思います。

既に4月から母校は調布の地に移り、共学校となっております。本年の総会・懇親会はその新校舎で行なわれるとの事で楽しみにしております。明翔会の諸君は、大変だと思い

ますが明治魂を持って「紫紺の歌」or「ノックアウトマーチ」でも口ずさみながら雰囲気は楽しく、そして業務には厳しく当日に向かって頑張ってください。

最後になりましたが、我々紫魂会一同これからも母校の発展躍進の為、努力精進致す所存でございますので今後共御指導御鞭撻の程よろしくお願いいたします。

昭和五五年卒 紫魂会

渡辺企画

(有)九千・ブティックセレネ

渡辺 裕之

〒135-0013 東京都江東区千田二二-四

電話・FAX 〇三(三六四)三五七八

携帯 〇九〇-一二五、四〇七

メンズ・レディース、他アパレル全般

次年度幹事学年抱負

昭和57年卒明魂会 見山 義幸

昭和57年卒業生を代表致しまして、ご挨拶を申し上げます。

創立以来95年余りの輝かしい伝統を誇る明治高等学校は、本年4月、千代田区猿楽町から調布への校舎移転、そして共学校への移行という劇的な変革を遂げ、大きな転機を迎えていると存じます。私立学校に対する社会の期待がますます高まる中、明治高等学校の存在意義は、今後も際限なく拡がっていくものと確信しております。

そのような中、母校から戴いたご恩を自分なりにお返しできることはないだろうかとかねてから考えておりました。我々昭和57年の卒業生は、来年いよいよ総明会の幹事学年を迎えます。この際、微力ではございますが、総明会の各行事の計画、実行に全身全霊を尽くすことで、その実現の一つとしたいと考えております。

このところ、先輩諸兄とお話をさせて頂く機会が多くなり、先輩方の気迫に改めて敬服いたしております。そして、在校中の思い出に花を咲かせる中で、様々な活動において、邪念なく一心不乱に没頭していた自分を思い出ししています。卒業生は皆、自覚せずとも、恩師の教え、先輩のご指導、同期の友情、後輩のパワーから習得した「明治魂」を胸に秘め、それぞれに異なる環境の中で、毎日を頑張っているのだと思います。幹事学年を迎えるにあたり、昭和57年卒業生の会の名称も、改めて「明治魂」を胸に刻み込もうという趣旨で、『明魂会』といたしました。

私自身これまで、総明会の懇親会には数回しか出席できませんでした。幹事学年を迎えるにあたっては、これまで先輩諸兄が連綿と築き上げてこられた伝統を引継ぎ、加えて自分たちの創意工夫を凝らして、一人でも多くの会員の皆様が行事に参加していただけるよう頑張っていきたいと思っております。

明治高等学校の大きな転機となりました平成20年において、第44回総明会総会、懇親会が盛大に開催されますことに心よりお祝いを申し上げますとともに、来年の幹事学年に向け、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう平にお願い申し上げます。

幹事学年挨拶

昭和56年卒明翔会 実行委員長

齊木麻州男

私にとって今年には生涯忘れる事のできない素晴らしい1年になりました。それは人との出会いと再会でした。総明会幹事学年を通じて様々な方との出会い、そして同期との再会ができた事です。『男坂』から巣立って早くも27年が経ちました。明治大学に進み、就職し、結婚して子供が産まれ、家庭が出来て年齢的にも会社や社会である程度の責任を持たされる様になってきました。そんな時に同期から「来年が総明会の幹事学年だ。

齊木は学校に近いから評議員会に出席してくれ」と連絡がきました。勇気を出して評議員会に出席してみると、初めは話もした事のない大先輩ばかりで緊張の連続でしたが、何回か出席していくうちに「齊木」と声をかけられる様になりました。

昨年の6月より同期を集め何回か酒を飲みながら話しをしていくうちに「齊木が実行委員長だ！」とみんなから担ぎ上げられ、断れない性格の私はひきつった笑顔で引き受けてしまいました。そして何から手をつけてよいのかわからないまま『総明会汽船 明

翔会号』は出航したのです。

今年より明治中学校・高等学校は校舎を猿楽町から調布に移転し、更に汗臭い男子校から男女共学となる大きな節目の年になりました。この様な記念すべき年に幹事学年となり大変光栄に思っております。総明会・学校、また同期会明翔会にとって新たな飛躍のスタートになる年にしたと思います、昭和56年卒の会として明治の明・飛翔の翔と書いて『明翔会』と命名しました。今回のテーマは『BOYS & GIRLS 新たな飛翔（ひやく）へ』です。いつまでも『明治魂』を胸に、現

実を受けとめ、過去を思い、未来に躍進したいと私は思っています。3年後には女子も総明会の仲間になる訳です。とても楽しみにしています。大いに受入れようではありませんか！

今回の総明会総会・懇親会は11月15日（土）調布新校舎にて、午後3時より校舎の隅から隅まで見学をして頂き、4時より総会、引き続き懇親会を開催致します。総明会発足以来初めての試みですが、京王線飛田給駅から学校までスクールバスを用意して送迎をさせていただきます。当日は是非皆様お誘い合わせの上、一

人でも多くのOBに新校舎をご覧頂き、懐かしい思い出話に花を咲かせて頂けたら幸いです。皆様の思い出の1ページになります様、明翔会同期一同全力で努めさせて頂く所存でございます。最後になりましたが、昨年度幹事学年「紫魂会」の先輩方より引継ぎを受けた後、総明会役員・各委員会の先輩方には路頭に迷った子羊達（私達）を叱咤激励・ご指導を頂き、まっすぐ目標に向かったレールの上を走らせて頂きました事をこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。また寄付・広告・会報原稿など、多くのOB・先生・

関係者各位には大変お世話になり、ご協力を頂戴致しました事を重ねて御礼申し上げます。

また『明翔会』同期のみんな、協力してくれて本当にありがとう。再会できて本当に良かったし、みんなと同級生で幸せです。改めて総明会に感謝します。

今後の総明会の益々のご発展と皆様方のご活躍、ご健勝をご祈念申し上げます。第44回総明会幹事学年実行委員長 齊木麻州男の挨拶とさせていただきます。

今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

頑張れ

四十四代実行委員長

齊木麻州男

㊤

明治高等学校
昭和56年卒

ABS卸売りセンター
(株)あびすや商店
03(3605)6838

唐鎌 孝行

昭和58年卒 明輪会

石原クリーニング(株)

石原 清隆

川崎市高津区下野毛2-1-2
TEL 044-811-8180
FAX 044-811-6288

海鮮居酒屋

はなの舞 湯島店

昭和58年卒 明輪会

井上 直樹

東京都文京区湯島3-24-13
東京家具会館ビルB1
TEL 03-3836-5945
ホームページ
<http://r.gnavi.co.jp/g192815/>

昭和58年卒 明輪会

有限会社 遠藤印刷

遠藤 憲治

東京都千代田区飯田橋3-2-3
TEL 03-3262-2025

手打ちそば

よしみや

昭和58年卒 明輪会

大塚 達宏

川崎市宮前区小台1-19-5-B1
TEL 044-853-0753
HP よしみや.jp

編集後記

昭和56年卒明翔会 衛藤 雅一

総明会会員の皆様、本年度会報を最後までお読みいただき有難うございます。

第44会総明会会報の会報委員を拝命し、約1年間に亘り会報作成に携わってまいりましたが、同期会報委員を始め総明会会報委員の方、諸先輩の皆様、ご寄付・ご広告、ご寄稿をいただいた皆様方の協力により会報が完成できた事に心より御礼申し上げます。総明会会報委員の皆様を始め諸先輩の方々に感謝申し上げます。

この会報を御覧いただき、一人でも多くの方が11月15日に調布新校舎にお越しいただけるよう心からお待ちしております。

さて、我々明翔会の会報委員が会報作成を行うに際して、必ずしも順調な道のりを歩いてきた訳ではありませんでした。

一見、スタート時には順調な滑り出しに見えたものの実は原稿依頼もなかなか出ず事ができず、段々焦りが出てきて不安になってきた矢先、一人の会報委員が原稿を提出してくれました。ここから一気に勢いづき原稿の回収が進ん

できました。このように数々の問題にぶつかり会報委員をはじめとし、明翔会幹事全員で何とか乗り越えてきた1年でした。

明翔会として発足した当初から顔を出している者、途中から同期に引きずり出されてきた者、いつの間にか出てこなくなってしまった者など色々でした。

でも会報委員だから、総会委員だから、寄付広告委員だから、ゴルフ委員会だからといった垣根無く、皆一丸となって総明会第44回総明会幹事学年としての活動でした。このように我々明翔会の活動の原

点は、各委員会の垣根を越えた活動ではなかったかと思えます。

そんなこんなで1年弱の期間を経て何とかやっとこまて来る事ができました。ここから、残された紙面で明翔会会報委員長としてこの1年を振り返り、明翔会の面々、明翔会活動の軌跡を少しでも皆様に知っていただけたらと思います。

1 幹事打合せについて

皆忙しいのに仕事や家庭をも顧みず、よく集まってくれた。会社のパソコンを使うのは当たり前！大きな声では言えないがコピー、プリントア

ウトも朝飯前（これには深い意味がある）。感謝感謝。でもだんだん出席者が減ってきて固定化されてきたと思うのは自分だけだろうか？

2 飲み会について

やはりこれもよく皆参加してくれたと思う。でもホッピーが無いところに行くとは必ず最後の締めにはホッピーが飲めるところまでいったなあ。錦糸町や小岩、新小岩に神田、門前仲町、考えてみると俺たちの活動場所っていうのも限られてるな。でも、静かに酒をたしなむ奴もいたが、飲んで騒いで愚痴もこぼす奴。酒癖の悪い奴もいて17歳に戻って

喧嘩が始まるのは当たり前。

相当飲み屋には嫌われたであろう。しかしよく飲んだ。テールにはビールやホッピーが途切れる事は無かった。このようにホッピー普及に多大な協力をした事や、テング酒場を世に知らしめた？事は特筆に価する。でも、何処から感謝状も優待も受けなかったなあ。

3 国際交流について

明翔会幹事はやはり国際社会に広く目を向けていた。自分の職業に磨きをかけるため自費での語学研修、国際文化交流に力を入れている輩も何名かいた。きっと今後は

各種国際会議の場に登場活躍する事だろう。既に今でも何

名かの国際親善大使が誕生、活躍している。頑張れ先生！

4 教育問題への取り組み

やはり親ともなると子供の教育問題には当然関心が高くなる。

自らPTA会長として教育問題にとり組む者、野球を通じて子供の教育に携わる者もいた。頭が下がる。

5 地域社会への貢献

やはり明治高校の卒業生は面倒見が良い。町内会や商工会議所等を通して地域社会へも積極的に貢献していた。エライ！でもただの祭り好きか？

6 母校への思い

この1年総明会総会準備に携わってきた人間は口には出さないが、皆母校に対する想いは強かった。この1年間で何回学校に行っただろうか？あんなに授業をフケていた奴が真面目に会合に参加したり、足繁く学校に通っていた。入学式で最初に訪れた時にはただの新築の立派な建物にしか思えなかった校舎も、訪れるたびに段々在校生の生気が染み込んできたのか別物に見えてきた。これから先どれだけ訪れることができるか分からないが校舎の変化を見ていくことも楽しみである。当然、

今では調布新校舎に行くのに遠さは感じない。でも炎天下にバスを待つのは正直辛かった。

空車で走り抜けるスクールバスが恨めしかった！

7 健康問題について

やはり人間この歳になると体のあちこちにガタが来る。心臓、糖尿病、痛風を患う奴と色々いた。病気ではなく怪我をするやつもいた。

椎間板ヘルニアで杖を突きながら出てきたやつ、直ったと思ったら酔って転んで肋骨にひびが入るというおまけ付き。さらには年内2回目のヘルニア悪化。これから先、総

明会総会が終了するまで何が起こる事やら・・・

病気はともかく、只々喧嘩による怪我人が出ない事を祈る。

8 スーパーサブ

この言葉はこの1年で何回出てきただろう。そしてどれだけ助けられただろうか。前記したが、各委員会という枠に縛られず活動してきたからこそ出てきた言葉である。パット見（見た目）が犯人見たいな奴、やたら調子を合わせる税理士、何でも受けちゃうと怒られている会報委員、総明会ゴルフを成功裏で終了しその後は会報委員会を始め、陰

に日向に活躍するゴルフ委員、同じくOB会や同窓会に駆けつけグッズ販売や寄付広告集めに奔走したゴルフ委員等々スーパーサブの皆様方ご苦労様でした。すみません、もう一人大切な人を忘れていました。いつの間にかホームペー

9 紫紺館

明治高校が猿樂町から調布へ移転するに際して、明翔会活動を何処で行うかという危機に直面した。喫茶店や区の会議室やその他貸し会議室も探した。

しかし運が良いことに紫紺

館を使用する許可が下りた。お骨折りいただいた関係者各位には只々感謝。この場をお借りして御礼申し上げます。

そのおかげで明翔会の会合で集まるにも色々な面で負担増にならず多いに助かった。

そしてまだまだ我々と御茶ノ水の関係は断ち切れていなかった。

10 最後に

準備期間から数えると約1年余りに及ぶ準備期間を経てようやく会報を完成する事が出来ました。総ページ数140ページ超。しかも一部カラー印刷といった過去に例を見ないといってもない会報を作ってしまった

いました。先輩方の中には金銭的なことも考えずに無謀な事をする、冷々された方もおられた事かと思えます。

そんな事は一切気にせず、ともかく外見だけは皆様の記憶に残るものを作る事が出来たと思います。先輩方から「自分たちの思うように、自分たちがとことん楽しんで作るように」ということを言われましたが、そのような事を考え、感じる余裕もないまま活動してきた結果の集大成がこの会報です。やるならとことんやる。半端なことはいないという幹事全員、いや、明翔会全員の思いが詰まった一

冊。それが

『新たな飛翔』

～ Boys&Girls ～

この会報の題名である『新たな飛翔』のように、我等「明翔会」にとって色々な意味での『新たな旅立ち』が訪れるよう期待して編集後記のペンを置かせていただきます。有難う

明治高等学校・中学校
お世話になった先輩方に感謝
頑張れ次年度幹事学年
「明魂会」
そして、同期のみんな

有難う！



日本料理 手打ちそば

十和田

昭和58年卒 明輪会

富永 龍司

東京都台東区浅草1-13-4

TEL 03 - 3841 - 7375

ホームページ

<http://r.gnavi.co.jp/g06100/>

昭和58年卒 明輪会

株式会社 鴨川商店

鴨川 佳明

東京都江東区新木場3-5-4

TEL 03 - 3521 - 5521

FAX 03 - 3521 - 5523

昭和58年卒 明輪会

(有)クリーニング
アカシヤ

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18

TEL 03 - 3714 - 0452

祝 第44回 総明会・懇親会

明 魂 会

**昭和57年度卒、平成21年幹事学年です！
ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます！！**

祝 第44回総明会・懇親会

明 翔 会

(昭和56年卒)

第44回 総明会幹事学年

**11月15日の総明会には
皆様の多数のお越しを
お待ちしております。**

総明会（明治大学付属明治高等学校同窓会）会則

第1章 総則

（名称）

第1条 本会は、総明会と称する。

（目的）

第2条 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

（事業及び会計処理）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 支部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部もしくは全部を特別会計として処理することができる。

（事務局、所在地）

第4条 本会の事務を行うために事務局を設ける。事務局は、明治大学付属明治高等学校内に

置く。

第2章 会員

（会員資格）

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことのあるものを会員とする。

（入会金及び終身会費）

第6条 会員は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長（以下「校長」という）の同意を得て定める。

（特別会員）

第7条 母校の教職員であるもの及びその職にあつたものを特別会員とする。

② 特別会員は、本会が行う事業に参加することが出来る。

第3章 役員

（役員の種類及び定員）

第8条 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計1人を置く。

③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

（役員の選任）

第9条

会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充すべき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任直後の総会において承認を得るものとする。会長及び副会長以外の理事並びに監事（以下「会長選任役員」という）は、会員の中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

③ 専務理事、常務理事及び事務局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。

④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- ⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。
- ⑥ 理事は評議員を兼務できない。
- (理事会)
第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。
- ② 理事会は理事をもって構成する。
- ③ 理事会は会長がこれを招集する。
- ④ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。
- ⑤ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- ⑥ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。
- ⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。
- (会長等の職務)
第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。
- ② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。
- ③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括して司り、かつ事務局を総括する。

第4章 総会及び懇親会 (総会の招集)

- ④ 常務理事は、専務理事を補佐する。
- ⑤ 事務局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。
- ⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。
- ⑦ 理事は、会務を分担する。
- (監事の職務)
第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。
- ② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。
- (名誉役員)
第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。
- ② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあったものの中から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。
- ③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてそれぞれこれを推薦する。
- ④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問を推薦する。
- ⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあった者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第5章 委員会 (委員会の設置)

- 第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。
- ② 総会は、会長がこれを招集する。
- ③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。
- (総会の議事)
第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。
- ② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。
- ③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。
- (懇親会の開催)
第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。
- ② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。
- 第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事

② 項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

③ 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

④ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもって構成する。

⑤ 委員会は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員のうちから会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑥ 委員会は、委員長がこれを主宰する。委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

第18条 (評議員)

① 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員

④ を置くことができない。同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

第19条 (評議員の職務)

② 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

③ 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

第20条 (評議員会)

② 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

③ 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

④ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

⑤ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第7章 同期会

第21条 (同期会)

② 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

③ 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

第8章 班部OB会

第22条 (班部OB会)

② 会員は、在学中在籍した班部ごとに班部OB会を組織することができる。

③ 班部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

④ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

⑤ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

第23条 (会計の分類と会計年度)

② 本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合の他、理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

③ 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第24条 (基金)

② 理事会は、本会の財政基盤を安定させ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成す

- ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ②
- るため基金を積立てる努力をしなければならない。
基金は、特別会計（以下「基金特別会計」という）で処理する。
③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金（以下「特別基金」という）は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。
④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもって構成する。
⑤ 基金への組入金金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。
⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定もしくは変更する。この場合、第26条の定め（特別決議）を準用する。
⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め（特別決議）を準用する。
⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。
⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

- ⑩ 会長は、緊急に対処を要すると認めた事項（以下「緊急処理事項」という）のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。
⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。
⑫ 本会の経費は、入会費（ただし基金組入れ分を除く）、終身会費及び寄付金（ただし基金組入れ分を除く）並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。
⑬ 会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。
⑭ 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算

- ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。
㉑ ② 本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。
㉒ ② 基金特別会計の決算報告においては、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。
㉓ 第10章 補則
㉔ 第28条 本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。
㉕ ② 会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。
㉖ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉗ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉘ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉙ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉚ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉛ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉜ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉝ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉞ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㉟ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊱ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊲ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊳ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊴ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊵ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊶ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊷ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊸ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊹ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊺ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊻ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊼ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊽ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊾ ② 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。
㊿ ② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者で構成される同期会（以下「年会費同期会」という）が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条（年会費）

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

（経過措置2）

第1条（年会費班部OB会）

班部OB会は、本会を運営する費用に充てするための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条（年会費）

班部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

（施行期日）

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

（参考）

改正前第7条（年会費）

同期会は、本会を運営する費用に充てたための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会 会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

（選出委員会の設置、解散、委員の選出）

第1条

会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」（以下委員会という）を設置する。委員会は役員改選又は補充の時期に合わせ、十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

③

委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④

委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

第2条（会長、副会長の選出、承認について）

委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

②

候補者の中より、会長及び副会長候補者を選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③

理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④

評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

⑤

評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

（理事会の承認）

第3条 委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

②

委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③

委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

④

委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

（評議員会の承認）

第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

（会長、副会長の資格）

第5条 会長及び副会長は、総明会会員として20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。

この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。

平成20年 7 月吉日

明治大学付属明治高等学校同窓会
「総明会」会員 各位

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 佐久間 洋一

明治高校「創立100周年」記念事業へ寄付のお願い

母校明治高校は、2008年4月より、更なる飛躍を目指して長年慣れ親しんだ神田駿河台（猿樂町）から調布へ移転し、男女共学の学校として新たな歴史を歩み始めました。

また、2012年には、母校が学校創立100周年を迎え、さらに歴史の重みを具えた学校となります。

そこで明治高等学校同窓会・総明会では、本年3月に調布校舎移転記念品を母校へ記念品を寄贈いたしました。さらに、創立100周年記念品を寄贈する計画とそれに伴う寄付の募集を平成18年度より、会員の皆様にご寄付のご協力をお願いしているところでございます。

母校の再出発と更なる飛躍に対して、同窓会として記念品を贈るという事業にご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、次回の創立100周年記念に際して寄贈する記念品は、今後、理事会、評議会で承認を受けたものを寄贈する予定でございます。

また、今回の寄付につきましましては、学校側の協力が得られましたことから、学校から税控除の対象となる証明書(注1)が発行されることになりました。

注1：証明書の発行は、皆様のご寄付の年度ではなく、総明会としてまとめて学校に寄付行為を行う2013年の4月以降にまとめて発行（後日、郵送）されますのでご注意ください。

記

1. 寄 付 金 額 1口 1万円以上
(平成24年まで、複数回数の納付可能です。)
2. 寄付募集期間 2006年10月から2012年12月
3. 寄付目標金額 1,000万円
4. 申 込 先 同封の「郵便振込用紙」により、お近くの郵便局にて振込みをお願いいたします。
なお、お手数ですが管理の関係から通信欄に「明治高校卒業年月」(例：昭和49年3月卒)を記入して下さい。
また、税控除の証明書が必要な方は、上記に加えて明治大学の卒業学部名と「証明書必要」と記入してください。
5. 振 込 先 口座番号 00170－6－93825
加入者名
「明治高等学校同窓会総明会」
6. 問 合 せ 先 総明会・会計 中村 正容
TEL(携帯)090－4411－1684
総明会・財務委員長
佐藤 真弘
TEL(携帯)090－8500－5447

創立100周年 御寄付者一覧

昭和27年	米山耕右	五十万円	昭和32年	明治会	五万円	昭和45年	比留間竹郎	三万円	昭和55年	松本浩一	二万円
昭和37年	福島啓充	五十万円	昭和36年	加藤真義	五万円	昭和47年	山縣清	三万円	昭和55年	川本浩	二万円
昭和43年	佐久間洋一	五十万円	昭和37年	夏目元一	五万円	昭和47年	戸張毅	三万円	昭和41年	熊野篤良	一万五千元
昭和45年	吉田耕太郎	五十万円	昭和40年	阿部正行	五万円	昭和18年	林幹夫	二万円	昭和46年	塙直樹	一万五千元
昭和41年	尾島育四郎	四十万円	昭和49年	竹澤啓	五万円	昭和28年	鈴木美津夫	二万円	昭和8年	宗像健一郎	一万円
昭和27年	黒子昇	三十万円	昭和51年	井家上哲史	五万円	昭和29年	足立孝雄	二万円	昭和10年	最賀四郎	一万円
昭和43年	紫讃会	三十万円	昭和52年	小嶋真作	五万円	昭和30年	白井慶幸	二万円	昭和11年	板垣忠吉	一万円
昭和43年	中村正容	三十万円	昭和50年	林正信	四万円	昭和31年	秋谷操	二万円	昭和14年	鈴木修一	一万円
昭和44年	服部雄二	三十万円	昭和15年	外山大	三万円	昭和32年	杉山保廣	二万円	昭和15年	河野淳俊	一万円
昭和44年	関谷芳久	十五万円	昭和16年	安藤賢司	三万円	昭和37年	森敏孝	二万円	昭和16年	田中不二彦	一万円
昭和44年	藁谷豊	十一万円	昭和23年	中野三郎	三万円	昭和37年	島村宏和	二万円	昭和17年	山崎道雄	一万円
昭和23年	松倉康信	十万円	昭和25年	小田川玉城	三万円	昭和43年	中尾恵則	二万円	昭和18年	矢野正興	一万円
昭和32年	山崎敬生	十万円	昭和32年	浪越和民	三万円	昭和43年	榛葉紀久雄	二万円	昭和19年	田戸和四郎	一万円
昭和33年	出店要蔵	十万円	昭和32年	石坂善正	三万円	昭和43年	国井孝重	二万円	昭和20年	西本宏	一万円
昭和37年	高石秀雄	十万円	昭和32年	松野英雄	三万円	昭和43年	小田島保男	二万円	昭和23年	鈴木利彦	一万円
昭和49年	翼明会	十万円	昭和33年	旧雨会	三万円	昭和43年	八木下恵三	二万円	昭和24年	遠山景忠	一万円
昭和50年	明紫会	十万円	昭和33年	北本雅章	三万円	昭和45年	神田文男	二万円	昭和25年	堀内博	一万円
昭和33年	米山武男	六万円	昭和36年	吉田信行	三万円	昭和49年	佐藤眞弘	二万円	昭和26年	桑原精一	一万円
昭和45年	北島一弘	六万円	昭和38年	竹腰三男	三万円	昭和50年	星野良尚	二万円	昭和26年	飯田昌史	一万円
昭和56年	白畑尚志	六万円	昭和39年	荒卿彦	三万円	昭和51年	岡本雅仁	二万円	昭和27年	吉田満	一万円

昭和27年	三木 喬	一万円	昭和37年	知久俊	一万円	昭和44年	中河孝樹	一万円
昭和28年	小松原和修	一万円	昭和37年	徳田建三	一万円	昭和44年	鈴木幸男	一万円
昭和29年	浮貝文夫	一万円	昭和38年	鹿野俊一	一万円	昭和44年	大岩宣幸	一万円
昭和29年	朝比奈四十一	一万円	昭和38年	澤村博雅	一万円	昭和45年	石山雅範	一万円
昭和30年	小口政博	一万円	昭和40年	庄源正孝	一万円	昭和46年	伊達忠伸	一万円
昭和30年	沖山二郎	一万円	昭和40年	小原義久	一万円	昭和46年	武井隆之	一万円
昭和31年	小林信夫	一万円	昭和40年	40年卒有志	一万円	昭和46年	源平守正	一万円
昭和32年	森 隆夫	一万円	昭和41年	平野雅久	一万円	昭和47年	日比谷秀徳	一万円
昭和32年	中村和雄	一万円	昭和41年	小林 豊	一万円	昭和48年	名倉 豊	一万円
昭和32年	高柳昌弘	一万円	昭和43年	渡辺 修	一万円	昭和48年	影山正登	一万円
昭和32年	高橋 潔	一万円	昭和43年	森泉眞一郎	一万円	昭和49年	宮下守正	一万円
昭和32年	岡戸泰樹	一万円	昭和43年	南出 進	一万円	昭和49年	大前実之	一万円
昭和34年	宮本芳宏	一万円	昭和43年	三田幹男	一万円	昭和50年	富沢秀敏	一万円
昭和34年	尾島雄三郎	一万円	昭和43年	堀内繁	一万円	昭和50年	高橋公二	一万円
昭和34年	岡崎安彦	一万円	昭和43年	福光登志雄	一万円	昭和50年	雨宮弘典	一万円
昭和35年	時田 武	一万円	昭和43年	八田信明	一万円	昭和51年	石渡浩二	一万円
昭和35年	小原元央	一万円	昭和43年	西脇善孝	一万円	昭和52年	大山智弘	一万円
昭和35年	上原明文	一万円	昭和43年	橘 晶男	一万円	昭和52年	井形 豊	一万円
昭和35年	丞村裕次	一万円	昭和43年	竹川忠芳	一万円	昭和53年	竹越利之	一万円
昭和36年	安藤庄之助	一万円	昭和43年	志村一夫	一万円	昭和54年	吉田正穂	一万円
昭和37年	松下義超	一万円	昭和43年	五味賢一	一万円	昭和56年	安達浩之	一万円
昭和37年	鈴木 豊	一万円	昭和43年	荻 誠一	一万円	平成1年	井上正也	一万円
昭和37年	石井嘉一郎	一万円	昭和43年	石井次男	一万円	平成3年	朝倉太明	一万円

平成4年	中里健一	一万円
昭和37年	相川 勝	八千円
昭和24年	守田 満	七千円
昭和28年	岡本恒明	五千円
昭和50年	岩波栄造	五千円
昭和62年	菊地 宏	五千円
昭和19年	大屋 梯	三千円
昭和27年	三迫仁志	三千円
平成16年	仲村誠司	三千円
平成16年	海老原英明	三千円
計	六百九十万二千元	

前記の集計は、平成20年3月31日現在のものです。同日時点で総明会会計にて確認できたものだけを掲載させていただきます。

今回掲載できなかった分につきましては次回の掲載とさせていただきます。

表紙について

表紙の写真は明治高等学校・中学校応援指導班顧問 山田伸夫先生のお図いと応援指導班全員のご協力により撮影することができました。この書面をお借りし、心よりお礼申し上げます。

撮影は明翔会会報委員 衛藤雅一、装丁は明翔会会報委員 飯野善明によるものです。

* 調布新校舎前にて男子生徒と女子生徒に手を交差させて（手は握っておりません）、Mの字を描いてもらいました。



住所変更時のお願い

総明会名簿委員会では総明会会報、総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが総明会名簿委員までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先

総明会名簿委員長

竹澤 啓

電話 03・3675・9955

携帯 090・3200・6139

E-mail takeawa@v2.dion.ne.jp

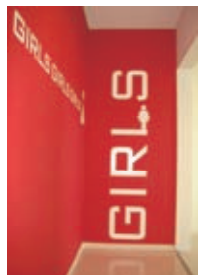
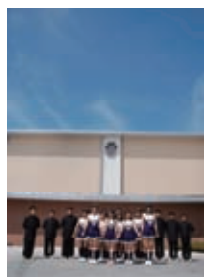
お礼とお詫び

会報委員会一同多くの総明会会員の皆様から、この会報発行にあたり、ご寄稿及び貴重なお写真の提出をいただきました。心よりお礼申し上げます。

紙面の都合上、全部を掲載することができませんでした。また、文章中においても、万人が読むのに不適切かと思われる表現等につきましては、会報委員会の責任で割愛・表現変更をさせていただきます。会報委員全員で文章を校正いたしました。至らぬ点もあるかと思ひます。何卒ご了解いただきます様お願い申し上げます。



明治高等学校・中学校スナップ集
撮影 明翔会 会報委員一同



BOYS



GIRLS

発行
明治大学付属
明治高等学校・中学校同窓会
総 明 会

<http://meiji.cside7.com/>

〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25

明治大学付属明治高等学校内

TEL. 042(444)9100

編集／明翔会(昭和56年卒)

会報委員会

印刷／赤岩印刷